

2023年度学部間共通外国語 講義内容目次

※目次内の講義をクリックすると該当のシラバスページにジャンプすることができます。

※入学年度によって名称が異なる科目があります。

※授業の曜日時限は変更になる可能性がありますので、時間割やOh-o! Meiji等で最新の情報を確認してください。

講義名	科目ナンバリング	教員氏名	開講期	曜日	時限	開講 キャンパス	シラバス ページ
English Communication I A	(LP)LAN115E	フーパー, ドナバン	春	月	1	和泉	5
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ハミルトン, ロバート	春	月	3	和泉	6
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ザンギ, ジョセフ	春	月	4	和泉	7
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ザンギ, ジョセフ	春	月	5	和泉	7
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ザンギ, ジョセフ	春	月	6	和泉	7
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	オカート, デイビッド	春	火	2	駿河台	10
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	オカート, デイビッド	春	火	3	駿河台	10
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	オカート, デイビッド	春	木	2	和泉	10
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	フルトン, スチュワート	春	水	3	和泉	8
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ウェブスター, ダニエル	春	水	2	和泉	9
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ウェブスター, ダニエル	春	水	3	和泉	9
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	オカート, デイビッド	春	木	3	和泉	10
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ラッセル・スティーン	春	水	5	和泉	11
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ラッセル・スティーン	春	水	6	和泉	11
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ガードナー, ステファン	春	木	2	生田	12
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ストラック, アンドリュー	春	金	2	和泉	13
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ストラック, アンドリュー	春	金	3	和泉	13
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ハドランド, エリック	春	金	2	和泉	14
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ハドランド, エリック	春	金	3	和泉	14
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication I A	(LP)LAN115E	ストラック, アンドリュー	春	金	5	和泉	13
English Communication I B	(LP)LAN115E		秋				
English Communication II A	(LP)LAN215E	ハミルトン, ロバート	春	月	4	和泉	15
English Communication II B	(LP)LAN215E		秋				
English Communication II A	(LP)LAN215E	中津川 みゆき	春	火	1	駿河台	16
English Communication II B	(LP)LAN215E		秋				
English Communication II A	(LP)LAN215E	ガードナー, ステファン	春	火	2	駿河台	17
English Communication II B	(LP)LAN215E		秋				
English Communication II A	(LP)LAN215E	ザンギ, ジョセフ	春	火	4	和泉	18
English Communication II B	(LP)LAN215E		秋				
English Communication II A	(LP)LAN215E	ザンギ, ジョセフ	春	火	5	和泉	18
English Communication II B	(LP)LAN215E		秋				
English Communication II A	(LP)LAN215E	ザンギ, ジョセフ	春	火	6	和泉	18
English Communication II B	(LP)LAN215E		秋				

講義名	科目ナンバリング	教員氏名	開講期	曜日	時限	開講 キャンパス	シラバス ページ
English Communication II A	(LP)LAN215E	ウェブスター, ダニエル	春	水	4	和泉	19
English Communication II B	(LP)LAN215E		秋				
English Communication II A	(LP)LAN215E	オカート, デイビッド	春	木	4	和泉	20
English Communication II B	(LP)LAN215E		秋				
English Communication II A	(LP)LAN215E	ガードナー, ステファン	春	木	3	生田	17
English Communication II B	(LP)LAN215E		秋				
English Communication II A	(LP)LAN215E	ハドランド, エリック	春	金	4	和泉	21
English Communication II B	(LP)LAN215E		秋				
English Communication III A	(LP)LAN315E	ガードナー, ステファン	春	火	3	駿河台	22
English Communication III B	(LP)LAN315E		秋				
English Communication III A	(LP)LAN315E	ガードナー, ステファン	春	木	4	生田	22
English Communication III B	(LP)LAN315E		秋				
English Communication III A	(LP)LAN315E	ストラック, アンドリュー	春	金	4	和泉	23
English Communication III B	(LP)LAN315E		秋				
English Communication I C	(LP)LAN115E	レイツ, パトリック	春	土	3・4	生田	24
English Communication II C	(LP)LAN215E		秋				
Intercultural Communication (English) IA	(LP)LAN315E	中津川 みゆき	春	火	2	駿河台	25
Intercultural Communication (English) IB	(LP)LAN315E		秋				
Intercultural Communication (English) IA	(LP)LAN315E	フルトン, スチュワート	春	水	4	和泉	26
Intercultural Communication (English) IB	(LP)LAN315E		秋				
Intercultural Communication (English) II A	(LP)LAN315E	オカート, デイビッド	春	火	4	駿河台	27
Intercultural Communication (English) II B	(LP)LAN315E		秋				
Intercultural Communication (English) II A	(LP)LAN315E	フルトン, スチュワート	春	水	5	和泉	28
Intercultural Communication (English) II B	(LP)LAN315E		秋				
資格英語	(LP)LAN111M	フーパー, ドナバン	春	月	2	和泉	29
資格英語	(LP)LAN111M		秋				
資格英語	(LP)LAN111M	フーパー, ドナバン	春	金	5	和泉	29
資格英語	(LP)LAN111M		秋				
ドイツ語会話 I A	(LP)LAN125N	オルランド, ダビデ	春	火	2	和泉	30
ドイツ語会話 I B	(LP)LAN125N		秋				
ドイツ語会話 I A	(LP)LAN125N	ブリール, リタ	春	木	2	和泉	31
ドイツ語会話 I B	(LP)LAN125N		秋				
ドイツ語会話 I A	(LP)LAN125N	オストヴァルト, イェンス	春	木	5	生田	32
ドイツ語会話 I B	(LP)LAN125N		秋				
ドイツ語会話 II A	(LP)LAN225N	オルランド, ダビデ	春	火	3	駿河台	33
ドイツ語会話 II B	(LP)LAN225N		秋				
ドイツ語会話 II A	(LP)LAN225N	ブリール, リタ	秋	木	5	和泉	34
ドイツ語会話 II B	(LP)LAN225N		秋				
ドイツ語会話 III A	(LP)LAN325N	オルランド, ダビデ	春	火	4	駿河台	35
ドイツ語会話 III B	(LP)LAN325N		秋				
国際理解講座・ドイツ語圏 A	(LP)LAN325N	ブリール, リタ	春	水	1	駿河台	36
国際理解講座・ドイツ語圏 B	(LP)LAN325N		秋				
資格ドイツ語 A	(LP)LAN121N	レンドラー, ローマン	春	金	3	和泉	37
資格ドイツ語 B	(LP)LAN121N		秋				
フランス語会話 I A	(LP)LAN135N	ドナティ, ジャンアレキシ	春	月	2	和泉	38
フランス語会話 I B	(LP)LAN135N		秋				
フランス語会話 I A	(LP)LAN135N	小 谷 奈津子	春	月	5	生田	39
フランス語会話 I B	(LP)LAN135N		秋				
フランス語会話 I A	(LP)LAN135N	ドナティ, ジャンアレキシ	春	金	2	和泉	38
フランス語会話 I B	(LP)LAN135N		秋				
フランス語会話 II A	(LP)LAN235N	ベルナール ミルティル	春	月	3	和泉	40
フランス語会話 II B	(LP)LAN235N		秋				
フランス語会話 II A	(LP)LAN235N	ベルナール ミルティル	春	火	4	駿河台	40
フランス語会話 II B	(LP)LAN235N		秋				
フランス語会話 III A	(LP)LAN335N	ベルナール ミルティル	春	火	5	駿河台	41
フランス語会話 III B	(LP)LAN335N		秋				

講義名	科目ナンバリング	教員氏名	開講期	曜日	時限	開講 キャンパス	シラバス ページ
国際理解講座・フランス語圏 A	(LP)LAN335N	ベルテ, ディデエ	春	木	5	駿河台	42
国際理解講座・フランス語圏 B	(LP)LAN335N		秋				
中国語会話 I A	(LP)LAN165N	将 邑 剣 平	春	月	3	和泉	43
中国語会話 I B	(LP)LAN165N		秋				
中国語会話 I A	(LP)LAN165N	洪 潔 清	春	火	5	駿河台	44
中国語会話 I B	(LP)LAN165N		秋				
中国語会話 I A	(LP)LAN165N	劉 光 赤	春	木	4	和泉	45
中国語会話 I B	(LP)LAN165N		秋				
中国語会話 I A	(LP)LAN165N	許 家 晟	春	土	1	中野	46
中国語会話 I B	(LP)LAN165N		秋				
中国語会話 II A	(LP)LAN265N	顧 銘	春	月	3	生田	47
中国語会話 II B	(LP)LAN265N		秋				
中国語会話 II A	(LP)LAN265N	将 邑 剣 平	春	月	4	和泉	48
中国語会話 II B	(LP)LAN265N		秋				
中国語会話 II A	(LP)LAN265N	王 学 群	春	火	3	和泉	49
中国語会話 II B	(LP)LAN265N		秋				
中国語会話 II A	(LP)LAN265N	馮 青	春	木	4	駿河台	50
中国語会話 II B	(LP)LAN265N		秋				
中国語会話 II A	(LP)LAN265N	許 家 晟	春	土	2	中野	51
中国語会話 II B	(LP)LAN265N		秋				
国際理解講座・中国語圏 A	(LP)LAN365N	洪 潔 清	春	火	4	駿河台	52
国際理解講座・中国語圏 B	(LP)LAN365N		秋				
資格中国語 A	(LP)LAN161N	江 田 いづみ	春	木	2	駿河台	53
資格中国語 B	(LP)LAN161N		秋				
ロシア語 I A	(LP)LAN151J	杉 山 春 子	春	水	3	駿河台	54
ロシア語 I B	(LP)LAN151J		秋				
ロシア語 I A	(LP)LAN151J	池 田 和 彦	春	水	3	生田	55
ロシア語 I B	(LP)LAN151J		秋				
ロシア語 I A	(LP)LAN151J	恩 田 義 徳	春	金	2	和泉	56
ロシア語 I B	(LP)LAN151J		秋				
ロシア語 II A	(LP)LAN251J	杉 山 春 子	春	木	4	和泉	57
ロシア語 II B	(LP)LAN251J		秋				
ロシア語会話 I A	(LP)LAN155N	杉 山 春 子	春	木	3	和泉	58
ロシア語会話 I B	(LP)LAN155N		秋				
ロシア語会話 II A	(LP)LAN255N	杉 山 春 子	春	水	2	駿河台	59
ロシア語会話 II B	(LP)LAN255N		秋				
スペイン語 I A	(LP)LAN141J	稻 森 広 朋	春	月	4	和泉	60
スペイン語 I B	(LP)LAN141J		秋				
スペイン語 I A	(LP)LAN141J	松 浦 芳 枝	春	月	5	中野	61
スペイン語 I B	(LP)LAN141J		秋				
スペイン語 I A	(LP)LAN141J	メンドサ, オスカル	春	火	3	生田	62
スペイン語 I B	(LP)LAN141J		秋				
スペイン語会話 I A	(LP)LAN145N	バリエントス ロドリゲス	春	水	4	駿河台	63
スペイン語会話 I B	(LP)LAN145N		秋				
スペイン語会話 I A	(LP)LAN145N	メンドサ, オスカル	春	木	5	和泉	64
スペイン語会話 I B	(LP)LAN145N		秋				
イタリア語 I A	(LP)LAN191J	大 崎 さやの	春	木	2	和泉	65
イタリア語 I B	(LP)LAN191J		秋				
イタリア語 I A	(LP)LAN191J	長 野 徹	春	水	3	駿河台	66
イタリア語 I B	(LP)LAN191J		秋				
イタリア語 I A	(LP)LAN191J	大 崎 さやの	春	金	2	駿河台	65
イタリア語 I B	(LP)LAN191J		秋				
イタリア語 I A	(LP)LAN191J	大 崎 さやの	春	金	3	駿河台	65
イタリア語 I B	(LP)LAN191J		秋				
イタリア語 II A	(LP)LAN291J	長 野 徹	春	水	4	駿河台	67
イタリア語 II B	(LP)LAN291J		秋				

講義名	科目ナンバリング	教員氏名	開講期	曜日	時限	開講 キャンパス	シラバス ページ
アラビア語Ⅰ A	(LP)LAN191J	木 下 宗 篤	春	水	2	和泉	68
アラビア語Ⅰ B	(LP)LAN191J		秋				
アラビア語Ⅱ A	(LP)LAN291J	木 下 宗 篤	春	水	1	和泉	69
アラビア語Ⅱ B	(LP)LAN291J		秋				
韓国語Ⅰ A	(LP)LAN171J	伊 藤 英 人	春	月	3	駿河台	70
韓国語Ⅰ B	(LP)LAN171J		秋				
韓国語Ⅰ A	(LP)LAN171J	伊 藤 英 人	春	月	4	駿河台	70
韓国語Ⅰ B	(LP)LAN171J		秋				
韓国語Ⅰ A	(LP)LAN171J	塩 田 今日子	春	月	3	和泉	71
韓国語Ⅰ B	(LP)LAN171J		秋				
韓国語Ⅰ A	(LP)LAN171J	権 善 喜	春	木	1	生田	72
韓国語Ⅰ B	(LP)LAN171J		秋				
韓国語Ⅱ A	(LP)LAN271J	権 善 喜	春	木	3	駿河台	73
韓国語Ⅱ B	(LP)LAN271J		秋				
古典ギリシア語Ⅰ A	(LP)LAN191J	古 山 夕 城	春	木	2	和泉	74
古典ギリシア語Ⅰ B	(LP)LAN191J		秋				
ラテン語Ⅰ A	(LP)LAN191J	小 島 久 和	春	火	4	和泉	75
ラテン語Ⅰ B	(LP)LAN191J		秋				
English Intensive CourseⅠ	(LP)LAN115E	—	夏期/春期 集中	日程等詳細は決まり 次第Oh-o!Meiji等で 案内します。			76
English Intensive CourseⅡ	(LP)LAN215E	—					77
English Intensive CourseⅢ	(LP)LAN315E	—					78
ドイツ語会話Ⅰ（集中講座）	(LP)LAN125G	—	夏期集中				79
ドイツ語会話Ⅱ（集中講座）	(LP)LAN225G	—					80
ドイツ語会話Ⅲ（集中講座）	(LP)LAN325G	—					81
フランス語会話Ⅰ（集中講座）	(LP)LAN135F	—					82
フランス語会話Ⅱ（集中講座）	(LP)LAN235F	—					83
フランス語会話Ⅲ（集中講座）	(LP)LAN335F	—					84
中国語会話Ⅰ（集中講座）	(LP)LAN165C	—					85
中国語会話Ⅱ（集中講座）	(LP)LAN265C	—					86
中国語会話Ⅲ（集中講座）	(LP)LAN365C	—					87
韓国語会話Ⅰ（集中講座）	(LP)LAN175J	—					88
韓国語会話Ⅱ（集中講座）	(LP)LAN275J	—					89
韓国語会話Ⅲ（集中講座）	(LP)LAN375J	—					90

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 春学期 ■ 1単位



English Communication I A

担当者

フーパー， ドナバン

授業の概要・到達目標

- ・事前WEB登録（4月4日～）により申し込んでください。
- ・原則として，TOEIC500点以下の者を対象とします。
- ・受講希望者が多い場合，WEB抽選により受講者を決定します。

Generally speaking, students are expected to have the equivalent of a TOEIC score under 500. However, where there are more course applicants than places a web lottery will be held to select participants. The aim of the course is to acquire a basic level of English through repeated practical usage. Basic grammar will therefore be reviewed while also learning everyday English expressions. During class, students will explore issues in global society through short English readings and video clips, and do conversation and writing practice related to these themes. A buddy system will be used to build peer support and motivation.

The aim of English Communication IA is to be able to communicate in everyday situations in English. During the course, students should learn to be able to use the English studied at junior high and high school in communicative contexts. Participants should also acquire an interest in international affairs.

授業内容

Week 1: Guidance, self-introductions, how to study effectively
Week 2: Individual and society 1: The ID card
Week 3: Individual and society 2: It's a small world
Week 4: Individual and society 3: Writing
Week 5: Food and drink 1: Tastes comforting
Week 6: Food and drink 2: People behind drinks
Week 7: Food and drink 3: Writing
Week 8: Art and music 1: Picture of Dorian Gray
Week 9: Art and music 2: High fidelity
Week 10: Art and music 3: Writing
Week 11: Hopes and fears 1: Pandora's box
Week 12: Hopes and fears 2: Famous Dystopias
Week 13: Hopes and fears 3: Writing
Week 14: Review and test

履修上の注意

Generally speaking, students are expected to have the equivalent of a TOEIC score under 500. However, where there are more course applicants than places a web lottery will be held to select participants.

準備学習（予習・復習等）の内容

Review the points covered in class in the handout and ask questions in class about topics that are unclear. Study the handout and reading materials in preparation for next class.

教科書

Clandfield, Lindsay 2010 Global: Pre-intermediate coursebook. Macmillan.

参考書

English-Japanese and Japanese-English dictionaries
Other materials will be either suggested or distributed by the teacher.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

30% presentation and classwork
30% review quizzes and homework
40% final report/test

その他

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 秋学期 ■ 1単位



English Communication I B

担当者

フーパー， ドナバン

授業の概要・到達目標

- ・事前WEB登録（4月4日～）により申し込んでください。
- ・原則として，TOEIC500点以下の者を対象とします。
- ・受講希望者が多い場合，WEB抽選により受講者を決定します。

Generally speaking, students are expected to have the equivalent of a TOEIC score under 500. However, where there are more course applicants than places a web lottery will be held to select participants. The aim of the course is to acquire a basic level of English through repeated practical usage. Basic grammar will therefore be reviewed while also learning everyday English expressions. During class, students will explore issues in global society through short English readings and video clips, and do conversation and writing practice related to these themes. A buddy system will be used to build peer support and motivation.

The aim of English Communication IB is to be able to communicate in every day situations and to gain a basic understanding of concerns in global society through basic English vocabulary and to be able to express opinions in conversation and writing. Completing participants should also have some knowledge or international affairs.

授業内容

Week 1: Guidance, self-introductions, how to study effectively
Week 2: Work and leisure 1: A call centre worker
Week 3: Work and leisure 2: Amusement parks
Week 4: Science and technology 1: Fitter happier
Week 5: Science and technology 2: The Luddites
Week 6: Time and money 1: History of time zones
Week 7: Time and money 2: A different kind of drink
Week 8: Inside and outside 1: Dracula
Week 9: Inside and outside 2: Travel Guidebooks
Week 10: Health and exercise 1: Milestones in medicine
Week 11: Health and exercise 2: Olympic losers
Week 12: Past and present 1: Brave new words
Week 13: Past and present 2: Old but loved: The Trabant
Week 14: Review and test

履修上の注意

Generally speaking, students are expected to have the equivalent of a TOEIC score under 500. However, where there are more course applicants than places a web lottery will be held to select participants.

準備学習（予習・復習等）の内容

Review the points covered in class in the handout and ask questions in class about topics that are unclear. Study the handout and reading materials in preparation for next class.

教科書

Clandfield, Lindsay 2010 Global: Pre-intermediate coursebook. Macmillan.

参考書

English-Japanese and Japanese-English dictionaries
Other materials will be either suggested or distributed by the teacher.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

30% presentation and classwork
30% review quizzes and homework
40% final report/test

その他

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 春学期 ■ 1単位

事前



English Communication I A

担当者

ハミルトン, ロバート

授業の概要・到達目標

この授業では、会話、聞き取り、読解を中心に、全体的な英語力の向上を目指します。授業はすべて英語で行います。

Since English is increasingly the lingua franca for cross-national communication in Asia and other areas, it is important for Japanese students to understand English that is spoken by both native and non-native speakers. This course will focus on understanding spoken English from a variety of different international sources. It will also help students to express themselves clearly in English while:

- a) summarizing information
- b) expressing opinions, and
- c) interacting in discussions

By the end of the course, you students should be able to understand speeches made by people from a variety of countries, discuss the contents, and express their own opinions in short, structured speeches.

授業内容

- 第1回：Introduction and orientation
- 第2回：Starting up: Inspired leadership
- 第3回：How to start a Movement
- 第4回：Fragile Forces: Conservation
- 第5回：Conserving the Canopy
- 第6回：Bright Ideas: Health/Innovations
- 第7回：A warm Embrace that Saves Lives
- 第8回：mid-term presentation
- 第9回：Game Changers: Psychology/Education
- 第10回：Gaming Can Make a Better World
- 第11回：Lessons in Learning: Psychology/Education
- 第12回：The Key to Success? Grit
- 第13回：Semester review
- 第14回：Final Presentation

履修上の注意

none

準備学習（予習・復習等）の内容

Before each class, students will need to need to check Oh-oh Meijil to see the requirements. This will usually be watching and understanding a TED video, and/or reading materials and answering questions so that you will be prepared for class.

教科書

Blass, Laurie, *21st Century Reading 2*, Student Book, National Geographic Learning, 9781305265707

参考書

Students should have a simplified English dictionary and an J><E dictionary (either physical or as an app). Translation software is not acceptable, and use of translation apps or sites will result in an absence.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- 40% in-class participation
- 10% in-class English use
- 20% homework
- 30% final presentation

その他

This class will be conducted entirely in English. Failure to make an effort to communicate in English will result in an absence. Failure to complete homework before class will result in an absence. Students are responsible for checking Oh-Meiji for information between classes. All information about homework and assignments will be posted there. Being absent from a class is not an excuse to arrive to class with unfinished homework. If a student is absent from a class and then arrives to the next class with incomplete homework, that will count as two absences. Three absences will result in failure.

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 秋学期 ■ 1単位

事前



English Communication I B

担当者

ハミルトン, ロバート

授業の概要・到達目標

この授業では、会話、聞き取り、読解を中心に、全体的な英語力の向上を目指します。授業はすべて英語で行います。

Since English is increasingly the lingua franca for cross-national communication in Asia and other areas, it is important for Japanese students to understand English that is spoken by both native and non-native speakers. This course will focus on understanding spoken English from a variety of different international sources. It will also help students to express themselves clearly in English while:

- a) summarizing information
- b) expressing opinions, and
- c) interacting in discussions

By the end of the course, you students should be able to understand speeches made by people from a variety of countries, discuss the contents, and express their own opinions in short, structured speeches.

授業内容

- 第1回：Review of summer projects
- 第2回：Food for Life: Food/Heath
- 第3回：Teach Every Child About Food
- 第4回：Body Signs: Behaviour/Psychology
- 第5回：Your Body Language Shapes Who You Are
- 第6回：Energy Builders: Energy/Engineering
- 第7回：How I Harnessed the Wind
- 第8回：mid-term presentation
- 第9回：Changing Perspectives: Engineering/Art
- 第10回：Deep Sea Diving... in a Wheelchair
- 第11回：Data Detectives: Statistics/Economics
- 第12回：The Beauty of Data Visualization
- 第13回：Semester review
- 第14回：Final Presentation

履修上の注意

none

準備学習（予習・復習等）の内容

Before each class, students will need to need to check Oh-oh Meijil to see the requirements. This will usually be watching and understanding a TED video, and/or reading materials and answering questions so that you will be prepared for class.

教科書

Blass, Laurie, *21st Century Reading 2*, Student Book, National Geographic Learning, 9781305265707

参考書

Students should have a simplified English dictionary and an J><E dictionary (either physical or as an app). Translation software is not acceptable, and use of translation apps or sites will result in an absence.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- 40% in-class participation
- 10% in-class English use
- 20% homework
- 30% final presentation

その他

This class will be conducted entirely in English. Failure to make an effort to communicate in English will result in an absence. Failure to complete homework before class will result in an absence. Students are responsible for checking Oh-Meiji for information between classes. All information about homework and assignments will be posted there. Being absent from a class is not an excuse to arrive to class with unfinished homework. If a student is absent from a class and then arrives to the next class with incomplete homework, that will count as two absences. Three absences will result in failure.

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 春学期 ■ 1単位

事前



English Communication I A

担当者

ザンギ, ジョセフ

授業の概要・到達目標

This is a course in English communication where student conversation is the primary focus. By communicating in class activities, students have the opportunity to improve their conversational skills in English. Students are expected to participate in class to improve their English communication speaking and listening abilities. By working with a partner and groups, participating in conversational games and puzzles and through other class activities, students are expected to actively practice spoken English. Students are expected to complete assignments prior to coming to class.

授業内容

- 第1回：Introduction, Numbers and Places
- 第2回：NYC Train Derails — Listening
- 第3回：Find Out: Interview 1 -
- 第4回：Manila Braces for Typhoon - Listening
- 第5回：Find Out: Interview 2
- 第6回：Paris Attack - Listening
- 第7回：About Japan
- 第8回：Lost Boy Found - Listening
- 第9回：Popular quotes
- 第10回：Rare Bear Sighting - Listening
- 第11回：Interview: 3
- 第12回：Sinkhole Swallows Car - Listening
- 第13回：Find Out: Interview 4
- 第14回：Exam

履修上の注意

N/A

準備学習（予習・復習等）の内容

Students should do assigned pages in the textbook and review handouts from class.
Students are expected to actively participate in class.

教科書

English 101 Activities (for English Communication) pdf
ISBN 978-193360641-5
Published by Printed Matter Press

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Class performance and Attendance 50%
English proficiency 25%
Exam (Final) 25%

その他

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 秋学期 ■ 1単位

事前



English Communication I B

担当者

ザンギ, ジョセフ

授業の概要・到達目標

This is a course in English communication where student conversation is the primary focus. By communicating in class activities, students have the opportunity to improve their conversational skills in English. Students are expected to participate in class to improve their English communication speaking and listening abilities. Students are expected to complete assignments prior to coming to class.

授業内容

- 第1回：Interview: Optimist or Pessimist?
- 第2回：A Surprise Landing- Listening
- 第3回：Interview: student life 6
- 第4回：Woolly Mammoth Visits Japan- Listening
- 第5回：Apartment Plan
- 第6回：Idioms, Two-word Verbs
- 第7回：Ferry Crash in Sydney- Listening
- 第8回：Interview: Leisure Time 7
- 第9回：UFO Recorded on Video- Listening
- 第10回：Interview: Have You Done That? 8
- 第11回：All About Movies
- 第12回：Avalanche Survivors Found Alive - Listening
- 第13回：Interview: what would you do? 9
- 第14回：Exam

履修上の注意

N/A

準備学習（予習・復習等）の内容

Students should do assigned pages in the textbook and review handouts from class.
Students are expected to actively participate in class.

教科書

English 101 Activities (for English Communication) pdf
ISBN 978-193360641-5
Published by Printed Matter Press

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Class performance and Attendance 50%
English proficiency 25%
Exam (Final) 25%

その他

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 春学期 ■ 1単位

事前



English Communication I A

担当者

フルトン, スチュワート

授業の概要・到達目標

The goal of this course is to develop students' speaking and listening skills and provide the vocabulary and language necessary to understand and speak in an academic context on current national and international topics and issues in monologue, in groups, and with the teacher. Topics will be set with fresh news and events from Japan and around the world covering broad areas such as: *lifestyle, health, education, technology, fashion, food, work/careers, sports, travel, language, and culture.*

授業内容

Week 1 — Introduction and course overview; schedule and syllabus; calibration
Week 2 — Topic 1; fluency practice
Week 3 — Topic 2; Assignment 1; fluency practice
Week 4 — Topic 3; Assignment 2; fluency practice
Week 5 — Topic 4; fluency practice
Week 6 — Summarizing (Written + oral summary)
Week 7 — In-class summary speech; submit written summary
Week 8 — Topic 5; Assignment 3; fluency practice
Week 9 — Topic 6; Assignment 4; fluency practice
Week 10 — Topic 7; fluency practice
Week 11 — Topic 8; fluency practice
Week 12 — Speaking Test preparation and discussion
Week 13 — Speaking Test (in pairs)
Week 14 — Review and feedback

履修上の注意

N/A

準備学習（予習・復習等）の内容

Students are expected to read one article per week from BBC Learning English (<http://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/features/witn>) to familiarize themselves with language commonly used in news articles.

教科書

No required textbook - printouts will be provided.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

14% - Participation and effort
16% - Midterm test (oral and written summary)
32% - Assignments (X4)
28% - Final Speaking Test
10% - Topic Review Quiz

その他

Students should bring paper and a dictionary to every class.

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 秋学期 ■ 1単位

事前



English Communication I B

担当者

フルトン, スチュワート

授業の概要・到達目標

The goal of this course is to develop students' speaking and listening skills and provide the vocabulary and language necessary to understand and speak in an academic context on current national and international topics and issues in monologue, in groups, and with the teacher. Topics will be set with fresh news and events from Japan and around the world covering broad areas such as: *lifestyle, health, education, technology, fashion, food, work/careers, sports, travel, language, and culture.*

授業内容

Week 1 — Introduction and course overview; schedule and syllabus; calibration
Week 2 — Topic 1; fluency practice
Week 3 — Topic 2; Assignment 1; fluency practice
Week 4 — Topic 3; Assignment 2; fluency practice
Week 5 — Topic 4; fluency practice
Week 6 — Summarizing (Written + oral summary)
Week 7 — In-class summary speech; submit written summary
Week 8 — Topic 5; Assignment 3; fluency practice
Week 9 — Topic 6; Assignment 4; fluency practice
Week 10 — Topic 7; fluency practice
Week 11 — Topic 8; fluency practice
Week 12 — Speaking Test preparation and discussion
Week 13 — Speaking Test (in pairs)
Week 14 — Review and feedback

履修上の注意

N/A

準備学習（予習・復習等）の内容

Students are expected to read one article per week from BBC Learning English (<http://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/features/witn>) to familiarize themselves with language commonly used in news articles.

教科書

No required textbook - printouts will be provided.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

14% - Participation and effort
16% - Midterm test (oral and written summary)
32% - Assignments (X4)
28% - Final Speaking Test
10% - Topic Review Quiz

その他

Students should bring paper and a dictionary to every class.

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 春学期 ■ 1単位



English Communication I A

担当者

ウェブスター, ダニエル

授業の概要・到達目標

In this course, students will work to improve their overall English proficiency, mainly with an emphasis on oral communication and both listening and reading comprehension.

This course will be conducted entirely in English.

この授業では、会話、聞き取り、読解を中心に、全体的な英語力の向上を目指します。

授業はすべて英語で行います。

授業内容

- 第1回：Introduction to the class, and self-introductions by the students.
- 第2回：Your personal and cultural Identity.
- 第3回：Student presentations on their cultural and personal identities.
- 第4回：Your personal values about right and wrong, and how they help you to make decisions.
- 第5回：Student presentations on one theme related to the previous week's discussion topic.
- 第6回：Culture shock.
- 第7回：Extended discussion on what we've learned about culture shock from the previous lesson.
- 第8回：Culture as reflected through language.
- 第9回：Extended discussion on some words that reflect the students' own culture.
- 第10回：Body language and customs.
- 第11回：Discussion on what the students learned in the previous lesson.
- 第12回：Individualism.
- 第13回：Using your sense of individualism vs. being part of a team to choose a job.
- 第14回：What advice would you give to a foreign visitor to your country regarding politeness? How would you expect to adjust your expectations regarding politeness when visiting or living abroad?

履修上の注意

Students will be expected to have reached a pre-intermediate level of English proficiency.
Pre-intermediateレベルの英語力があることを前提に授業を進めます。

準備学習（予習・復習等）の内容

Students must recognize that they will be required to do weekly assignments at home, and be prepared for the next week's class. This is a prerequisite, and those who fail to do these assignments will also fail the course.

毎週課題を出します。また次の授業に備えて準備をしていることを前提に授業を進めます。課題及び準備をしてこない学生には、合格点を与えることはできません。

教科書

I will give the students printed handouts of the material to be covered. プリントを使用します。

参考書

Students should bring a good English-Japanese/Japanese-English dictionary to class. (Either a paper or an electronic dictionary is acceptable.)

良い英和／和英辞書を持って授業に参加してください。(紙の辞書でも電子辞書でも、どちらもでもかまいません)

課題に対するフィードバックの方法

The instructor will critique students' assignments in-class. 授業中にフィードバックします。

成績評価の方法

Students will be graded based on their active participation in the class, and on the effort they put into their class work, both during the class and out of the class.

授業での積極性、授業に向けて努力をしているか（授業中及び授業外の課題も含めて）を元に評価します。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 秋学期 ■ 1単位



English Communication I B

担当者

ウェブスター, ダニエル

授業の概要・到達目標

In this course, students will work to improve their overall English proficiency, but with an emphasis on oral communication and both listening and reading comprehension.

This course will be conducted entirely in English.

この授業では、会話、聞き取り、読解を中心に、全体的な英語力の向上を目指します。

授業はすべて英語で行います。

授業内容

- 第1回：Communication styles.
- 第2回：Presentation on someone the student communicates well with.
- 第3回：Gender and culture.
- 第4回：Politely expressing agreement and disagreement with the viewpoints of others.
- 第5回：Cultural diversity both within one country and between different countries.
- 第6回：Presentations on a region of the student's country.
- 第7回：Social change.
- 第8回：Students will give presentations on people they feel have benefitted their country.
- 第9回：Globalization.
- 第10回：Students will give presentations on their "ideal world."
- 第11回：Student pair-work about their life as university students.
- 第12回：Student pair-work on their life when they were high school students.
- 第13回：Discussion on how to improve the Japanese education system.
- 第14回：Presentation: "A person whom I admire."

履修上の注意

Students will be expected to have reached a pre-intermediate level of English proficiency.
Pre-intermediateレベルの英語力があることを前提に授業を進めます。

準備学習（予習・復習等）の内容

Students must recognize that they will be required to do weekly assignments at home, and be prepared for the next week's class. This is a prerequisite, and those who fail to do these assignments will also fail the course.

毎週課題を出します。また次の授業に備えて準備をしていることを前提に授業を進めます。課題及び準備をしてこない学生には、合格点を与えることはできません。

教科書

I will give students printed handouts for each week's lesson. プリントを使用します。

参考書

Students should bring a good English-Japanese/Japanese-English dictionary to class. (Either a paper or an electronic dictionary is acceptable.)

良い英和／和英辞書を持って授業に参加してください。(紙の辞書でも電子辞書でも、どちらもでもかまいません)

課題に対するフィードバックの方法

The instructor will critique students' assignments in-class. 授業中にフィードバックします。

成績評価の方法

Students will be graded based on their active participation in the class, and on the effort they put into their class work, both during the class and out of the class.

授業での積極性、授業に向けて努力をしているか（授業中及び授業外の課題も含めて）を元に評価します。

その他

授業の概要・到達目標

Course Objectives: By the end of this course, you will be able to do the following: 1) Express yourself verbally in English regarding your personal life, family, hobbies, goals, and wants; 2) Explain large numbers in English for telephone numbers, addresses, and money; 3) Express yourself in written English regarding your personal life, family, hobbies, goals, and wants; 4) Ask a native speaker of English for help at a restaurant, train station, at an airport, and for directions.

授業内容

- 第1回：Orientation / Course objectives / begin Unit 1, Flight check-in
第2回：Unit 2 Duty-free shopping / English activity
第3回：Unit 3 Buying a train ticket / English activity
第4回：Unit 4 Ordering food / English activity
第5回：Unit 5 Check-in to a hostel / English activity
第6回：Unit 6 Exchanging money / English activity
第7回：Unit 7 A rental car / English activity
第8回：Short Exam & English activity
第9回：Unit 8 Minor medical problems / English activity
第10回：Unit 9 Buying souvenirs / English activity
第11回：Unit 10 Talking about your town / English activity
第12回：Unit 11 Locations and directions / English activity
第13回：Unit 12 Talking about future plans / English activity
第14回：Final Exam (written and oral Q & A)

履修上の注意

none

準備学習（予習・復習等）の内容

Please read the unit in advance and complete any homework assignment. Naturally, you are encouraged to study diligently for the mid-term and final exams.

教科書

English for Everyday Communication, vol. 1. D. Ockert, DMK Publishers

参考書

Please read an English language newspaper such as The Japan Times or The Yomiuri Shimbun or visit their website.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Course Grading System: During class, points will be added for 1) asking questions in English, 2) class participation during pair-work and group activities. Points will be deducted for 1) speaking in Japanese; 2) *looking at* your cell phone; 3) being late. Finally, you need to get at least half of the answers correct in the mid-term (10%) and final written and oral exam (15%).

その他

More than three (3) absences will make it very difficult to pass this course. Be diligent in attendance. Five (5) times being late will count as one (1) absence.
3つ以上の欠席は、このコースを通過することを非常に困難にしてください。出席してください。5回の遅刻は1回の欠席とみなされます。

Cell phones are to be turned off before the chime indicating the start of class. Please put your phone on the designated table. A student who uses a cell phone during class just once will not receive credit for attending the class. The same for hand held games. In other words, an absence.
A student who refuses to place their cell phone on the designated table will not receive credit for attendance. Such a student will be asked to leave the classroom. A student who refuses to leave the classroom after being asked to leave by the teacher will receive a failing grade for the course.
Your participation is mandatory. Attending class without participation is the same as non-attendance and will receive the same grade. In other words, an absence. These rules are not negotiable.
*If you have free time in class after completing an activity, you may read an English language book of your choice until your classmates have also finished the activity.

クラスの開始を示すチャイムの前に携帯電話を切る。あなたの電話を指定されたテーブルに置いてください。授業中に携帯電話を一度使用した学生は、授業に参加するための功績は得られません。ハンドヘルドゲームでも同じです。つまり、欠席です。
指定されたテーブルに携帯電話を置くことを拒否する学生は、出席のためのクレジットを受け取れません。そのような学生は教室を離れるように求められます。教師が退室することを指示しても、教室を離れることを拒否する学生は、コースに不合格した成績となります。
授業中のあなたの参加は必須です。参加することなく授業に出席することは、非出席と同じです。参加せずに授業に出席する場合は、出席しない場合と同じで、同じ評価を受け取ります。つまり、欠席です。
これらのルールは交渉可能ではありません。
*アクティビティを完了した後、授業中に自由な時間がある場合は、クラスメイトがアクティビティを終了するまで、あなたは選択した英語の本を読むことができます。

授業の概要・到達目標

Course Objectives: By the end of this course, you will be able to do the following in the context of daily communication: 1) Discuss your personal life, family, hobbies, goals, and wants; 2) Discuss large numbers in English for telephone numbers, addresses, and money; 3) Explain written English your personal opinion on life, family, hobbies, goals, and wants; 4) Communicate with native speaker of English in a restaurant, train station, at an airport, and for directions. Presentation skills will also be included in this course.

授業内容

- 第1回：Orientation; Unit 1 Talking about things / English activity
第2回：Unit 2 Talking about unfamiliar foods / English activity
第3回：Unit 3 Talking about tourist attractions / English activity
第4回：Unit 4 Reporting lost property / English activity
第5回：Unit 5 Asking for directions / English activity
第6回：Unit 6 Famous attractions / English activity
第7回：Units 7 Places to visit
第8回：Short Exam & English activity
第9回：Unit 8 & Business English activity
第10回：Unit 9 & English activity
第11回：Unit 10 & Business activity
第12回：Review Units 1 ~ 5
第13回：Review Units 6 ~ 10
第14回：Final Exam (written and oral Q & A)

履修上の注意

English Communication I A

準備学習（予習・復習等）の内容

Please read the unit in advance and complete any homework assignment. Naturally, you are encouraged to study diligently for the mid-term and final exams.

教科書

English for Everyday Communication, vol. 2. D. Ockert, DMK Publishers

参考書

Please read an English language newspaper such as The Japan Times or The Yomiuri Shimbun or visit their website.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Course Grading System: During class, points will be added for 1) asking questions in English, 2) class participation during pair-work and group activities. Points will be deducted for 1) speaking in Japanese; 2) *looking at* your cell phone; 3) being late. Finally, you need to get at least half of the answers correct in the mid-term (10%) and final written and oral exam (15%).

その他

More than three (3) absences will make it very difficult to pass this course. Be diligent in attendance. Five (5) times being late will count as one (1) absence.
3つ以上の欠席は、このコースを通過することを非常に困難にしてください。出席してください。5回の遅刻は1回の欠席とみなされます。

Cell phones are to be turned off before the chime indicating the start of class. Please put your phone on the designated table. A student who uses a cell phone during class just once will not receive credit for attending the class. The same for hand held games. In other words, an absence.
A student who refuses to place their cell phone on the designated table will not receive credit for attendance. Such a student will be asked to leave the classroom. A student who refuses to leave the classroom after being asked to leave by the teacher will receive a failing grade for the course.
Your participation is mandatory. Attending class without participation is the same as non-attendance and will receive the same grade. In other words, an absence. These rules are not negotiable.
*If you have free time in class after completing an activity, you may read an English language book of your choice until your classmates have also finished the activity.

クラスの開始を示すチャイムの前に携帯電話を切る。あなたの電話を指定されたテーブルに置いてください。授業中に携帯電話を一度使用した学生は、授業に参加するための功績は得られません。ハンドヘルドゲームでも同じです。つまり、欠席です。
指定されたテーブルに携帯電話を置くことを拒否する学生は、出席のためのクレジットを受け取れません。そのような学生は教室を離れるように求められます。教師が退室することを指示しても、教室を離れることを拒否する学生は、コースに不合格した成績となります。
授業中のあなたの参加は必須です。参加することなく授業に出席することは、非出席と同じです。参加せずに授業に出席する場合は、出席しない場合と同じで、同じ評価を受け取ります。つまり、欠席です。
これらのルールは交渉可能ではありません。
*アクティビティを完了した後、授業中に自由な時間がある場合は、クラスメイトがアクティビティを終了するまで、あなたは選択した英語の本を読むことができます。

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 春学期 ■ 1単位

事前



English Communication I A

担当者

ラッセル・スティーブン

授業の概要・到達目標

- ・事前WEB登録（4月4日～）により申し込んでください。
- ・原則として、TOEIC500点以下の者を対象とします。
- ・受講希望者が多い場合、WEB抽選により受講者を決定します。

Generally speaking, students are expected to have the equivalent of a TOEIC score under 500. However, where there are more course applicants than places a web lottery will be held to select participants. The aim of the course is to acquire a basic level of English through repeated practical usage. Basic grammar will therefore be reviewed while also learning everyday English expressions. During class, students will explore issues in global society through short English readings and video clips, and do conversation and writing practice related to these themes. A buddy system will be used to build peer support and motivation.

The aim of English Communication IA is to be able to communicate in everyday situations in English. During the course, students should learn to be able to use the English studied at junior high and high school in communicative contexts. Participants should also acquire an interest in international affairs.

授業内容

Week 1: Guidance, self-introductions, how to study effectively
Week 2: Individual and society 1: The ID card
Week 3: Individual and society 2: It's a small world
Week 4: Individual and society 3: Writing
Week 5: Food and drink 1: Tastes comforting
Week 6: Food and drink 2: People behind drinks
Week 7: Food and drink 3: Writing
Week 8: Art and music 1: Picture of Dorian Gray
Week 9: Art and music 2: High fidelity
Week 10: Art and music 3: Writing
Week 11: Hopes and fears 1: Pandora's box
Week 12: Hopes and fears 2: Famous Dystopias
Week 13: Hopes and fears 3: Writing
Week 14: Review and test

履修上の注意

Generally speaking, students are expected to have the equivalent of a TOEIC score under 500. However, where there are more course applicants than places a web lottery will be held to select participants.

準備学習（予習・復習等）の内容

Review the points covered in class in the handout and ask questions in class about topics that are unclear. Study the handout and reading materials in preparation for next class.

教科書

Clandfield, Lindsay 2010 Global: Pre-intermediate coursebook. Macmillan.

参考書

English-Japanese and Japanese-English dictionaries
Other materials will be either suggested or distributed by the teacher.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

30% presentation and classwork
30% review quizzes and homework
40% final report/test

その他

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 秋学期 ■ 1単位

事前



English Communication I B

担当者

ラッセル・スティーブン

授業の概要・到達目標

- ・事前WEB登録（4月4日～）により申し込んでください。
- ・原則として、TOEIC500点以下の者を対象とします。
- ・受講希望者が多い場合、WEB抽選により受講者を決定します。

Generally speaking, students are expected to have the equivalent of a TOEIC score under 500. However, where there are more course applicants than places a web lottery will be held to select participants. The aim of the course is to acquire a basic level of English through repeated practical usage. Basic grammar will therefore be reviewed while also learning everyday English expressions. During class, students will explore issues in global society through short English readings and video clips, and do conversation and writing practice related to these themes. A buddy system will be used to build peer support and motivation.

The aim of English Communication IB is to be able to communicate in every day situations and to gain a basic understanding of concerns in global society through basic English vocabulary and to be able to express opinions in conversation and writing. Completing participants should also have some knowledge or international affairs.

授業内容

Week 1: Guidance, self-introductions, how to study effectively
Week 2: Work and leisure 1: A call centre worker
Week 3: Work and leisure 2: Amusement parks
Week 4: Science and technology 1: Fitter happier
Week 5: Science and technology 2: The Luddites
Week 6: Time and money 1: History of time zones
Week 7: Time and money 2: A different kind of drink
Week 8: Inside and outside 1: Dracula
Week 9: Inside and outside 2: Travel Guidebooks
Week 10: Health and exercise 1: Milestones in medicine
Week 11: Health and exercise 2: Olympic losers
Week 12: Past and present 1: Brave new words
Week 13: Past and present 2: Old but loved: The Trabant
Week 14: Review and test

履修上の注意

Generally speaking, students are expected to have the equivalent of a TOEIC score under 500. However, where there are more course applicants than places a web lottery will be held to select participants.

準備学習（予習・復習等）の内容

Review the points covered in class in the handout and ask questions in class about topics that are unclear. Study the handout and reading materials in preparation for next class.

教科書

Clandfield, Lindsay 2010 Global: Pre-intermediate coursebook. Macmillan.

参考書

English-Japanese and Japanese-English dictionaries
Other materials will be either suggested or distributed by the teacher.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

30% presentation and classwork
30% review quizzes and homework
40% final report/test

その他

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 春学期 ■ 1単位



English Communication I A

担当者

ガードナー, ステファン

授業の概要・到達目標

English Communication IA. This course is conducted in English. The goal of this course is to offer students the tools and skills to improve their basic communication skills and their basic "people skills" so that they might become better communicators in both personal and professional encounters. To accomplish this goal, students will have the opportunity to improve their skills by speaking and working in English, listening, reading and writing in English. *Please note-In these unusual times it is important that students and instructors both feel comfortable with their leaning environment. Therefore depending on conditions some adjustments for attendance may be discussed— with the PRIOR AGREEMENT from the instructor of the class, Mr Steve Gardner, something might be worked out. Students MUST contact the instructor first. We will try our best to to work together to offer the best and safest class that we can. Let's work together to do our best.

授業内容

The course will utilize the textbook, CD audio, videos, music, and additional materials provided by the teacher. Students will work individually, in pairs, and in small groups to develop their speaking and listening skills.

- 第1回：Course and class introduction. Getting familiar with the class. General first day work, registration, role call etc. CLASS WORK: Review of detailed personal introduction and description, fact and opinion. Student presentation of introduction.
- 第2回：Listening exercise, question worksheet, creation of three word description, vocabulary building, expanding ways to describe.
- 第3回：Description exercise with 2 short videos and worksheets, discussion exercise, social commentary worksheet with questions.
- 第4回：Thinking in English Exercise with worksheets, vocabulary review, introduction of storyboard presentation, short video and still photographs
- 第5回：Classes 1-4 review with reading and speaking exercise, vocabulary review, short test
- 第6回：(Question and Answer concerning class topic review to offer improvements or adjust the pace of our course and short test.)
- 第7回：Conflict in English, problem solving, relationships-professional and personal, worksheet, vocabulary and review
- 第8回：Food and Culture, how much is enough, class challenge, your comments, worksheets and vocabulary. Presentation of one week project on your personal consumption.
- 第9回：Improve YOUR presentation skills class with, guide on how to tell a detailed story, review guide on how to make a detailed explanation, guide on how to continued use of story board, questions, worksheets and how to video. Assignment of class project to begin developing student theme and storyboard.
- 第10回：Watch Shark Attack video with story and story board. Make final preparations on YOUR story for presentation. (There are questions and worksheets along with sample story board exercise to help you.)
- 第11回：Class review of vocabulary, techniques, questions and topics. This is a video and worksheet review.
- 第12回：Depending on our class performance and reviews this class will be adjusted. Some student presentations and makeup work, review of how to etc.
- 第13回：Test yourself. Make up work or other work depending on how the class has progressed.
- 第14回：Final questions, all makeup work due. Course Wrap-up

履修上の注意

A sincere desire to improve one's English communicative skills. A willingness to attend class and challenge the class assignments. The goal of this course is for students to improve and develop reading, discussion, thinking and vocabulary skills through exercises, discussion through the use of the text topics which are divided into three sections: education, travel and culture and health & environment. Recommended English level: Eiken 3rd grade
*This is a COMMUNICATION class. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzzz2u@yahoo.com

準備学習（予習・復習等）の内容

Students will need to have a working knowledge of English, should be prepared to listen, read, make questions and speak in class. Materials will be provided by the instructor. Class activities will be reviewed aprox. every two to three weeks by the instructor. Some presentations will be required. There will be test on material covered .

教科書

This course is based on the Impact series, however ALL materials will be provided by the teacher. Students will need a good dictionary and writing materials for use in class.

参考書

Study Materials and video links will be provided by the instructor. All will be available on the Oh Meiji website for this class. Students will need a good English Dictionary.

課題に対するフィードバックの方法

*This is a COMMUNICATION class. Face to Face discussion in or after class. Your teacher is always happy to hear from you. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzzz2u@yahoo.com
IN YOUR EMAIL—PLEASE WRITE YOUR NAME, MEIJI STUDENT ID # and this class-TUE 5 SKILLS—otherwise your mail will likely be directed to the SPAM file. あなたの名前、MEIJI学生ID番号とこのクラスを書いてください-火5スキル そうしないと、メールがSPAMファイルに送信され、クレジットを受け取れない可能性があります。
*Please note-In these unusual times it is important that students and instructors both feel comfortable with their leaning environment. Therefore depending on conditions some adjustments for attendance may be discussed— with the PRIOR AGREEMENT from the instructor of the class, Mr Steve Gardner, something might be worked out. Students MUST contact the instructor first. We will try our best to to work together to offer the best and safest class that we can.

成績評価の方法

To pass this class you must attend and complete a minimum of 60% to receive a grade of C. If you complete 10 classes along with class assignments WELL with FEW mistakes you will earn an "S". If you complete 9 of the assignments "A". If you complete 8 of the assignments "B". If you complete 7 of the assignments "C". Fewer than 7 assignments and attendance is "F".
このクラスの採点: このクラスに合格するには、出席し、最低 60% を修了して C の成績を取得する必要があります。10 のクラスを修了し、クラスの課題をいくつかの間違いで十分に完了すると、「S」を獲得できます。課題「A」を9つ完了した場合。8つの課題「B」を完了した場合。7つの課題「C」を完了した場合。課題が7つ未満で、出席は「F」です。
Students must attend 75% of the classes to receive a passing grade. This means no more than 4 unexcused absences will be permitted. Final grade will be determined according to the following approximate breakdown:
Class Participation & Performance—60%
Homework and In-class Exercises—40%

その他

*This is a COMMUNICATION class. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzzz2u@yahoo.com Remember that it is said, "Luck is what happens when preparation meets opportunity."

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 秋学期 ■ 1単位



English Communication I B

担当者

ガードナー, ステファン

授業の概要・到達目標

English Communication IB. English Communication IA. This course is conducted in English. The goal of this course is to offer students the tools and skills to improve their basic communication skills and their basic "people skills" so that they might become better communicators in both personal and professional encounters. To accomplish this goal, students will have the opportunity to improve their skills by speaking and working in English, listening, reading and writing in English. *Please note-In these unusual times it is important that students and instructors both feel comfortable with their leaning environment. Therefore depending on conditions some adjustments for attendance may be discussed— with the PRIOR AGREEMENT from the instructor of the class, Mr Steve Gardner, something might be worked out. Students MUST contact the instructor first. We will try our best to to work together to offer the best and safest class that we can. Let's work together to do our best.

授業内容

The course will utilize the IMPACT Topics textbook, CD audio, videos, music, and additional materials ALL provided by the teacher. Students will work individually, in pairs, and in small groups to develop their speaking and listening skills.

- 第1回：Introductions; Course and class re-introduction. CLASS WORK: Review of detailed introduction and description, fact and opinion. Student presentation and introductions.
- 第2回：Listening exercise, question worksheet, creation of three word description, vocabulary building, expanding ways to describe.
- 第3回：Description exercise with 2 short videos and worksheets, discussion exercise, social commentary worksheet with questions.
- 第4回：Thinking in English Exercise with worksheets, vocabulary review, introduction of storyboard presentation, short video and still photographs
- 第5回：Classes 1-4 review with reading and speaking exercise, vocabulary review, short test
- 第6回：*6th week-Question and Answer concerning class topic review to offer improvements or adjust the pace of our course and short test.)
- 第7回：Conflict in English, problem solving, relationships-professional and personal, worksheet, vocabulary and review
- 第8回：Food and Culture, how much is enough, class challenge, your comments, worksheets and vocabulary. Presentation of one week project on your personal consumption.
- 第9回：Improve YOUR presentation skills class with, guide on how to tell a detailed story, review guide on how to make a detailed explanation, guide on how to continued use of story board, questions, worksheets and how to video. Assignment of class project to begin developing student theme and storyboard.
- 第10回：Watch Shark Attack video with story and story board. Make final preparations on YOUR story for presentation. (There are questions and worksheets along with sample story board exercise to help you.)
- 第11回：Class review of vocabulary, techniques, questions and topics. This is a video and worksheet review.
- 第12回：*12th week-(Question and Answer concerning class topic as we prepare for final classes and final test.)
- 第13回：Depending on our class performance and reviews this class will be adjusted. Some student presentations and makeup work, review of how to etc.
- 第14回：Final Test yourself worksheet, questions, ALL Make up work DUE & Course Wrap-up

履修上の注意

A sincere desire to improve one's English communicative skills. A willingness to attend class and challenge the class assignments. The goal of this course is for students to improve and develop reading, discussion, thinking and vocabulary skills through exercises, discussion through the use of the text topics which are divided into three sections: education, travel and culture and health & environment. Recommended English level: Eiken 3rd grade
*This is a COMMUNICATION class. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzzz2u@yahoo.com

準備学習（予習・復習等）の内容

Students will need to have a working knowledge of English, should be prepared to listen, read, make questions and speak in class. Materials will be provided by the instructor. Class activities will be reviewed aprox. every two to three weeks by the instructor. Some presentations will be required. There will be test on material covered .

教科書

This course is based on the Impact series, however ALL materials will be provided by the teacher. Students will need a good dictionary and writing materials for use in class.

参考書

Study Materials and video links will be provided by the instructor. All will be available on the Oh Meiji website for this class. Students will need a good English Dictionary.

課題に対するフィードバックの方法

*This is a COMMUNICATION class. Face to Face discussion in or after class. Your teacher is always happy to hear from you. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzzz2u@yahoo.com
IN YOUR EMAIL—PLEASE WRITE YOUR NAME, MEIJI STUDENT ID # and this class-TUE 5 SKILLS—otherwise your mail will likely be directed to the SPAM file. あなたの名前、MEIJI学生ID番号とこのクラスを書いてください-火5スキル そうしないと、メールがSPAMファイルに送信され、クレジットを受け取れない可能性があります。
*Please note-In these unusual times it is important that students and instructors both feel comfortable with their leaning environment. Therefore depending on conditions some adjustments for attendance may be discussed— with the PRIOR AGREEMENT from the instructor of the class, Mr Steve Gardner, something might be worked out. Students MUST contact the instructor first. We will try our best to to work together to offer the best and safest class that we can.

成績評価の方法

To pass this class you must attend and complete a minimum of 60% to receive a grade of C. If you complete 10 classes along with class assignments WELL with FEW mistakes you will earn an "S". If you complete 9 of the assignments "A". If you complete 8 of the assignments "B". If you complete 7 of the assignments "C". Fewer than 7 assignments and attendance is "F".
このクラスの採点: このクラスに合格するには、出席し、最低 60% を修了して C の成績を取得する必要があります。10 のクラスを修了し、クラスの課題をいくつかの間違いで十分に完了すると、「S」を獲得できます。課題「A」を9つ完了した場合。8つの課題「B」を完了した場合。7つの課題「C」を完了した場合。課題が7つ未満で、出席は「F」です。
Students must attend 75% of the classes to receive a passing grade. This means no more than 4 unexcused absences will be permitted. Final grade will be determined according to the following approximate breakdown:
Class Participation & Performance—60%
Homework and In-class Exercises—40%

その他

*This is a COMMUNICATION class. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzzz2u@yahoo.com Remember that it is said, "Luck is what happens when preparation meets opportunity."

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 春学期 ■ 1単位



English Communication I A

担当者

ストラック, アンドリュー

授業の概要・到達目標

The purpose of this class is to help students develop oral communication skills in English. This class will be conducted in English only to give students the maximum opportunities to communicate in English. The skills of listening and speaking will be the primary focus of the course.

Students will learn useful phrases and expressions for use in daily conversations in a variety of situations. Students will develop pronunciation skills in areas such as intonation, word/sentence stress, and connected speech.

In addition, there will be some supplementary reading, exercises and discussions. With appropriate review, preparation, and participation in class, after one year of study students may expect to develop comprehension skills necessary achieve a score of 440 or higher on the TOEIC test.

授業内容

The content of the course will focus on a variety of topics of interest to university students.

Topics are the beginning point from which many important functions of language are introduced.

New expressions, vocabulary and chunks of language are the building blocks of fluency which are introduced in listenings and then practiced in conversations. Students will develop pronunciation skills and communication strategies. Students will be asked to demonstrate their knowledge of language in short written tests.

第1回…course orientation / registration / getting to know classmates

第2回…strategies for fluency / pronunciation / Unit 1: introductions- exchanging personal information

第3回…introductions- exchanging personal information / Unit 2: Expressing preferences

第4回…Expressing preferences

第5回… (written test 1) Unit 3: Art- expressing opinions and criticism

第6回…Art-expressing opinions and criticism /

第7回…Review / mid-term speaking test / Unit 4: Family- describing people

第8回…Unit 4: Family: describing people

第9回… (written test 2) / Unit 5: Describing fears

第10回…Describing fears

第11回…Unit 6: Commuting- complaining

第12回…Unit 7: talking about experiences- telling stories

第13回…Unit 7: talking about experiences- telling stories / Unit 8: health - making excuses

第14回…Semester review/ (written test 3)

*Note: This schedule is subject to change slightly

履修上の注意

There are no prerequisites for this course. This course is recommended for students whose TOEIC score is below 500.

準備学習（予習・復習等）の内容

Students should prepare for this course by reviewing basic English vocabulary and grammar learned in high school and other courses. Each week students should review material from previous lessons and preview upcoming textbook material. Students will benefit from listening to the textbook CD to improve listening and pronunciation.

教科書

『Impact Conversation 1』. Kristen Sullivan and Todd Beuckens, Pearson/Longman.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

Students will receive individual feedback on written tests. All test will be returned to students for their review and improvement. Students will receive direct individual feedback during in-class speaking practice.

成績評価の方法

Participation/In-class performance (50%)

Short tests (50%)

その他

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 秋学期 ■ 1単位



English Communication I B

担当者

ストラック, アンドリュー

授業の概要・到達目標

The purpose of this class is to help students develop oral communication skills in English. This class will be conducted in English only to give students the maximum opportunities to communicate in English. The skills of listening and speaking will be the primary focus of the course.

Students will learn useful phrases and expressions for use in daily conversations in a variety of situations. Students will develop pronunciation skills in areas such as intonation, word/sentence stress, and connected speech.

In addition, there will be some supplementary reading, exercises and discussions. With appropriate review, preparation, and participation in class, after one year of study students may expect to develop comprehension skills necessary achieve a score of 440 or higher on the TOEIC test.

授業内容

The content of the course will focus on a variety of topics of interest to university students.

Topics are the beginning point from which many important functions of language are introduced.

New expressions, vocabulary and chunks of language are the building blocks of fluency which are introduced in listenings and then practiced in conversations. Students will develop pronunciation skills and communication strategies. Students will be asked to demonstrate their knowledge of language in short written tests.

第1回…course orientation / Communication strategies / getting to know classmates

第2回…Unit 9: Relationships & Life events

第3回…Unit 9: Relationships & Life events / Unit 10: Free time activities - suggestions & Invitations

第4回…Unit 10: Free time activities - suggestions & Invitations

第5回… (written test 1) Unit 11: Travel - Expressing Personal needs

第6回…Unit 11: Travel - Expressing Personal needs

第7回…Review / Unit 12: Making Plans

第8回…Unit 13: Cultural stereotypes

第9回… (written test 2) / Unit 14: Expressing skills and abilities

第10回…Unit 14: Expressing skills and abilities

第11回…Unit 15: Reacting to good & bad news

第12回…Unit 15: Reacting to good & bad news / Unit 16: Expressing Future Hopes & desires

第13回…Unit 16: Expressing Future Hopes & desires

第14回…Semester review/ (written test 3)

*Note: This schedule is subject to change slightly

履修上の注意

There is no prerequisite for this course. This course is recommended for students with a TOEIC score of less than 500 (or equivalent).

準備学習（予習・復習等）の内容

Students should prepare for classes by reviewing the first 8 units of the textbook.

Students should prepare each week by reviewing the content of the previous class and previewing the content of the next lesson.

Students are encouraged to listen to the textbook CD to reinforce and improve listening and pronunciation skills.

教科書

『Impact Conversation 1』. Kristen Sullivan and Todd Beuckens, Pearson/Longman.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

Students are provided with individual feedback on written tests and will receive test papers for review and improvement. Students will receive ongoing direct individual feedback during in-class speaking assignments

成績評価の方法

Participation/In-class performance (50%)

Short tests (50%)

その他

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 春学期 ■ 1単位

事前



English Communication I A

担当者

ハドランド, エリック

授業の概要・到達目標

Course overview and learning targets: Course IA includes practices to read, write, speak, and listen to English. We target steps to a mastery of basic English vocabulary and structure. Lectures, homework, and group activities may use game theory.

授業内容

The spring semester focuses on syntax and structure in the grammar test and phrasal verb sections.

- 01 4-07 system/goals
- 02 1-01/1-03 verb/noun exercises
- 03 1-02/1-03 verb/noun exercises
- 04 1-05/1-04 verb/noun exercises
- 05 1-06/1-04 verb/noun exercises
- 06 1-07 simple sentences
- 07 1-08 compound sentences
- 08 1-09 complex sentences
- 09 1-10 compound-complex sentences
- 10 2-01 phrasal verbs
- 11 2-02 phrasal verbs
- 12 1-11 grammar test
- 13 1-11 grammar test
- 14 3-02 communication game

履修上の注意

There are no definite prerequisites, but it's useful to have an ability to follow directions, work in teams, and use English to communicate on a basic level.

準備学習（予習・復習等）の内容

Out of class learning includes weekly homework assignments with open communications. Students need a textbook, stationary supplies, various phone apps, dictionary; each team needs playing cards.

教科書

read write speak listen by E.M. Hadland (2021) available in the campus bookstore

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Grading and evaluation will be on individual point averages of weekly homework assignments, and performance in group activities.

その他

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 秋学期 ■ 1単位

事前



English Communication I B

担当者

ハドランド, エリック

授業の概要・到達目標

Course overview and learning targets: Course IB builds on IA prerequisites, TOEIC vocabulary, projects, and games.

授業内容

The fall semester includes review of basics, and TOEIC vocabulary. We may target other topics in reading/writing or speaking/listening depend on student aptitude and preferences.

- 01 3-07 system/goals, review of prerequisites
- 02 10-01 communication survey
- 03 2-03 phrasal verbs
- 04 2-04 phrasal verbs
- 05 3-03 to 05 writing test
- 06 3-06 to 10 writing test
- 07 3-11 to 15 writing test
- 08 3-16 to 20 writing test
- 09 7-04 writing game
- 10 7-04 writing game
- 11 7-06 writing game
- 12 7-06 writing game
- 13 3-02 speaking game
- 14 unit 10 speaking games

履修上の注意

Prerequisites include some basics of Course 1A, such as 01-11 and 01-12 grammar test, and the main ideas about sentences.

準備学習（予習・復習等）の内容

Out of class learning includes weekly homework assignments with open communications. Students need a textbook, stationary supplies, various phone apps, and dictionary; each team needs playing cards.

教科書

The textbook is read write speak listen by E.M. Hadland (2021) found in the campus bookstore.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Grades are based on weekly score averages, team and class participation.

その他

科目ナンバー：(LP)LAN215E

■ 春学期 ■ 1単位

事前



English Communication II A

担当者

ハミルトン, ロバート

授業の概要・到達目標

この授業では、会話、聞き取り、読解を中心に、全体的な英語力の向上を目指します。授業はすべて英語で行います。

Since English is increasingly the lingua franca for cross-national communication in Asia and other areas, it is important for Japanese students to understand English that is spoken by both native and non-native speakers. This course will focus on understanding spoken English from a variety of different international sources. It will also help students to express themselves clearly in English while:

- a) summarizing information
- b) expressing opinions, and
- c) interacting in discussions

By the end of the course, you students should be able to understand speeches made by people from a variety of countries, discuss the contents, and express their own opinions in short, structured speeches.

授業内容

- 第1回：Introduction and orientation
- 第2回：Hidden Miracles: Life Science
- 第3回：Louie Schwartzberg: Hidden Miracles of the Natural World
- 第4回：Sleep Matters: Health Science
- 第5回：Arianna Huffington: How to Succeed? Get More Sleep
- 第6回：Cyborg Tech: Engineering/Technology
- 第7回：Neil Harbisson: I Listen to Colour
- 第8回：mid-term presentations
- 第9回：Happy Planet: Economics/Statistics
- 第10回：Nic Marks: The Happy Planet Index
- 第11回：Career Paths: Business/Design
- 第12回：Sefan Sagmeister: The Power of Time Off
- 第13回：Semester review
- 第14回：Final presentation

履修上の注意

none

準備学習（予習・復習等）の内容

Before each class, students will need to need to check Oh-oh Meiji! to see the requirements. This will usually be watching and understanding a TED video, and/or reading materials and answering questions so that you will be prepared for class.

教科書

Blass, Laurie, *21st Century Reading 3*, Student Book, National Geographic Learning, 9781305265714

参考書

Students should have a simplified English dictionary and an J><E dictionary (either physical or as an app). Translation software is not acceptable, and use of translation apps or sites will result in an absence.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- 40% in-class participation
- 10% in-class English use
- 20% homework
- 30% final presentation

その他

This class will be conducted entirely in English. Failure to make an effort to communicate in English will result in an absence. Failure to complete homework before class will result in an absence. Students are responsible for checking Oh-Meiji for information between classes. All information about homework and assignments will be posted there. Being absent from a class is not an excuse to arrive to class with unfinished homework. If a student is absent from a class and then arrives to the next class with incomplete homework, that will count as two absences. Three absences will result in failure.

科目ナンバー：(LP)LAN215E

■ 秋学期 ■ 1単位

事前



English Communication II B

担当者

ハミルトン, ロバート

授業の概要・到達目標

この授業では、会話、聞き取り、読解を中心に、全体的な英語力の向上を目指します。授業はすべて英語で行います。

Since English is increasingly the lingua franca for cross-national communication in Asia and other areas, it is important for Japanese students to understand English that is spoken by both native and non-native speakers. This course will focus on understanding spoken English from a variety of different international sources. It will also help students to express themselves clearly in English while:

- a) summarizing information
- b) expressing opinions, and
- c) interacting in discussions

By the end of the course, you students should be able to understand speeches made by people from a variety of countries, discuss the contents, and express their own opinions in short, structured speeches.

授業内容

- 第1回：Review of summer projects
- 第2回：Text Generation: Linguistics
- 第3回：John McWhorter: Txtng is Killing Language. JK!!!
- 第4回：Barriers and Bridges: Sociology
- 第5回：Chimamanda Ngozi Adichie: The Danger of a Single Story
- 第6回：Personality Types: Psychology
- 第7回：Susan Cain: The Power of Introverts
- 第8回：mid-term presentations
- 第9回：Smart Thinking: Behaviour/Life Science
- 第10回：Susan Savege-Rumbaugh: The Gentle Genius of Bonobos
- 第11回：Facing Fear: Psychology/Exploration
- 第12回：Chris Hatfield: What I Learned from Going Blind in Space
- 第13回：Semester review
- 第14回：Final presentations

履修上の注意

none

準備学習（予習・復習等）の内容

Before each class, students will need to need to check Oh-oh Meiji! to see the requirements. This will usually be watching and understanding a TED video, and/or reading materials and answering questions so that you will be prepared for class.

教科書

Blass, Laurie, *21st Century Reading 3*, Student Book, National Geographic Learning, 9781305265714

参考書

Students should have a simplified English dictionary and an J><E dictionary (either physical or as an app). Translation software is not acceptable, and use of translation apps or sites will result in an absence.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- 40% in-class participation
- 10% in-class English use
- 20% homework
- 30% final presentation

その他

This class will be conducted entirely in English. Failure to make an effort to communicate in English will result in an absence. Failure to complete homework before class will result in an absence. Students are responsible for checking Oh-Meiji for information between classes. All information about homework and assignments will be posted there. Being absent from a class is not an excuse to arrive to class with unfinished homework. If a student is absent from a class and then arrives to the next class with incomplete homework, that will count as two absences. Three absences will result in failure.

科目ナンバー：(LP)LAN215E

■ 春学期 ■ 1単位



English Communication II A

担当者

中津川 みゆき

授業の概要・到達目標

第一回目の授業の出席が必須です。

第一回目の授業での入室試験（インタビューテスト）によりクラスに入ります。

English Communication IA・B終了程度の力を求めます。

原則として、TOEIC500点程度を求めます。

This course aims to develop communication skills by engaging with a wide range of topics about the world we live in today. Drawing on contents from TED Talks, students will use English to learn about innovative ideas, take part in discussions, develop opinions, and produce oral and written reports. A complementary focus on vocabulary and grammar will be provided to strengthen language foundation. By the end of the course, students will acquire both content knowledge and language skills to communicate competently in English.

授業内容

第1回：Course Introduction

第2回：Unit 1 Life Science: Hidden Miracles

第3回：Unit 1 continued

第4回：Unit 2 Health Science: Sleep Matters

第5回：Unit 2 continued

第6回：Unit 3 Engineering / Technology: Cyborg Tech

第7回：Unit 3 continued

第8回：Unit 4 Economics / Statistics: Happy Planet

第9回：Unit 4 continued

第10回：Unit 5 Business/Design: Career Paths

第11回：Unit 5 continued

第12回：Unit 6 Presentations 1

第13回：Unit 6 Presentations 2

第14回：Review and Test

履修上の注意

Entrance is based on successful completion of English Communication IA&B or TOEIC and a class entrance exam. Participants are expected to have the equivalent of a score of 500 on the TOEIC test.

準備学習（予習・復習等）の内容

Students are expected to prepare for class and review key points covered in class by completing weekly assignments.

教科書

Blass, L., Vargo, M., & Wisniewska, I. (2014). 21st century reading 3: Creative thinking and reading with TED Talks. Boston, MA: Cengage Learning.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

30%: Listening Log & Oral presentation

40%: Attendance, participation, & weekly assignments

30%: Final test

その他

科目ナンバー：(LP)LAN215E

■ 秋学期 ■ 1単位



English Communication II B

担当者

中津川 みゆき

授業の概要・到達目標

第一回目の授業の出席が必須です。

第一回目の授業での入室試験（インタビューテスト）によりクラスに入ります。

English Communication IA・B終了程度の力を求めます。

原則として、TOEIC500点程度を求めます。

This course aims to develop communication skills by engaging with a wide range of topics about the world we live in today. Drawing on contents from TED Talks, students will use English to learn about innovative ideas, take part in discussions, develop opinions, and produce oral and written reports. A complementary focus on vocabulary and grammar will be provided to strengthen language foundation. By the end of the course, students will acquire both content knowledge and language skills to communicate competently in English.

授業内容

第1回：Course Introduction

第2回：Unit 6 Linguistics: Text Generation

第3回：Unit 6 continued

第4回：Unit 7 Sociology: Barriers and Bridges

第5回：Unit 7 continued

第6回：Unit 8 Psychology: Personality Types

第7回：Unit 8 continued

第8回：Unit 9 Behavior / Life Science: Smart Thinking

第9回：Unit 9 continued

第10回：Unit 10 Psychology / Exploration: Facing Fear

第11回：Unit 10 continued

第12回：Presentations 1

第13回：Presentations 2

第14回：Review and Test

履修上の注意

Entrance is based on successful completion of English Communication IA&B or TOEIC and a class entrance exam. Participants are expected to have the equivalent of a score of 500 on the TOEIC test.

準備学習（予習・復習等）の内容

Students are expected to prepare for class and review key points covered in class by completing weekly assignments.

教科書

Blass, L., Vargo, M., & Wisniewska, I. (2014). 21st century reading 3: Creative thinking and reading with TED Talks. Boston, MA: Cengage Learning.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

30%: Listening log & oral presentation

40%: Attendance, participation, & weekly assignments

30%: Final test

その他

科目ナンバー：(LP)LAN215E

■ 春学期 ■ 1単位

English Communication II A

ガードナー, ステファン

WEB登録

授業の概要・到達目標

This course is conducted in English. Students need a good working knowledge and ability to join this class. The goal of this course is to offer students the tools and skills to improve their basic communication skills in English and their basic "people skills" so that they might become better communicators in both personal and professional encounters. To accomplish this goal, students will have the opportunity to improve their skills by speaking and working in English, listening, reading and writing in English as well as through the use of video and audio materials and study materials provided by the instructor—to be used in class or as homework. This course will combine the best techniques of general face to face classes: including discussions, presentations and group work with access to class assignments and homework posted on the internet for student listening and reading—accessed from the Oh Meiji website for this class.

If you have any questions or comments please do not hesitate to contact me by email: Steve Gardner— bluzzzz2u@yahoo.com
IN YOUR EMAIL—PLEASE WRITE YOUR NAME, MEIJI STUDENT ID # and this class-TUE 5 SKILLS— otherwise your mail will likely be directed to the SPAM file. あなたの名前、MEIJI学生ID番号とこのクラスを書いてください火5スキル そうしないと、メールがSPAMファイルに送信され、クレジットを受け取れない可能性があります。
*Please note-In these unusual times it is important that students and instructors both feel comfortable with their leaning environment. Therefore depending on conditions some adjustments for attendance may be discussed— with the PRIOR AGREEMENT from the instructor of the class, Mr Steve Gardner, something might be worked out. Students MUST contact the instructor first. We will try our best to to work together to offer the best and safest class that we can. Let's work together to do our best.

授業内容

We will use videos and other images to reinforce our goals. YOU too will be expected to participate in the sharing of visual images as you report or present projects or assignments. Remember that it is said, "Luck is what happens when preparation meets opportunity."
Spring
(1) Course and class introduction. General first day work, registration, introduction
(2) Listening exercise, question worksheet, three word self description
(3) Description exercise with 2 short videos and worksheets
(4) Thinking in English Exercise with worksheets, presentation, short video and still photographs
(5) Classes 1-4 review
*6th week- (Question and Answer review short test.)
(6) Conflict in English, problem solving, relationships-professional and personal w/ worksheet
(7) Food and Culture, how much is enough, class challenge, your comments, worksheets and vocabulary. Presentation of one week project on your personal consumption.
(8) Improve YOUR presentation skills class with, guide on detailed story w/ review guide
(9) Watch Shark Attack video with story and story board, final preparations story for presentation.
00 Class review of vocabulary w/video and worksheet
*12th week- (Question and Answer Session for final classes and final test.)
01 Class performance reviews
02 Test yourself.
*This is a COMMUNICATION class. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzzz2u@yahoo.com

履修上の注意

The class is conducted in English. To join this class students need to have basic English communication skills for listening, reading and speaking n order to gain the most, improve your skills and enjoy this course. It is important that students joining this class have the English skill level of the majority of class members-both listening and speaking in order to gain the maximum benefit offered by this class. Be prepared to work with your classmates, read aloud, make short comments and presentations in class.

準備学習（予習・復習等）の内容

The course is divided into Spring and Fall semesters consisting of 12 class assignments plus two review assignments for a total of 14 classes in each semester according to Meiji University regulations. These assignments include useful tips on introductions, presentations, general tips on improving your listening and speaking skills, career choices and values in the work place, topics for success, understanding caused and effect, vocabulary building, descriptions, understanding fact vs. opinion, vocabulary challenges, along with some over all course review with a class assignment devoted to helpful hints to improve Toefl reading and listening. All very important skills for success-in any language. Be prepared to work with your classmates, read aloud, make short comments and presentations in class.

教科書

Study Materials provided by the instructor in class. Study Materials and video links will be provided by the instructor.

参考書

Study Materials and video links will be provided by the instructor. All links will be available on the Oh Meiji website for this class.
Students will need a good English Dictionary.
Please always bring something to write with to class.

課題に対するフィードバックの方法

*This is a COMMUNICATION class. Face to Face discussion in or after class. Your teacher is always happy to hear from you. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzzz2u@yahoo.com
IN YOUR EMAIL—PLEASE WRITE YOUR NAME, MEIJI STUDENT ID # and this class-TUE 5 SKILLS— otherwise your mail will likely be directed to the SPAM file. あなたの名前、MEIJI学生ID番号とこのクラスを書いてください火5スキル そうしないと、メールがSPAMファイルに送信され、クレジットを受け取れない可能性があります。
*Please note-In these unusual times it is important that students and instructors both feel comfortable with their leaning environment. Therefore depending on conditions some adjustments for attendance may be discussed— with the PRIOR AGREEMENT from the instructor of the class, Mr Steve Gardner, something might be worked out. Students MUST contact the instructor first. We will try our best to to work together to offer the best and safest class that we can.

成績評価の方法

This is A SPEAKING Class. Students are graded on their participation, enthusiasm and improvement of their skills in English. Attendance 60%. Class work and other 40%
To pass this class you must attend and complete a minimum of 60% to receive a grade of C. If you complete 10 classes along with class assignments WELL with FEW mistakes you will earn an "S". If you complete 9 of the assignments "A". If you complete 8 of the assignments "B". If you complete 7 of the assignments "C". Fewer than 7 assignments and attendance is "F".
このクラスの採点: このクラスに合格するには、出席し、最低 60% を修了して C の成績を取得する必要があります。10のクラスを修了し、クラスの課題をいくつかの間違いで十分に完了すると、「S」を獲得できます。課題「A」を9つ完了した場合。8つの課題「B」を完了した場合。7つの課題「C」を完了した場合。課題が7つ未満で、出席は「F」です。
* (This means that students are responsible for their grade and must do the work as well as strive to communicate with the instructor and other members of the class.)

その他

This course is conducted in English.
*This is a COMMUNICATION class. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzzz2u@yahoo.com
Remember that it is said, "Luck is what happens when preparation meets opportunity."
Albert Einstein, reminds us that, "Education is not the learning of facts but rather the training of the mind to think." Use this class to improve your English, your communication skills as you use your time at Meiji University to improve your thinking!

科目ナンバー：(LP)LAN215E

■ 秋学期 ■ 1単位

English Communication II B

ガードナー, ステファン

WEB登録

授業の概要・到達目標

This course is conducted in English. Students need a good working knowledge and ability to join this class. The goal of this course is to offer students the tools and skills to improve their basic communication skills in English and their basic "people skills" so that they might become better communicators in both personal and professional encounters. To accomplish this goal, students will have the opportunity to improve their skills by speaking and working in English, listening, reading and writing in English as well as through the use of video and audio materials and study materials provided by the instructor—to be used in class or as homework. This course will combine the best techniques of general face to face classes: including discussions, presentations and group work with access to class assignments and homework posted on the internet for student listening and reading—accessed from the Oh Meiji website for this class.

If you have any questions or comments please do not hesitate to contact me by email: Steve Gardner— bluzzzz2u@yahoo.com
IN YOUR EMAIL—PLEASE WRITE YOUR NAME, MEIJI STUDENT ID # and this class-TUE 5 SKILLS— otherwise your mail will likely be directed to the SPAM file. あなたの名前、MEIJI学生ID番号とこのクラスを書いてください火5スキル そうしないと、メールがSPAMファイルに送信され、クレジットを受け取れない可能性があります。
*Please note-In these unusual times it is important that students and instructors both feel comfortable with their leaning environment. Therefore depending on conditions some adjustments for attendance may be discussed— with the PRIOR AGREEMENT from the instructor of the class, Mr Steve Gardner, something might be worked out. Students MUST contact the instructor first. We will try our best to to work together to offer the best and safest class that we can. Let's work together to do our best.

授業内容

1B Review of Study tips
2B Habits of Successful People TOPICS
3B 03 Values in the Workplace Shen's Boss (Critical reading and Listening)
4B Career Choices (Values 18)
5B WHO PAYS? (Values 18)
*Course review short test.
6B SEVEN BILLION WHO IS MOST TYPICAL
7B Shark Attack story by Richard E. Grant
8B Story Board, Stick Figures and Presentation
9B Cause and Effect 2B (review and up-date)
10B How to Improve YOUR English Listening Skills
*Course review and make-up assignments as we prepare for final test.
11B LISTENING PRACTICE-Three TOFEL STYLE Listening Exercises with Questions and Answers
12B READING PRACTICE QUIZ FOR TOFEL 10 QUESTIONS AND ANSWERS
We will use videos and other images to reinforce our goals. YOU too will be expected to participate in the sharing of visual images as you report or present projects or assignments. Remember that it is said, "Luck is what happens when preparation meets opportunity."

履修上の注意

The class is conducted in English. To join this class students need to have basic English communication skills for listening, reading and speaking n order to gain the most, improve your skills and enjoy this course. It is important that students joining this class have the English skill level of the majority of class members-both listening and speaking in order to gain the maximum benefit offered by this class. Be prepared to work with your classmates, read aloud, make short comments and presentations in class.

準備学習（予習・復習等）の内容

The course is divided into Spring and Fall semesters consisting of 12 class assignments plus two review assignments for a total of 14 classes in each semester according to Meiji University regulations. These assignments include useful tips on introductions, presentations, general tips on improving your listening and speaking skills, career choices and values in the work place, topics for success, understanding caused and effect, vocabulary building, descriptions, understanding fact vs. opinion, vocabulary challenges, along with some over all course review with a class assignment devoted to helpful hints to improve Toefl reading and listening. All very important skills for success-in any language. Be prepared to work with your classmates, read aloud, make short comments and presentations in class.

教科書

Study Materials provided by the instructor in class. Study Materials and video links will be provided by the instructor.

参考書

Study Materials and video links will be provided by the instructor. All will be available on the Oh Meiji website for this class.
Students will need a good English Dictionary. Please always bring something to write with to class.

課題に対するフィードバックの方法

*This is a COMMUNICATION class. Face to Face discussion in or after class, your teacher is always happy to hear from you. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE BY EMAIL. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzzz2u@yahoo.com
IN YOUR EMAIL—PLEASE WRITE YOUR NAME, MEIJI STUDENT ID # and this class-TUE 5 SKILLS— otherwise your mail will likely be directed to the SPAM file. あなたの名前、MEIJI学生ID番号とこのクラスを書いてください火5スキル そうしないと、メールがSPAMファイルに送信され、クレジットを受け取れない可能性があります。
*Please note-In these unusual times it is important that students and instructors both feel comfortable with their leaning environment. Therefore depending on conditions some adjustments for attendance may be discussed— with the PRIOR AGREEMENT from the instructor of the class, Mr Steve Gardner, something might be worked out. Students MUST contact the instructor first. We will try our best to to work together to offer the best and safest class that we can.

成績評価の方法

This is A SPEAKING Class. Students are graded on their participation, enthusiasm and improvement of their skills in English. Attendance 60%. Class work and other 40%
To pass this class you must attend and complete a minimum of 60% to receive a grade of C. If you complete 10 classes along with class assignments WELL with FEW mistakes you will earn an "S". If you complete 9 of the assignments "A". If you complete 8 of the assignments "B". If you complete 7 of the assignments "C". Fewer than 7 assignments and attendance is "F".
このクラスの採点: このクラスに合格するには、出席し、最低 60% を修了して C の成績を取得する必要があります。10のクラスを修了し、クラスの課題をいくつかの間違いで十分に完了すると、「S」を獲得できます。課題「A」を9つ完了した場合。8つの課題「B」を完了した場合。7つの課題「C」を完了した場合。課題が7つ未満で、出席は「F」です。
* (This means that students are responsible for their grade and must do the work as well as strive to communicate with the instructor and other members of the class.)

その他

This course is conducted in English.
*This is a COMMUNICATION class. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzzz2u@yahoo.com
Remember that it is said, "Luck is what happens when preparation meets opportunity."
Albert Einstein, reminds us that, "Education is not the learning of facts but rather the training of the mind to think." Use this class to improve your English, your communication skills as you use your time at Meiji University to improve your thinking!

科目ナンバー：(LP)LAN215E

■ 春学期 ■ 1単位

事前



English Communication ⅡA

担当者

ザンギ, ジョセフ

授業の概要・到達目標

This is a course in English communication where student conversation is the primary focus. By communicating in class activities, students have the opportunity to improve their conversational skills in English. Students are expected to participate in class to improve their English communication speaking and listening abilities. Students are expected to complete assignments prior to coming to class.

授業内容

- 第1回：Introductions
- 第2回：World Geography
- 第3回：Geography: Landforms, Population, Nationalities
- 第4回：Cities
- 第5回：Cities: Landmarks
- 第6回：Food
- 第7回：Food: Health & Exercise
- 第8回：Famous People
- 第9回：Famous People: Celebrities, Historical Figures
- 第10回：Famous People and Inventions
- 第11回：World Cultures
- 第12回：Sports
- 第13回：Sports: Olympics
- 第14回：Exam

履修上の注意

準備学習（予習・復習等）の内容

Students are expected to actively participate in class.
Students should do assigned pages in the textbook and review handouts from class.

教科書

Global Topics for Discussion pdf
ISBN 978-193360645-3
Published by Printed Matter Press

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Class performance and Attendance 50%
English proficiency 25%
Exam (Final) 25%

その他

科目ナンバー：(LP)LAN215E

■ 秋学期 ■ 1単位

事前



English Communication ⅡB

担当者

ザンギ, ジョセフ

授業の概要・到達目標

This is a course in English communication where student conversation is the primary focus. By communicating in class activities, students have the opportunity to improve their conversational skills in English. Students are expected to participate in class to improve their English communication speaking and listening abilities. Students are expected to complete assignments prior to coming to class.

授業内容

- 第1回：Music
- 第2回：Music: Rock, Pop, Jazz, Blues
- 第3回：Transportation
- 第4回：Means of Transportation
- 第5回：Energy
- 第6回：Energy: Fossil Fuels, Nuclear, Renewables
- 第7回：Technology
- 第8回：Technology: Inventions
- 第9回：Space
- 第10回：Why We Explore Space
- 第11回：Movie Genres
- 第12回：The Future
- 第13回：Logical Reasoning
- 第14回：Exam

履修上の注意

準備学習（予習・復習等）の内容

Students are expected to actively participate in class.
Students should do assigned pages in the textbook and review handouts from class.

教科書

Global Topics for Discussion pdf
ISBN 978-193360645-3
Published by Printed Matter Press

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Class performance and Attendance 50%
English proficiency 25%
Exam (Final) 25%

その他

科目ナンバー：(LP) LAN215E

■ 春学期 ■ 1単位

事前



English Communication II A

担当者

ウェブスター, ダニエル

授業の概要・到達目標

- ・第一回目の授業の出席が必須です。
- ・第一回目の授業での入室試験（インタビューテスト）によりクラスに入ります。
- ・English Communication IA・B修了程度の力を求めます。
- ・原則として、TOEIC500点程度を求めます。

Class Summary:

I would like to use Mitch Albom's non-fiction book "Tuesdays with Morrie" as a textbook, and make it a class to think about the meaning of life through discussions in English.

Tuesdays with Morrie is a non-fiction book by Mitch Albom, a leading sports writer in the United States—however it has nothing to do directly with sports. Instead, it is about his meetings with his former sociology professor, Morrie Schwartz, who is dying from "Lou Gehrig's Disease." Essentially, this is the story of Albom's "last classes" with Schwartz, in which he comes to reevaluate the way he is living life. This book, which was tremendously popular in the United States, is written in an English that is relatively easy to read. It is a work which will be of interest to anyone who wishes to be able to discuss and write intelligently on "the meaning of life" in English.

Goal: Improve your ability to speak, listen, write, and read English.

Every student will be expected to do the weekly homework, which will include both reading and writing assignments. In addition, each student must take an active part in the weekly discussion sessions.

Bring a good English-Japanese/Japanese-English dictionary to class. (Either a paper dictionary or an electronic dictionary is acceptable.)

This course will be conducted entirely in English.

授業内容

Spring Semester

- 第1回：Introduction to the course. Students' Self-introductions. Homework: Assignment #1; reading and preparing for Discussion Question # 1.
- 第2回：Assignment # 1 done in class. Homework: Assignment #2; reading and preparing for Discussion Question # 2.
- 第3回：Assignment # 2 done in class. Homework: Assignment #3; reading and preparing for Discussion Question # 3.
- 第4回：Assignment # 3 done in class. Homework: Assignment #4; reading and preparing for Discussion Question # 4.
- 第5回：Assignment # 4 done in class. Homework: Assignment #5; reading and preparing for Discussion Question # 5.
- 第6回：Assignment # 5 done in class. Homework: Assignment #6; reading and preparing for Discussion Question # 6.
- 第7回：Assignment # 6 done in class. Homework: Assignment #7; reading and preparing for Discussion Question # 7.
- 第8回：Assignment # 7 done in class. Homework: Assignment #8; reading and preparing for Discussion Question # 8.
- 第9回：Assignment # 8 done in class. Homework: Assignment #9; reading and preparing for Discussion Question # 9.
- 第10回：Assignment # 9 done in class. Homework: Assignment #10; reading and preparing for Discussion Question # 10.
- 第11回：Assignment # 10 done in class. Homework: Assignment #11; reading and preparing for Discussion Question # 11.
- 第12回：Assignment # 11 done in class. Homework: Assignment # 12; reading and preparing for Discussion Question # 12.
- 第13回：Assignment # 12 done in class. Homework: Assignment #13; reading and preparing for Discussion Question # 13.
- 第14回：Assignment # 13 done in class. Wrap-up.
- *授業内容は必要に応じて変更することがあります。

履修上の注意

Students should be ready to read a non-fiction book in English that deals with serious subjects.

This course will be conducted entirely in English.

Bring a good English-Japanese/Japanese-English dictionary to class. (Either a paper dictionary or an electronic dictionary is acceptable.)

準備学習（予習・復習等）の内容

Every student will be expected to do the weekly homework, which will include both reading and writing assignments. In addition, each student must take an active part in the weekly discussion sessions.

教科書

『Tuesdays with Morrie』ペーパーバック版 Mitch Albom 著 (Broadway出版 ISBN: 978-0-7679-0592-3)

参考書

課題に対するフィードバックの方法

The instructor will critique students' assignments in-class.

成績評価の方法

Students will be graded based on their active participation in this course's weekly activities.

その他

科目ナンバー：(LP) LAN215E

■ 秋学期 ■ 1単位

事前



English Communication II B

担当者

ウェブスター, ダニエル

授業の概要・到達目標

- ・第一回目の授業の出席が必須です。
- ・第一回目の授業での入室試験（インタビューテスト）によりクラスに入ります。
- ・English Communication II A修了程度の力を求めます。
- ・原則として、TOEIC500点程度を求めます。

Class Summary:

(Students who did not take this course in the Spring Semester should acquaint themselves with the text up to page 55.)

Tuesdays with Morrie is a non-fiction book by Mitch Albom, a leading sports writer in the United States—however it has nothing to do directly with sports. Instead, it is about his meetings with his former sociology professor, Morrie Schwartz, who is dying from "Lou Gehrig's Disease." Essentially, this is the story of Albom's "last classes" with Schwartz, in which he comes to reevaluate the way he is living life. This book, which was tremendously popular in the United States, is written in an English that is relatively easy to read. It is a work which will be of interest to anyone who wishes to be able to discuss and write intelligently on "the meaning of life" in English.

Goal: Improve your ability to speak, listen, write, and read English.

Every student will be expected to do the weekly homework, which will include both reading and writing assignments. In addition, each student must take an active part in the weekly discussion sessions.

Bring a good English-Japanese/Japanese-English dictionary to class. (Either a paper dictionary or an electronic dictionary is acceptable.)

This course will be conducted entirely in English.

授業内容

- Class 1: Introduction to the course, and student self-introductions. Assignment #14 for the next week.
- Class 2: Assignment # 14 done in class. Homework: Assignment # 15; reading and preparing for Discussion Question # 15.
- Class 3: Assignment # 15 done in class. Homework: Assignment #16; reading and preparing for Discussion Question # 16.
- Class 4: Assignment # 16 done in class. Homework: Assignment #17; reading and preparing for Discussion Question # 17.
- Class 5: Assignment # 17 done in class. Homework: Assignment #18; reading and preparing for Discussion Question # 18.
- Class 6: Assignment # 18 done in class. Homework: Assignment #19; reading and preparing for Discussion Question # 19.
- Class 7: Assignment # 19 done in class. Homework: Assignment # 20; reading and preparing for Discussion Question # 20.
- Class 8: Assignment # 20 done in class. Homework: Assignment # 21; reading and preparing for Discussion Question # 21.
- Class 9: Assignment # 21 done in class. Homework: Assignment #22; reading and preparing for Discussion Question # 22.
- Class 10: Assignment # 22 done in class. Homework: Assignment # 23; reading and preparing for Discussion Question # 23.
- Class 11: Assignment # 23 done in class. Homework: Assignment # 24; reading and preparing for Discussion Question # 24.
- Class 12: Assignment # 24 done in class. Homework: Assignment # 25; reading and preparing for Discussion Question # 25.
- Class 13: Assignment # 25 done in class. Homework: Assignment # 26; reading and preparing for Discussion Question # 26.
- Class 14: Assignment # 26 done in class. Wrap-up.
- *授業内容は必要に応じて変更することがあります。

履修上の注意

Entrance to the course is based on successful completion of English Communication IIA or TOEIC scores and a class entrance exam. Participants are expected to have the equivalent of a score of 500 on the TOEIC test.

Students should be ready to read a non-fiction book in English that deals with serious subjects.

This course will be conducted entirely in English.

Bring a good English-Japanese/Japanese-English dictionary to class. (Either a paper dictionary or an electronic dictionary is acceptable.)

準備学習（予習・復習等）の内容

Every student will be expected to do the weekly homework, which will include both reading and writing assignments. In addition, each student must take an active part in the weekly discussion sessions.

教科書

『Tuesdays with Morrie』ペーパーバック版 Mitch Albom 著 (Broadway出版 ISBN: 978-0-7679-0592-3)

参考書

English-Japanese and Japanese-English dictionaries

Other materials will be either suggested or distributed by the teacher.

課題に対するフィードバックの方法

The instructor will critique students' assignments in-class.

成績評価の方法

Students will be graded based upon their active participation in the class's activities.

その他

科目ナンバー：(LP) LAN215E

■ 春学期 ■ 1単位

事前

WEB登録

English Communication II A

担当者

オカート, デイビッド

授業の概要・到達目標

Course Objectives: By the end of this course, you will be able to do the following: 1) Be able to read short English language newspaper and magazine articles about starting and running a business, understand the contents, and explain what the article is about; 2) Listen to English language news broadcasts and podcasts about starting and running a business, understand the meaning, and explain what the commentator has talked about; 3) Confidently explain in English the main idea what you have been able to comprehend in (1) and (2).

授業内容

第1回：Orientation / Course objectives / begin Unit 1 Talking about work

第2回：Unit 2 Introducing people / Business English activity

第3回：Unit 3 Explaining office layout / Business English activity

第4回：Unit 4 Giving instructions, numbers / Business English activity

第5回：Unit 5 Making an invitation / Business English activity

第6回：Unit 6 Travel plans / Business English activity

第7回：Unit 7 Offering to help, apologizing / Business English activity

Review Units 1-7 & Bus. English for the Mid-term Exam

第8回：Short Exam & Business English activity

第9回：Unit 8 Sales and large numbers / Business English activity

第10回：Unit 9 Taking phone messages / Business English activity

第11回：Unit 10 Talking about future plans / Business English activity

第12回：Unit 11 Talking about yourself / Business English activity

第13回：Unit 12 Talking about your experiences / Business English activity

第14回：Review Units 1-12 & Business English for the Final Exam

Final Exam (written and oral Q & A)

履修上の注意

none

準備学習（予習・復習等）の内容

Please read the unit in advance and complete any homework assignment. Naturally, you are encouraged to study diligently for the mid-term and final exams.

教科書

English for Business Communication, vol. 1, D. Ockert, DMK Publishers

参考書

Please read an English language newspaper such as The Japan Times or The Yomiuri Shimbun or visit their website.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Course Grading System: During class, points will be added for 1) asking questions in English, 2) class participation during pair-work and group activities. Points will be deducted for 1) speaking in Japanese; 2) *looking at* your cell phone; 3) being late. Finally, you need to get at least half of the answers correct in the mid-term (10%) and final written and oral exam (15%).

その他

More than three (3) absences will make it very difficult to pass this course. Be diligent in attendance. Five (5) times being late will count as one (1) absence.

3つ以上の欠席は、このコースを通過することを非常に困難にしてください。出席してください。5回の遅刻は1回の欠席とみなされます。

Cell phones are to be turned off before the chime indicating the start of class. Please put your phone on the designated table. A student who uses a cell phone during class just once will not receive credit for attending the class. The same for hand held games. In other words, an absence.

A student who refuses to place their cell phone on the designated table will not receive credit for attendance. Such a student will be asked to leave the classroom. A student who refuses to leave the classroom after being asked to leave by the teacher will receive a failing grade for the course.

Your participation is mandatory. Attending class without participation is the same as non-attendance and will receive the same grade. In other words, an absence.

These rules are not negotiable.

* If you have free time in class after completing an activity, you may read an English language book of your choice until your classmates have also finished the activity.

クラスの開始を示すチャイムの前に携帯電話を切る。あなたの電話を指定されたテーブルに置いてください。授業中に携帯電話を一度使用した学生は、授業に参加するための功績は得られません。ハンドヘルドゲームでも同じです。つまり、欠席です。

指定されたテーブルに携帯電話を置くことを拒否する学生は、出席のためのクレジットを受け取れません。そのような学生は教室を離れるように求められます。教師が退室することを指示しても、教室を離れることを拒否する学生は、コースに不合格した成績となります。

授業中のあなたの参加は必須です。参加することなく授業に出席することは、非出席と同じです。参加せずに授業に出席する場合は、出席しない場合と同じで、同じ評価を受け取ります。つまり、欠席です。

これらのルールは交渉可能ではありません。

* アクティビティを完了した後、授業中に自由な時間がある場合は、クラスメイトがアクティビティを終了するまで、あなたは選択した英語の本を読むことができます。

科目ナンバー：(LP) LAN215E

■ 秋学期 ■ 1単位

事前

WEB登録

English Communication II B

担当者

オカート, デイビッド

授業の概要・到達目標

Course Objectives: By the end of this course, you will be able to do the following: 1) Express yourself verbally in English in detail regarding your career goals; 2) Confidently explain large numbers in English for telephone numbers, addresses, and money; 3) Express yourself in written English in detail regarding your job, including basic workplace vocabulary; 4) Confidently communicate with a native speaker of English in the workplace, at a conference, and in public places such as restaurants, train stations, airports, a supermarket, etc. Presentation skill will be included in this course.

授業内容

第1回：Orientation; Unit 1 Making comparisons / Business English activity

第2回：Unit 2 Asking for advice / Business English activity

第3回：Unit 3 Talking about preferences / Business English activity

第4回：Business English activity / presentation skills: Basic presentation pattern / outline / delivery (eye-contact)

第5回：Business English activity / presentation skills: Introductions / topic sentences / delivery (voice / loudness)

第6回：Business English activity / presentation skills: Body topics / citations / delivery

第7回：Business English activity / presentation skills: Transitions / conclusions / Q & A; Review Units 14-15 for the Mid-term Exam

第8回：Short Exam & Business English activity

第9回：Business English activities / individual presentations (approx 5-6 students)

第10回：Business English activities / individual presentations

第11回：Business English activities / individual presentations

第12回：Business English activities / individual presentations

第13回：Business English activities / individual presentations; Review for Final Exam

第14回：Final Exam (written and oral Q & A)

履修上の注意

English Communication II A

準備学習（予習・復習等）の内容

Please read the unit in advance and complete any homework assignment. Naturally, you are encouraged to study diligently for the mid-term and final exams.

教科書

English for Business Communication, vol. 2, D. Ockert, DMK Publishers

参考書

Please read an English language newspaper such as The Japan Times or The Yomiuri Shimbun or visit their website.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Course Grading System: During class, points will be added for 1) asking questions in English, 2) class participation during pair-work and group activities. Points will be deducted for 1) speaking in Japanese; 2) *looking at* your cell phone; 3) being late. Finally, you need to get at least half of the answers correct in the mid-term (10%) and final written and oral exam (15%).

その他

More than three (3) absences will make it very difficult to pass this course. Be diligent in attendance. Five (5) times being late will count as one (1) absence.

3つ以上の欠席は、このコースを通過することを非常に困難にしてください。出席してください。5回の遅刻は1回の欠席とみなされます。

Cell phones are to be turned off before the chime indicating the start of class. Please put your phone on the designated table. A student who uses a cell phone during class just once will not receive credit for attending the class. The same for hand held games. In other words, an absence.

A student who refuses to place their cell phone on the designated table will not receive credit for attendance. Such a student will be asked to leave the classroom. A student who refuses to leave the classroom after being asked to leave by the teacher will receive a failing grade for the course.

Your participation is mandatory. Attending class without participation is the same as non-attendance and will receive the same grade. In other words, an absence.

These rules are not negotiable.

* If you have free time in class after completing an activity, you may read an English language book of your choice until your classmates have also finished the activity.

クラスの開始を示すチャイムの前に携帯電話を切る。あなたの電話を指定されたテーブルに置いてください。授業中に携帯電話を一度使用した学生は、授業に参加するための功績は得られません。ハンドヘルドゲームでも同じです。つまり、欠席です。

指定されたテーブルに携帯電話を置くことを拒否する学生は、出席のためのクレジットを受け取れません。そのような学生は教室を離れるように求められます。教師が退室することを指示しても、教室を離れることを拒否する学生は、コースに不合格した成績となります。

授業中のあなたの参加は必須です。参加することなく授業に出席することは、非出席と同じです。参加せずに授業に出席する場合は、出席しない場合と同じで、同じ評価を受け取ります。つまり、欠席です。

これらのルールは交渉可能ではありません。

* アクティビティを完了した後、授業中に自由な時間がある場合は、クラスメイトがアクティビティを終了するまで、あなたは選択した英語の本を読むことができます。

科目ナンバー：(LP)LAN215E

■ 春学期 ■ 1単位

事前



English Communication II A

担当者

ハドランド, エリック

授業の概要・到達目標

Course IIA reviews prerequisite syntax then targets advanced TOEIC vocabulary and some literature. Depending on student aptitude and preferences, IIA then targets speaking, basic education, literature, or speech presentations.

授業内容

The spring semester includes applied literature reports based on life experiences, with short syntax and writing exercises.

- 01 10-04 systems/goals, communication survey
- 02 01-03 syntax test
- 03 01-04 syntax test
- 04 chapters 02/06 international relations
- 05 chapters 02/06 international relations
- 06 chapter 03 presentation projects
- 07 chapter 03 presentation projects
- 08 chapter 08 literature/case studies
- 09 chapter 08 literature/case studies
- 10 chapter 08 literature/case studies
- 11 chapter 08 literature/case studies
- 12 chapter 08 literature/case studies
- 13 chapter 08 literature/case studies
- 14 chapter 03 final presentations

履修上の注意

There are no particular prerequisites, but students should have a solid foundation for basic English.

準備学習（予習・復習等）の内容

Students need a textbook, stationary supplies, various phone apps, and a dictionary.

教科書

lucid discourse by E.M. Hadland (2021) found in the campus bookstore.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Homework may include a point-based grading system, but often not. Group and class participation is weighted more heavily for homework without a point system.

その他

科目ナンバー：(LP)LAN215E

■ 秋学期 ■ 1単位

事前



English Communication II B

担当者

ハドランド, エリック

授業の概要・到達目標

Course IIB reviews IIA prerequisite syntax then targets advanced TOEIC vocabulary and literature. Depending on student aptitude, preferences, and previous experience, IIB then targets speaking, basic education, literature, or research and speech presentations.

授業内容

Course IIB reviews IIA prerequisite syntax then targets advanced TOEIC vocabulary and literature. Depending on student aptitude, preferences, and previous experience, IIB then targets speaking, basic education, literature, or research and speech presentations. The fall semester contents of chapters one, two, and three differ from the spring contents.

- 01 10-04 systems/goals, communication survey, review of prerequisites
- 02 01-01 syntax test
- 03 chapters 02/06 international relations
- 04 chapter 03 presentation projects
- 05 chapter 10-03 presentation games
- 06 chapter 04 writing test
- 07 chapter 05 writing test
- 08 chapter 07 literature/case studies
- 09 chapter 07 literature/case studies
- 10 chapter 07 literature/case studies
- 11 chapter 09 literature/case studies
- 12 chapter 09 literature/case studies
- 13 chapter 09 literature/case studies
- 14 chapter 03 final presentations

履修上の注意

There are no additional prerequisites for the fall semester.

準備学習（予習・復習等）の内容

Students should have a textbook, stationary supplies, various phone apps, and a dictionary.

教科書

The textbook is lucid discourse by E.M. Hadland, available in the campus bookstore.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Grading and evaluation are based on individual point averages of weekly homework assignments, and performance in group activities.

その他

科目ナンバー：(LP)LAN315E	
■ 春学期	■ 1単位
English Communication Ⅲ A	
担当者	ガードナー, ステファン

授業の概要・到達目標

This course is conducted in English. The goal of this course is to offer students the tools and skills to improve their basic communication skills in English along with their basic "people skills" so that they might become better communicators in both personal and professional encounters. Students need a good working knowledge and ability to join this class. The goal of this course is to offer students the tools and skills to improve their basic communication in English along with improving their basic "people skills" in both a private and professional atmosphere.

To accomplish this goal, students will have the opportunity to improve their skills by speaking and working in English, listening, reading and writing in English as well as through the use of video and audio materials and study materials provided by the instructor—to be used in class or as homework. This course is conducted face to face classes: including discussions, presentations and group work with access to class assignments and homework posted on the internet for student listening and reading—accessed from the Oh Meiji website for this class.

If you have any questions or comments please do not hesitate to contact me by email: Steve Gardner— bluzzz2u@yahoo.com
IN YOUR EMAIL—PLEASE WRITE YOUR NAME, MEIJI STUDENT ID # and this class-TUE 5 SKILLS— otherwise your mail will likely be directed to the SPAM file.
あなたの名前、MEIJI学生ID番号とこのクラスを書いてください。火5スキル そうしないと、メールがSPAMファイルに送信され、クレジットを受け取れない可能性があります。

***Please note-In these unusual times it is important that students and instructors both feel comfortable with their leaning environment. Therefore depending on conditions some adjustments for attendance may be discussed— with the PRIOR AGREEMENT from the instructor of the class, Mr Steve Gardner. Students MUST contact the instructor first. We will try our best to to work together to offer the best and safest class that we can.**

授業内容

We will use videos and other images to reinforce our goals. YOU too will be expected to participate in the sharing of visual images as you report or present projects or assignments. Remember that it is said, "Luck is what happens when preparation meets opportunity."

Spring
(1) Course and class introduction. General first day work, registration, introduction
(2) Listening exercise, question worksheet, three word self description
(3) Description exercise with 2 short, videos and worksheets
(4) Thinking in English Exercise with worksheets, presentation, short video and still photographs
(5) Classes 1-4 review
*6th week- (Question and Answer review short test.)
(6) Conflict in English, problem solving, relationships-professional and personal w/ worksheet
(7) Food and Culture, how much is enough, class challenge, your comments, worksheets and vocabulary. Presentation of one week project on your personal consumption.
(8) Improve YOUR presentation skills class with, guide on detailed story w/ review guide
(9) Watch Shark Attack video with story and story board, final preparations story for presentation.
00) Class review of vocabulary w/video and worksheet
*12th week- (Question and Answer Session for final classes and final test.)
01) Class performance reviews
02) Test yourself.
***This is a COMMUNICATION class. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzz2u@yahoo.com**

履修上の注意

The class is conducted in English. To join this class students need to have basic English communication skills for listening, reading and speaking n order to gain the most, improve your skills and enjoy this course. It is important that students joining this class have the English skill level of the majority of class members-both listening and speaking in order to gain the maximum benefit offered by this class. Be prepared to work with your classmates, read aloud, make short comments and presentations in class.

準備学習（予習・復習等）の内容

The course is divided into Spring and Fall semesters consisting of 12 class assignments plus two review assignments for a total of 14 classes in each semester according to Meiji University regulations. These assignments include useful tips on introductions, presentations, general tips on improving your listening and speaking skills, career choices and values in the work place, topics for success, understanding caused and effect, vocabulary building, descriptions, understanding fact vs. opinion, vocabulary challenges, along with some over all course review with a class assignment devoted to helpful hints to improve Toeofl reading and listening. All very important skills for success-in any language. Be prepared to work with your classmates, read aloud, make short comments and presentations in class.

教科書

Study Materials provided by the instructor in class. Study Materials and video links will be provided by the instructor.

参考書

Study Materials and video links will be provided by the instructor. All links will be available on the Oh Meiji website for this class. Students will need a good English Dictionary. Please always bring something to write with to class.

課題に対するフィードバックの方法

*This is a COMMUNICATION class. Face to Face discussion in or after class, your teacher is always happy to hear from you. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE BY EMAIL. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzz2u@yahoo.com
IN YOUR EMAIL—PLEASE WRITE YOUR NAME, MEIJI STUDENT ID # and this class-TUE 5 SKILLS— otherwise your mail will likely be directed to the SPAM file.
あなたの名前、MEIJI学生ID番号とこのクラスを書いてください。火5スキル そうしないと、メールがSPAMファイルに送信され、クレジットを受け取れない可能性があります。

***Please note-In these unusual times it is important that students and instructors both feel comfortable with their leaning environment. Therefore depending on conditions some adjustments for attendance may be discussed— with the PRIOR AGREEMENT from the instructor of the class, Mr Steve Gardner, something might be worked out. Students MUST contact the instructor first. We will try our best to to work together to offer the best and safest class that we can.**

成績評価の方法

This course is conducted in English.
This is A SPEAKING Class. Students are graded on their participation, enthusiasm and improvement of their skills in English. Attendance 60%. Class work and other 40%
To pass this class you must attend and complete a minimum of 60% to receive a grade of C. If you complete 10 classes along with class assignments WELL with FEW mistakes you will earn an "S". If you complete 9 of the assignments "A". If you complete 8 of the assignments "B". If you complete 7 of the assignments "C". Fewer than 7 assignments and attendance is "F".
このクラスの採点: このクラスに合格するには、出席し、最低 60% を修了して C の成績を取得する必要があります。10 のクラスを修了し、クラスの課題をいくつかの間違いで十分に完了すると、[S] を獲得できます。課題 [A] を9つ完了した場合。 8つの課題 [B] を完了した場合。 7つの課題 [C] を完了した場合。課題が7つ未満で、出席は [F] です。
* (This means that students are responsible for their grade and must do the work as well as strive to communicate with the instructor and other members of the class.)

その他

This course is conducted in English.
*This is a COMMUNICATION class. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzz2u@yahoo.com
Remember that it is said, "Luck is what happens when preparation meets opportunity."
Albert Einstein, reminds us that, "Education is not the learning of facts but rather the training of the mind to think." Use this class to improve your English, your communication skills as you use your time at Meiji University to improve your thinking!

科目ナンバー：(LP)LAN315E	
■ 秋学期	■ 1単位
English Communication Ⅲ B	
担当者	ガードナー, ステファン

授業の概要・到達目標

This course is conducted in English. The goal of this course is to offer students the tools and skills to improve their basic communication skills in English along with their basic "people skills" so that they might become better communicators in both personal and professional encounters. Students need a good working knowledge and ability to join this class. The goal of this course is to offer students the tools and skills to improve their basic communication in English along with improving their basic "people skills" in both a private and professional atmosphere.

To accomplish this goal, students will have the opportunity to improve their skills by speaking and working in English, listening, reading and writing in English as well as through the use of video and audio materials and study materials provided by the instructor—to be used in class or as homework.

This course is conducted face to face classes: including discussions, presentations and group work with access to class assignments and homework posted on the internet for student listening and reading—accessed from the Oh Meiji website for this class.

If you have any questions or comments please do not hesitate to contact me by email: Steve Gardner— bluzzz2u@yahoo.com
IN YOUR EMAIL—PLEASE WRITE YOUR NAME, MEIJI STUDENT ID # and this class-TUE 5 SKILLS— otherwise your mail will likely be directed to the SPAM file.
あなたの名前、MEIJI学生ID番号とこのクラスを書いてください。火5スキル そうしないと、メールがSPAMファイルに送信され、クレジットを受け取れない可能性があります。

***Please note-In these unusual times it is important that students and instructors both feel comfortable with their leaning environment. Therefore depending on conditions some adjustments for attendance may be discussed— with the PRIOR AGREEMENT from the instructor of the class, Mr Steve Gardner. Students MUST contact the instructor first. We will try our best to to work together to offer the best and safest class that we can.**

授業内容

We will use videos and other images to reinforce our goals. YOU too will be expected to participate in the sharing of visual images as you report or present projects or assignments. Remember that it is said, "Luck is what happens when preparation meets opportunity."

Fall
1B Review of Study tips
2B Habits of Successful People TOPICS
3B 03 Values in the Workplace Shen's Boss (Critical reading and Listening)
4B Career Choices (Values 18)
5B WHO PAYS? (Values 18)
*Course review short test.
6B SEVEN BILLION WHO IS MOST TYPICAL
7B Shark Attack story by Richard E. Grant
8B Story Board, Stick Figures and Presentation
9B Cause and Effect 2B (review and up-date)
10B How to Improve YOUR English Listening Skills
*Course review and make-up assignments as we prepare for final test.
11B LISTENING PRACTICE-Three TOFEL STYLE Listening Exercises with Questions and Answers
12B READING PRACTICE QUIZ FOR TOFEL 10 QUESTIONS AND ANSWERS

履修上の注意

The class is conducted in English. To join this class students need to have basic English communication skills for listening, reading and speaking n order to gain the most, improve your skills and enjoy this course. It is important that students joining this class have the English skill level of the majority of class members-both listening and speaking in order to gain the maximum benefit offered by this class. Be prepared to work with your classmates, read aloud, make short comments and presentations in class.

準備学習（予習・復習等）の内容

The course is divided into Spring and Fall semesters consisting of 12 class assignments plus two review assignments for a total of 14 classes in each semester according to Meiji University regulations. These assignments include useful tips on introductions, presentations, general tips on improving your listening and speaking skills, career choices and values in the work place, topics for success, understanding caused and effect, vocabulary building, descriptions, understanding fact vs. opinion, vocabulary challenges, along with some over all course review with a class assignment devoted to helpful hints to improve Toeofl reading and listening. All very important skills for success-in any language. Be prepared to work with your classmates, read aloud, make short comments and presentations in class.

教科書

Study Materials provided by the instructor in class. Study Materials and video links will be provided by the instructor.

参考書

Study Materials and video links will be provided by the instructor. All links will be available on the Oh Meiji website for this class. Students will need a good English Dictionary. Please always bring something to write with to class.

課題に対するフィードバックの方法

*This is a COMMUNICATION class. Face to Face discussion in or after class, your teacher is always happy to hear from you. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE BY EMAIL. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzz2u@yahoo.com
IN YOUR EMAIL—PLEASE WRITE YOUR NAME, MEIJI STUDENT ID # and this class-TUE 5 SKILLS— otherwise your mail will likely be directed to the SPAM file.
あなたの名前、MEIJI学生ID番号とこのクラスを書いてください。火5スキル そうしないと、メールがSPAMファイルに送信され、クレジットを受け取れない可能性があります。

***Please note-In these unusual times it is important that students and instructors both feel comfortable with their leaning environment. Therefore depending on conditions some adjustments for attendance may be discussed— with the PRIOR AGREEMENT from the instructor of the class, Mr Steve Gardner, something might be worked out. Students MUST contact the instructor first. We will try our best to to work together to offer the best and safest class that we can.**

成績評価の方法

This course is conducted in English.
This is A SPEAKING Class. Students are graded on their participation, enthusiasm and improvement of their skills in English. Attendance 60%. Class work and other 40%
To pass this class you must attend and complete a minimum of 60% to receive a grade of C. If you complete 10 classes along with class assignments WELL with FEW mistakes you will earn an "S". If you complete 9 of the assignments "A". If you complete 8 of the assignments "B". If you complete 7 of the assignments "C". Fewer than 7 assignments and attendance is "F".
このクラスの採点: このクラスに合格するには、出席し、最低 60% を修了して C の成績を取得する必要があります。10 のクラスを修了し、クラスの課題をいくつかの間違いで十分に完了すると、[S] を獲得できます。課題 [A] を9つ完了した場合。 8つの課題 [B] を完了した場合。 7つの課題 [C] を完了した場合。課題が7つ未満で、出席は [F] です。
* (This means that students are responsible for their grade and must do the work as well as strive to communicate with the instructor and other members of the class.)

その他

This course is conducted in English.
*This is a COMMUNICATION class. IF STUDENTS HAVE ANY SORT OF DIFFICULTIES, PROBLEMS OR QUESTIONS-PLEASE CONTACT YOUR INSTRUCTOR AS SOON AS POSSIBLE. CONTACT STEVE GARDNER: bluzzz2u@yahoo.com
Remember that it is said, "Luck is what happens when preparation meets opportunity."
Albert Einstein, reminds us that, "Education is not the learning of facts but rather the training of the mind to think." Use this class to improve your English, your communication skills as you use your time at Meiji University to improve your thinking!

科目ナンバー：(LP)LAN315E

■ 春学期 ■ 1単位

English Communication Ⅲ A

担当者

ストラック, アンドリュウ

授業の概要・到達目標

The focus of this course is on developing advanced discussion skills in English. After doing short readings on various themes, and learning relevant vocabulary, students will practice various strategies and important phrases for effective participation in discussions.

The themes will be related to global and social issues and other topics important in today's world. After gaining some basic information through readings assigned for homework, students will be asked to share their own perspectives and opinions, at first in structured tasks designed to practice specific discussion skills and strategies, and then to practice these skills on further questions in a free discussion task.

授業内容

Students are expected to complete readings and comprehension questions in preparation for classes each week. In class, students will discuss the respective topics based on knowledge gained through the readings, personal experience and additional independent research.

第1回：Introduction to the course / selection interviews
第2回：Education - Foreign Languages (Unit 1)
第3回：Education - STEM versus the Humanities (Unit 2)
第4回：Education - University Life (Unit 3)
第5回：Review: units 1-3 / Vocabulary & Speaking
第6回：Speaking test 1: units 1-3 / Vocabulary test: units 1-3
第7回：Technology - Online Communication (Unit 4)
第8回：Technology - Dependence on Technology (Unit 5)
第9回：Technology - Technology & Global Challenges (Unit 6)
第10回：Speaking test 2: units 4-6 / Vocabulary test: units 4-6
第11回：Environment - Consumerism (Unit 7)
第12回：Environment - Endangered Species (Unit 8)
第13回：Environment - Energy (Unit 9)
第14回：Speaking test 3: units 7-9 / Vocabulary test: units 7-9

*Note: This schedule is subject to change slightly

履修上の注意

Students enrolling in this course should have a minimum of 600 points on the TOEIC test and attend the first class in the first semester to pass a preliminary level check administered by the instructor

準備学習（予習・復習等）の内容

Students should prepare for the course by reviewing vocabulary necessary to achieve a score of over 600 points on the TOEIC test. In addition, students will benefit by keeping up with current news events through reading English newspapers or English news websites.

For each class, students are advised to prepare by reviewing the content of the previous lesson and completing all preparatory assignments for the upcoming unit in the textbook.

教科書

Academically Speaking (2016) Mauro LoDico, Steven Shea, Nicolai Struc, James Underwood & Richard Walker: Perceptia Press

参考書

課題に対するフィードバックの方法

For each speaking test, students will receive a summary of their performance in the discussion which details the quantity and quality of their participation and language use. This can be used for setting goals for subsequent speaking tests and in-class discussion practice.

For each vocabulary test, students will receive individual feedback when the test papers are returned. Online feedback will be provided in the case of online course delivery.

Students will also receive ongoing feedback and support during in-class discussion assignments.

成績評価の方法

Attendance & Participation: 20%
Assignments: 20%
Speaking tests: 30%
Vocabulary tests: 30%

その他

科目ナンバー：(LP)LAN315E

■ 秋学期 ■ 1単位

English Communication Ⅲ B

担当者

ストラック, アンドリュウ

授業の概要・到達目標

The focus of this course is on developing advanced discussion skills in English. After doing short readings on various themes, and learning relevant vocabulary, students will practice various strategies and important expressions and phrases for effective participation in discussions.

The themes will be related to global and social issues and other topics important in today's world. After gaining some basic information through readings assigned for homework, students will be asked to share their own perspectives and opinions, at first in structured tasks designed to practice specific discussion skills and strategies, and then to practice these skills on further questions in a free discussion task.

授業内容

Students are expected to complete readings and comprehension questions in preparation for classes each week. In class, students will discuss the respective topics based on knowledge gained through the readings, personal experience and additional independent research.

第1回：Introduction to the course / semester overview
第2回：Media - The News (Unit 10)
第3回：Media - Advertising (Unit 11)
第4回：Media - Freedom of Expression (Unit 12)
第5回：Speaking test 1: units 10-12/ Vocabulary test: units 10-12
第6回：Society - Population Aging (Unit 13)
第7回：Society - Immigration (Unit 14)
第8回：Society - Gender (in) equality (Unit 15)
第9回：Speaking test 2: units 13-15/ Vocabulary test: units 13-15
第10回：Employment - Work & Priorities (Unit 16)
第11回：Employment - Exploitation in the Workplace (Unit 17)
第12回：Employment - Automation (Unit 18)
第13回：Speaking test 3: units 16-18/ Vocabulary test: units 16-18
第14回：semester review

*Note: This schedule is subject to change slightly

履修上の注意

Students enrolling in this course should have a minimum of 600 points on the TOEIC test and attend the first class in the first semester to pass a preliminary level check administered by the instructor

準備学習（予習・復習等）の内容

Students should prepare for the course by reviewing vocabulary necessary to achieve a score of over 600 points on the TOEIC test. In addition, students will benefit by keeping up with current news events through reading English newspapers or English news websites.

For each class, students are advised to prepare by reviewing the content of the previous lesson and completing all preparatory assignments for the upcoming unit in the textbook.

教科書

Academically Speaking (2016) Mauro LoDico, Steven Shea, Nicolai Struc, James Underwood & Richard Walker: Perceptia Press

参考書

課題に対するフィードバックの方法

For each speaking test, students will receive a summary of their performance in the discussion which details the quantity and quality of their participation and language use. This can be used for setting goals for subsequent speaking tests and in-class discussion practice.

For each vocabulary test, students will receive individual feedback when the test papers are returned. Online feedback will be provided in the case of online course delivery.

Students will also receive ongoing feedback and support during in-class discussion assignments.

成績評価の方法

Attendance & Participation: 20%
Assignments: 20%
Speaking tests: 30%
Vocabulary tests: 30%

その他

科目ナンバー：(LP)LAN115E

■ 春学期 ■ 2単位



English Communication IC

担当者

レイツ, パトリック

授業の概要・到達目標

Generally speaking, students are expected to have the equivalent of a TOEIC score under 500. However, where there are more course applicants than places a web lottery will be held to select participants. The aim of the course is to acquire a basic level of English through repeated practical usage. Basic grammar will therefore be reviewed while also learning everyday English expressions. During class, students will explore issues in global society through short English readings and video clips, and do conversation and writing practice related to these themes. A buddy system will be used to build peer support and motivation.

The aim of English Communication IC is to be able to communicate in every day situations and to gain a basic understanding of concerns in global society through basic English vocabulary and to be able to express opinions in conversation and writing. Completing participants should also have some knowledg or international affairs.

授業内容

Week 1-1: Guidance, self-introductions, how to study effectively
Week 1-2: Individual and society 1: The ID card
Week 2-1: Individual and society 2: It's a small world
Week 2-2: Individual and society 3: Writing
Week 3-1: Food and drink 1: Tastes comforting
Week 3-2: Food and drink 2: People behind drinks
Week 4-1: Food and drink 3: Writing
Week 4-2: Art and music 1: Picture of Dorian Gray
Week 5-1: Art and music 2: High fidelity
Week 5-2: Art and music 3: Writing
Week 6-1: Hopes and fears 1: Pandora's box
Week 6-2: Hopes and fears 2: Famous Dystopias
Week 7-1: Hopes and fears 3: Writing
Week 7-2: Middle test and conclusion
Week 8-1: Work and leisure 1: A call centre worker
Week 8-2: Work and leisure 2: Amusement parks
Week 9-1: Work and leisure 3: Writing
Week 9-2: Science and technology 1: Fitter happier
Week 10-1: Science and technology 2: The Luddites
Week 10-2: Time and money 1: History of time zones
Week 11-1: Time and money 2: A different kind of drink
Week 11-2: Inside and outside 1: Dracula
Week 12-1: Inside and outside 2: Travel Guidebooks
Week 12-2: Health and exercise 1: Milestones in medicine
Week 13-1: Health and exercise 2: Olympic losers
Week 13-2: Past and present 1: Brave new words
Week 14-1: Past and present 2: Old but

履修上の注意

Generally speaking, students are expected to have the equivalent of a TOEIC score under 500. However, where there are more course applicants than places a web lottery will be held to select participants.

準備学習（予習・復習等）の内容

Review the points covered in class in the handout and ask questions in class about topics that are unclear. Study the handout and reading materials in preparation for next class.

教科書

Clandfield, Lindsay 2010 Global: Pre-intermediate coursebook. Macmillan.

参考書

English-Japanese and Japanese-English dictionaries
Other materials will be either suggested or distributed by the teacher.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

30% presentation and classwork
30% review quizzes and homework
40% final report/test

その他

科目ナンバー：(LP)LAN215E

■ 秋学期 ■ 2単位



English Communication IIC

担当者

レイツ, パトリック

授業の概要・到達目標

Entrance to the course is based on successful completion of English Communication IA & B or C or TOEIC scores and a class entrance exam. Participants are expected to have the equivalent of a score of 500 on the TOEIC test. The aim of the course is to build on and increase the English vocabulary and expressions covered in English Communication I and further develop oral communication, listening and reading skills as well as acquiring cultural knowledge. The course will also cover paragraph writing. Course materials and classroom language will all be in English.

The aim of English Communication IIC is to be able to communicate in everyday life in English, understand global social concerns in English and express your opinion in conversation and in written papers in English. Students completing the course should also have a broad knowledge of international affairs.

授業内容

Week 1-1: Guidance, self-introductions, how to study effectively
Week 1-2: Language and culture 1, The Hobbit
Week 2-1: Language and culture 2, What is culture?
Week 2-2: Language and culture 3, Culture quiz
Week 3-1: Lives and legends 1, White teeth
Week 3-2: Lives and legends 2, Grimm's fairy tales
Week 4-1: Lives and legends 3, Children's stories
Week 4-2: Energy and the environment 1, Unlimited energy
Week 5-1: Energy and the environment 2, Weather changes
Week 5-2: Energy and the environment 3, Travel and plans
Week 6-1: Friends and strangers 1, Constructive relationships
Week 6-2: Friends and strangers 2, Defenders of the country
Week 7-1: Friends and strangers 3, The average English gent
Week 7-2: Middle test and conclusion
Week 8-1: Guidance, how to study effectively
Week 9-1: Law and order 1, Asimov and robot law
Week 9-2: Law and order 2, "I'm a teacher, help!"
Week 10-1: Sight and sound 1, Optical illusions
Week 10-2: Sight and sound 2, Overheard in New York
Week 11-1: Supply and demand 1, Trash or treasure?
Week 11-2: Supply and demand 2, Three men on a desert island
Week 12-1: Lost and found 1, The tale of Pi
Week 12-2: Lost and found 2, An accidental discovery
Week 13-1: Love and hate 1, The history of tractors in the Ukraine
Week 13-2: Love and hate 2, Athletic rivalry
Week 13-1: Beginnings and endings 1, Birthday traditions
Week 13-2: Beginnings and endings 2, Henry VIII's wives
Week 14: Final test and conclusion

履修上の注意

Entrance to the course is based on successful completion of English Communication IA&B&C or TOEIC scores and a class entrance exam. Participants are expected to have the equivalent of a score of 500 on the TOEIC test.

準備学習（予習・復習等）の内容

Review the points covered in class in the handout and ask questions in class about topics that are unclear. Study the handout and reading materials in preparation for next class.

教科書

Clandfield, Lindsay 2010 Global: Intermediate coursebook. Macmillan.

参考書

English-Japanese and Japanese-English dictionaries Other materials will be either suggested or distributed by the teacher.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

30% presentation and classwork
30% review quizzes and homework
40% final report/test

その他

科目ナンバー：(LP)LAN315E ■ 春学期 ■ 1単位		科目ナンバー：(LP)LAN315E ■ 秋学期 ■ 1単位	
Intercultural Communication (English) I A 担当者 中津川 みゆき		Intercultural Communication (English) I B 担当者 中津川 みゆき	
授業の概要・到達目標 ・第一回目の授業の出席が必須です。 入室試験（インタビューテスト）によりクラスに入ります。 ・原則として、TOEIC600点程度を求めます。 Entry to the class will be based on TOEIC scores and a class entrance exam. Generally speaking, participants should have a TOEIC score of above 600. The aim of this course is to develop a practical skill in intercultural communication rather than understanding the theory. The goal is to develop English that can be used in a global environment as an international <i>lingua franca</i> . For this reason, a knowledge of communication and intercultural understanding are important over and above grammar, vocabulary and the four skills (listening, speaking, reading writing) . Hence, classes will include readings or short videos about global issues and intercultural communication, and in class discussions, student presentations and writing tasks on these topics. The aim of this course is to develop English ability that allows communication across cultures. Participants should also have a basic understanding of intercultural communication that can be applied in everyday life. For this reason, the following points are desirable targets. 1 Can participate in an English class taught in English 2 Can participate in a classroom discussion in English 3 Can give a ten minute presentation in English 4 Has acquired a basic ability in Intercultural Communication		授業の概要・到達目標 ・第一回目の授業の出席が必須です。 入室試験（インタビューテスト）によりクラスに入ります。 ・原則として、TOEIC600点程度を求めます。 Entry to the class will be based on TOEIC scores and a class entrance exam. Generally speaking, participants should have a TOEIC score of above 600. The aim of this course is to develop a practical skill in intercultural communication rather than understanding the theory. The goal is to develop English that can be used in a global environment as an international <i>lingua franca</i> . For this reason, a knowledge of communication and intercultural understanding are important over and above grammar, vocabulary and the four skills (listening, speaking, reading writing) . Hence, classes will include readings or short videos about global issues and intercultural communication, and in class discussions, student presentations and writing tasks on these topics. The aim of this course is to develop English ability that allows communication across cultures. Participants should also have a basic understanding of intercultural communication that can be applied in everyday life. For this reason, the following points are desirable targets. 1 Can participate actively in an English class taught in English 2 Can participate actively in a classroom discussion in English 3 Can give a ten minute presentation in English with confidence 4 Has acquired a basic ability in English communication	
授業内容 第1回：Guidance, self-introductions, how to study effectively 第2回：The Image of Life: The Visual Village 第3回：The Image of Life: My Journey in Photographs 第4回：Natural Attraction: Living Light 第5回：Natural Attraction: Feathers of Love 第6回：Food and Health: How Safe is Our Food? 第7回：Food and Health: the Battle for Biotech 第8回：Design and Engineering: Design by Nature: Biomimetic 第9回：Design and Engineering: Weaving the Future 第10回：Human Journey: The DNA Trail 第11回：Human Journey: Fantastic Voyage 第12回：Money and Trade: How Money Made us Modern 第13回：Money and Trade: The Rise of Virtual Money 第14回：Review and Final test		授業内容 第1回：Guidance, self-introductions, how to study effectively 第2回：Group Behavior: A Crowd in Harmony 第3回：Group Behavior: Our Online Behavior 第4回：Investigations: Who Killed the Emperor? 第5回：Investigations: In the Crime Lab 第6回：Rediscovering the Past: Virtually Immortal 第7回：Rediscovering the Past: Lure of the Lost City 第8回：Healthy Living: Living Longer 第9回：Healthy Living: In Search of Longevity 第10回：Green Solutions: Saving Water 第11回：Green Concerns: Technology as Trash 第12回：Earth and Beyond: Planet Hunters 第13回：Earth and Beyond: The Threat from Space 第14回：Review and final test	
履修上の注意 Entry to the class will be based on TOEIC scores and a class entrance exam. Generally speaking, participants should have a TOEIC score of above 600.		履修上の注意 Entry to the class will be based on TOEIC scores and a class entrance exam. Generally speaking, participants should have a TOEIC score of above 600.	
準備学習（予習・復習等）の内容 The instructor is a bilingual speaker of British English and Japanese and all lectures will be given in English. Class time will emphasize pair and small group work, and question and answer sessions. There will be a balance of listening, speaking, reading and writing exercises from the text focusing on intercultural understanding. A final presentation/discussion project will be required to complete the course. Methods used will focus on students building confidence using the four language skills while engaging with contemporary topics.		準備学習（予習・復習等）の内容 The instructor is a bilingual speaker of British English and Japanese and all lectures will be given in English. Class time will emphasize pair and small group work, and question and answer sessions. There will be a balance of listening, speaking, reading and writing exercises from the text focusing on intercultural understanding. A final presentation/discussion project will be required to complete the course. Methods used will focus on students building confidence using the four language skills while engaging with contemporary topics.	
教科書 Macintyre, P., & Bohlke, D. (2020). Reading Explorer 4, Fourth Edition. Boston, MA: Cengage. ISBN-13:978-0-357-11629-6		教科書 Macintyre, P., & Bohlke, D. (2020). Reading Explorer 4, Fourth Edition. Boston, MA: Cengage. ISBN-13:978-0-357-11629-6	
参考書 English-Japanese and Japanese-English dictionaries Other materials will be either suggested or distributed by the teacher.		参考書 English-Japanese and Japanese-English dictionaries Other materials will be either suggested or distributed by the teacher.	
課題に対するフィードバックの方法		課題に対するフィードバックの方法	
成績評価の方法 30% weekly readings on contemporary topics 30% discussions on the topics in the readings 40% final presentation		成績評価の方法 30% weekly readings on contemporary topics 30% discussions on the topics in the readings 40% final presentation	
その他 Regular attendance, participation, and the willingness to work with others is necessary to succeed with this course. Aim for perfect attendance and come to class prepared!		その他 Regular attendance, participation, and the willingness to work with others is necessary to succeed with this course. Aim for perfect attendance and come to class prepared!	

科目ナンバー：(LP)LAN315E

■ 春学期 ■ 1単位

Intercultural Communication (English) I A

担当者

フルトン, スチュワート

授業の概要・到達目標

The goal of this course is to develop students' speaking and listening skills and provide the vocabulary and language necessary to understand and speak in an academic context on current national and international topics and issues in monologue, in groups, and with the teacher. Topics will be set with fresh news and events from Japan and around the world covering broad areas such as: *lifestyle, health, education, technology, fashion, food, work/careers, sports, travel, language, and culture.*

授業内容

Week 1 — Introduction and course overview; schedule and syllabus; calibration
Week 2 — Topic 1; assignment guidelines; fluency practice
Week 3 — Topic 2; Assignment 1; fluency practice
Week 4 — Topic 3; Assignment 2; fluency practice
Week 5 — Topic 4; fluency practice
Week 6 — Summarizing (Written + oral summary)
Week 7 — In-class summary speech; submit written summary
Week 8 — Topic 5; Assignment 3; fluency practice
Week 9 — Topic 6; Assignment 4; fluency practice
Week 10 — Topic 7; fluency practice
Week 11 — Topic 8; fluency practice
Week 12 — Final Assignment discussion
Week 13 — Final Assignment (Speaking; listening; writing)
Week 14 — Review and feedback

履修上の注意

なし

準備学習（予習・復習等）の内容

Students are expected to read one article per week from BBC Learning English (<http://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/features/witn>) to familiarize themselves with language commonly used in news articles.

教科書

No required textbook - printouts will be provided.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

14% - Participation and effort
16% - Midterm test (oral and written summary)
32% - Homework (X4)
28% - Final Assignment
10% - Topic Review Quiz

その他

Students should bring paper and a dictionary to every class.

科目ナンバー：(LP)LAN315E

■ 秋学期 ■ 1単位

Intercultural Communication (English) I B

担当者

フルトン, スチュワート

授業の概要・到達目標

The goal of this course is to develop students' speaking and listening skills and provide the vocabulary and language necessary to understand and speak in an academic context on current national and international topics and issues in monologue, in groups, and with the teacher. Topics will be set with fresh news and events from Japan and around the world covering broad areas such as: *lifestyle, health, education, technology, fashion, food, work/careers, sports, travel, language, and culture.*

授業内容

Week 1 — Introduction and course overview; schedule and syllabus; calibration
Week 2 — Topic 1; fluency practice
Week 3 — Topic 2; Assignment 1; fluency practice
Week 4 — Topic 3; Assignment 2; fluency practice
Week 5 — Topic 4; fluency practice
Week 6 — Summarizing (Written + oral summary)
Week 7 — In-class summary speech; submit written summary
Week 8 — Topic 5; Assignment 3; fluency practice
Week 9 — Topic 6; Assignment 4; fluency practice
Week 10 — Topic 7; fluency practice
Week 11 — Topic 8; fluency practice
Week 12 — Speaking Test preparation and discussion
Week 13 — Speaking Test (in pairs)
Week 14 — Review and feedback; Reflection Assignment

履修上の注意

N/A

準備学習（予習・復習等）の内容

Students are expected to read one article per week from BBC Learning English (<http://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/features/witn>) to familiarize themselves with language commonly used in news articles.

教科書

No required textbook - printouts will be provided.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

14% - Participation and effort
16% - Midterm test (oral and written summary)
32% - Assignments (X4)
28% - Final Speaking Test
10% - Topic Review Quiz

その他

Students should bring paper and a dictionary to every class.

科目ナンバー：(LP)LAN315E

■ 春学期 ■ 1単位

Intercultural Communication (English)ⅡA

担当者

オカート, デイビッド

授業の概要・到達目標

This course uses interesting topics for developing listening skills based on conversations between Japanese tourists and native English speakers from other countries. Additionally, speaking in a conversational context will be emphasized. These skills will aid students who are interested in studying abroad, as well as EFL students in general.

授業内容

第1回：Orientation / Course objectives / begin Unit 1, Flight check-in
第2回：Unit 2 Duty-free shopping / English activity
第3回：Unit 3 Buying a train ticket / English activity
第4回：Unit 4 Ordering food / English activity
第5回：Unit 5 Check-in to a hostel / English activity
第6回：Unit 6 Exchanging money / English activity
第7回：Unit 7 A rental car / English activity
第8回：Short Exam & English activity
第9回：Unit 8 Minor medical problems / English activity
第10回：Unit 9 Buying souvenirs / English activity
第11回：Unit 10 Talking about your town / English activity
第12回：Unit 11 Locations and directions / English activity
第13回：Unit 12 Talking about future plans / English activity
第14回：Final Exam (written and oral Q & A)

履修上の注意

Students are expected to actively participate in class activities using English to the best of their ability.

準備学習（予習・復習等）の内容

The instructor will assign tasks and / or outside readings if needed.

教科書

English for Everyday Communication, vol. 1, D. Ockert, DMK Publishers

参考書

The students are encouraged to bring an electronic dictionary to each class.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Classroom participation, completion of assignments 60%. Final exam 20%. Presentation 20%.

その他

Students are expected to be in class at start time. Cell phones will be placed on a designated table. No chewing gum or eating in class. Drinks ok.

科目ナンバー：(LP)LAN315E

■ 秋学期 ■ 1単位

Intercultural Communication (English)ⅡB

担当者

オカート, デイビッド

授業の概要・到達目標

This course uses interesting topics for developing academic listening, reading, writing, and speaking. These four skills will aid students who are interested in studying abroad, as well as EFL students in general.

授業内容

第1回：Orientation; Unit 1 Talking about things / English activity
第2回：Unit 2 Talking about unfamiliar foods / English activity
第3回：Unit 3 Talking about tourist attractions / English activity
第4回：Unit 4 Reporting lost property / English activity
第5回：Unit 5 Asking for directions / English activity
第6回：Unit 6 Famous attractions / English activity
第7回：Units 7 Places to visit
第8回：Short Exam & English activity
第9回：Unit 8 & Business English activity
第10回：Unit 9 & English activity
第11回：Unit 10 & Business activity
第12回：Review Units 1 ~ 5
第13回：Review Units 6 ~ 10
第14回：Final Exam (written and oral Q & A)

履修上の注意

Students are expected to actively participate in class activities using English to the best of their ability.

準備学習（予習・復習等）の内容

The instructor will assign tasks and / or outside readings if needed.

教科書

English for Everyday Communication, vol. 2, D. Ockert, DMK Publishers

参考書

The students are encouraged to bring an electronic dictionary to each class.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Classroom participation, completion of assignments 60%. Final exam 20%. Presentation 20%.

その他

Students are expected to be in class at start time. Cell phones will be placed on a designated table. No chewing gum or eating in class. Drinks ok.

科目ナンバー：(LP)LAN315E

■ 春学期 ■ 1単位

Intercultural Communication (English)ⅡA

担当者

フルトン, スチュワート

授業の概要・到達目標

The goal of this course is to develop students' speaking and listening skills and provide the vocabulary and language necessary to understand and speak in an academic context on current national and international topics and issues in monologue, in groups, and with the teacher. Topics will be set with fresh news and events from Japan and around the world covering broad areas such as: *lifestyle, health, education, technology, fashion, food, work/careers, sports, travel, language, and culture.*

授業内容

Week 1 — Introduction and course overview; schedule and syllabus; calibration
Week 2 — Topic 1; assignment guidelines; fluency practice
Week 3 — Topic 2; Assignment 1; fluency practice
Week 4 — Topic 3; Assignment 2; fluency practice
Week 5 — Topic 4; fluency practice
Week 6 — Summarizing (Written + oral summary)
Week 7 — In-class summary speech; submit written summary
Week 8 — Topic 5; Assignment 3; fluency practice
Week 9 — Topic 6; Assignment 4; fluency practice
Week 10 — Topic 7; fluency practice
Week 11 — Topic 8; fluency practice
Week 12 — Final Assignment discussion
Week 13 — Final Assignment (Speaking; listening; writing)
Week 14 — Review and feedback

履修上の注意

なし

準備学習（予習・復習等）の内容

Students are expected to read one article per week from BBC Learning English (<http://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/features/witn>) to familiarize themselves with language commonly used in news articles.

教科書

No required textbook - printouts will be provided.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

14% - Participation and effort
16% - Midterm test (oral and written summary)
32% - Homework (X4)
28% - Final Assignment
10% - Topic Review Quiz

その他

Students should bring paper and a dictionary to every class.

科目ナンバー：(LP)LAN315E

■ 秋学期 ■ 1単位

Intercultural Communication (English)ⅡB

担当者

フルトン, スチュワート

授業の概要・到達目標

The goal of this course is to develop students' speaking and listening skills and provide the vocabulary and language necessary to understand and speak in an academic context on current national and international topics and issues in monologue, in groups, and with the teacher. Topics will be set with fresh news and events from Japan and around the world covering broad areas such as: *lifestyle, health, education, technology, fashion, food, work/careers, sports, travel, language, and culture.*

授業内容

Week 1 — Introduction and course overview; schedule and syllabus; calibration
Week 2 — Topic 1; assignment guidelines; fluency practice
Week 3 — Topic 2; Assignment 1; fluency practice
Week 4 — Topic 3; Assignment 2; fluency practice
Week 5 — Topic 4; fluency practice
Week 6 — Summarizing (Written + oral summary)
Week 7 — In-class summary speech; submit written summary
Week 8 — Topic 5; Assignment 3; fluency practice
Week 9 — Topic 6; Assignment 4; fluency practice
Week 10 — Topic 7; fluency practice
Week 11 — Topic 8; fluency practice
Week 12 — Final Assignment discussion
Week 13 — Final Assignment (Speaking; listening; writing)
Week 14 — Review and feedback

履修上の注意

なし

準備学習（予習・復習等）の内容

Students are expected to read one article per week from BBC Learning English (<http://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/features/witn>) to familiarize themselves with language commonly used in news articles.

教科書

No required textbook - printouts will be provided.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

14% - Participation and effort
16% - Midterm test (oral and written summary)
32% - Homework (X4)
28% - Final Assignment
10% - Topic Review Quiz

その他

Students should bring paper and a dictionary to every class.

資格英語

担当者

フーパー, ドナバン

授業の概要・到達目標

This course is for students who wish to improve their TOEIC scores. The course will give a general overview of English exams and highlight why TOEIC is so important for university students. The course will go through each section of the test, giving useful skills and strategies that are needed to take the exam successfully.

授業内容

- 1 Introduction to English Examinations
- 2 Listening Part 1 - Pictures
- 3 Reading Part 5 - Missing words
- 4 Listening Part 2 - Question and Reply
- 5 Reading Part 6 - Text Completion
- 6 Listening Part 3 - Short Dialogues
- 7 Reading Part 7a - Reading Comprehension
- 8 Listening Part 4 - Monologues
- 9 Reading Part 7b - Double Texts
- 10 Review 1 - Listening
- 11 Review 2 - Reading
- 12 Individual Needs Analysis
- 13 TOEIC Listening Examination
- 14 TOEIC Reading Examination

履修上の注意

As this is an examination based class, the students will be expected to be able to focus on examination skills. There will be some pair-work but most activities will be done by individual students working to find out their own individual weaknesses in English.

準備学習（予習・復習等）の内容

Every lesson will have homework test. Complete the test and review the previous lesson.

教科書

The text book will be TOEICテスト新公式問題集

参考書

Students should have a good dictionary. Either English to English or Japanese to English.

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

Final grades will be based on attendance (40%), and results in the final TOEIC test (60%).

その他

科目ナンバー：(LP)LAN125N

■ 春学期 ■ 1単位

事前



ドイツ語会話 I A

担当者

オランダ、ダビデ

授業の概要・到達目標

This course aims to improve the student's speaking, conversation, and discussion skills at a level which helps them to pass examinations such as the Goethe speaking examination, equivalent to level A2/A1 of the Common European Framework of Reference for Languages (CEFR). Students will learn how to speak about themselves, how to conduct conversations and how to make appointments in German, with the end goal of developing a higher level of conversational fluency and a wider range of conversation strategies for starting a conversation. We will also use materials from different textbooks. By watching episodes from "Nicos Weg" (Deutsche Welle) and using the detailed grammar pages of the episodes we will go deep in German life patterns.

授業内容

1. Getting to know each other.
 2. Meeting people (1)
 3. Meeting people (2)
 4. Meeting people (3)
 5. Contact details
 6. Some social situations
 7. About our free-time, hobbies (1)
 8. About our free-time, activities (2)
 9. About our free-time, time (3)
 10. About our free-time, describing the day (4)
 11. Some short presentations
 12. My university life (1)
 13. My university life (2)
 14. まとめの終了テスト
- * 授業内容は必要に応じて変更することがあります。

履修上の注意

授業中に行う課題は、様々なレベルや進度に合わせて行います。つまり、教科書にある個々の課題を全て扱うわけではありません。またコミュニケーションのための授業が中心となるので、小グループでの学習が多くなります。

準備学習（予習・復習等）の内容

Students are required to see the episodes or read and understand the texts distributed for the coming lesson. Furthermore, students have to review the contents of the lesson by learning the main vocabulary, creating an overview of the contents and revising the main grammar points before each class.

Be sure to do your homework regularly and participate actively in class.

定期的に宿題をこなし、積極的に授業に参加するようにしてください。また出版社のホームページからダウンロードできる無料の音声データを活用してください。

教科書

Materials will be provided by the teacher.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

Feedback will be provided for the individual needs of the student. Students can contact me by more than one method — via a personal eMail address, the main Meiji address, online or after the lessons. If they would like more in-depth feedback or want to discuss their performance, also a short Zoom session can be provided.

Explanations for correct and incorrect responses will be given at computer-generated feedback. When web-based practice exercises and quizzes will be given, automated marking for students will give them the possibility to self-assess their understanding.

成績評価の方法

Students are evaluated on the basis of their interaction contributions (15 percent), class participation (20), and the short mainly speaking tests (45 percent) which will be throughout the semester. All tests will focus on the most recently covered material.

Presence will be evaluated with 20 percent. Unexcused absences affect students' grades. Too many unexcused absences can lead to a fail.

毎回積極的に授業に参加すること、テーマやパートナーワークについて関心を持って取り組むことを前提とします。それぞれの課の学習後にテストが実施されます。これらのテストはまとめの終了テストと合わせて、評価全体の45パーセントを占めます

その他

Students can contact the teacher via Mail any time. Also a personal Zoom Meeting is possible if required.

科目ナンバー：(LP)LAN125N

■ 秋学期 ■ 1単位

事前



ドイツ語会話 I B

担当者

オランダ、ダビデ

授業の概要・到達目標

In particular, learners will learn and deepen the (sentence) structures used in language acts in everyday life situations which will help them to pass examinations such as the Goethe speaking examination, equivalent to level A2 of the Common European Framework of Reference for Languages (CEFR).

授業内容

1. Review of the main points of the summer semester.
2. Social situations.
3. Talking about the day.
4. Eating and drinking.
5. Short presentations (1). Going to town (1).
6. Going to town (2).
7. Making appointments.
8. How to accept/neglect offers
9. Going out.
10. What is allowed, what forbidden?
11. Short presentations (2)
12. Exercises for the Goethe examination level A1 (2)..
13. Exercises for the Goethe examination level A1 (2)
14. Short presentations (3).

履修上の注意

授業中に行う課題は、様々なレベルや進度に合わせて行います。つまり、教科書にある個々の課題を全て扱うわけではありません。またコミュニケーションのための授業が中心となるので、小グループでの学習が多くなります。

準備学習（予習・復習等）の内容

Students are required to see the episodes or read and understand the texts distributed for the coming lesson. Furthermore, students have to review the contents of the lesson by learning the main vocabulary, creating an overview of the contents and revising the main grammar points before each class.

Be sure to do your homework regularly and participate actively in class.

定期的に宿題をこなし、積極的に授業に参加するようにしてください。また出版社のホームページからダウンロードできる無料の音声データを活用してください。

教科書

Materials will be provided by the teacher.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

Feedback will be provided for the individual needs of the student. Students can contact me by more than one method — via a personal eMail address, the main Meiji address, online or after the lessons. If they would like more in-depth feedback or want to discuss their performance, also a short Zoom session can be provided.

Explanations for correct and incorrect responses will be given at computer-generated feedback. When web-based practice exercises and quizzes will be given, automated marking for students will give them the possibility to self-assess their understanding.

成績評価の方法

Students are evaluated on the basis of their interaction contributions (15 percent), class participation (20), and the short mainly short presentations (45 percent) which will be throughout the semester.

Presence will be evaluated with 20 percent. Unexcused absences affect students' grades. Too many unexcused absences can lead to a fail.

毎回積極的に授業に参加すること、テーマやパートナーワークについて関心を持って取り組むことを前提とします。それぞれの課の学習後にテストが実施されます。これらのテストはまとめの終了テストと合わせて、評価全体の45パーセントを占めます

その他

科目ナンバー：(LP)LAN125N

■ 春学期 ■ 1単位



ドイツ語会話ⅠA

担当者

ブリール, リタ

授業の概要・到達目標

アルファベットから始め、簡単な会話やテキストを用いて基本文法と話す力を養う訓練をする。会話やテキストには、ドイツの映画やドイツについての情報が含まれて、異文化理解の助けとなる。

正しい発音ができるようになるよう留意したい。学期ごとに大きなテストを2度ずつ行い、単語テストも何度か行う。60点を取ることが合格の基準となる。

きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。表記の教科書は最初の授業の後に購入してください。

授業内容

- 1 自己紹介
- 2 自己紹介, アルファベットと発音
- 3 自己紹介とアルファベット復習15分, 第1課(動詞と人称代名詞)
- 4 復習(第1課)15分, 第2課(動詞と冠詞)
- 5 復習(第1課)15分, 2課, 定冠詞単数と複数, 不定冠詞, 否定冠詞1格, 数字0-20
- 6 復習, 5と同じ
- 7 テスト(成績評価に大切)
- 8 第3課, 不規則動詞werden, 冠詞類の4格, 副詞
- 9 復習(第3課)15分, 所有冠詞1・4格, 副詞, 数字0-100
- 10 第4課, 不規則動詞, 非人称のes, 命令形
- 11 第4課, 10と同じ
- 12 第4課, 分離動詞, 時刻表, 話法助動詞
- 13 第4課, 12と同じ, テストの説明
- 14 テスト(成績評価に大切)

履修上の注意

出席を注意し、宿題を忘れず提出する。

準備学習(予習・復習等)の内容

前回授業のテキストを読んで授業に参加すること。

教科書

Wir kommen aus Deutschland. Rita Briel/Soichiro Itoda.
Ikubundo. ISBN: 9784261012644

表記の教科書は最初の授業の後に購入してください

参考書

特になし

課題に対するフィードバックの方法

クラスに、メールで

成績評価の方法

授業は休まず、積極的に参加することが求められます。大きな試験は各学期2回、これに加えて適宜小テストを行います。

60点を取ることが合格の基準となる。

その他

特になし

科目ナンバー：(LP)LAN125N

■ 秋学期 ■ 1単位



ドイツ語会話ⅠB

担当者

ブリール, リタ

授業の概要・到達目標

この授業の目標は、これまでに学んだ基本的知識を反復し深めとともに、文法・会話・テキスト理解のための新しい知識を習得することにあります。参加する学生のみなさんの力に合わせた授業を展開するつもりです。みなさんの力を判定する上で、最初の授業時は大切なので必ず出席してください。

単語テストも何度か行う。60点を取ることが合格の基準となる。

きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。表記の教科書は最初の授業の後に購入してください。

授業内容

- 1 第1-4課の復習
- 2 第5課, 3格の人称代名詞, 所有冠詞, 曜日, 月, 季節
- 3 第5課, 2と同じ
- 4 第5課, 復習, haben, seinの過去形, 疑問詞の格変化
- 5 第5課, 4と同じ
- 6 テスト復習練習, テストの説明
- 7 テスト(成績評価に大切)
- 8 第6課, 数字0-100000, 場所の3・4格の前置詞
- 9 第6課, 8と同じ
- 10 第6課, 再帰動詞, 年号, 日付
- 11 第6課, 再起動詞の復習, 時間の前置詞
- 12 第6課, 12と同じ
- 13 テストの説明
- 14 (a) テスト(成績評価に大切), (b) まとめ

履修上の注意

出席を注意し、宿題を忘れずに提出する。

準備学習(予習・復習等)の内容

前回授業のテキストを読んで授業に参加すること。

教科書

Wir kommen aus Deutschland. Rita Briel/Soichiro Itoda.
Ikubundo. ISBN: 9784261012644

表記の教科書は最初の授業の後に購入してください

参考書

特になし

課題に対するフィードバックの方法

クラスに、メールで

成績評価の方法

授業は休まず、積極的に参加することが求められます。大きな試験は各学期2回、これに加えて適宜小テストを行います。

60点を取ることが合格の基準となる。

その他

特になし

科目ナンバー：(LP)LAN125N

■ 春学期 ■ 1単位



ドイツ語会話 I A

担当者

オストヴァルト、イェンス

授業の概要・到達目標

ドイツ語をはじめて学ぶ学生を対象に、ドイツ語で日常よく用いられる表現を取り上げ、聞く力、話す力、読む力をつけることを目標とします。授業では、学生が主体性を持つよう、グループ学習などを取り入れます。また、ドイツ語圏の文化と社会にも目を向けます。

単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

到達目標：

自己紹介、簡単な文章の読み書き、初歩的な日常会話を行うことができる

授業内容

自己紹介、趣味、飲食、職業・学校、買物などの日常生活をテーマに扱いながら文法や語彙を学びます。

学生の興味・理解度に順じて下記のプログラムを変更することもあります。

前期

- ① 授業についての説明・オリエンテーション / Einführung
- ② Lektion 1 人と知り合う / Kontakte 1 – 規則動詞の人称変化、疑問文
- ③ Lektion 1 人と知り合う / Kontakte 1 – 規則動詞の人称変化、疑問文
- ④ Lektion 2 人と知り合う / Kontakte 2 – 数詞、名詞の性、定冠詞、所有冠詞
- ⑤ Lektion 2 人と知り合う / Kontakte 2 – 数詞、名詞の性、定冠詞、所有冠詞
- ⑥ Lektion 3 専攻と言語 / Studium und Sprache – 不規則変化動詞の人称変化、語順
- ⑦ 総復習 / Wiederholung
- ⑧ Lektion 4 趣味 / Hobbys – 総復習、否定文
- ⑨ Lektion 4 趣味 / Hobbys – 否定文
- ⑩ Lektion 5 食事 / Essen und Trinken – 並列接続詞、前置詞
- ⑪ Lektion 5 食事 / Essen und Trinken – 並列接続詞、前置詞
- ⑫ Lektion 6 家族と職業 / Familie und Berufe – 複数形、形容詞
- ⑬ Lektion 7 持ち物 / Gegenstände – 代名詞の格変化、形容詞
- ⑭ Lektion 7 持ち物 / Gegenstände – 代名詞の格変化、形容詞
- ⑮ 総復習および予備 / Wiederholung

履修上の注意

準備学習（予習・復習等）の内容

毎回の授業内容の復習と宿題（プリント・インターネット上の練習問題）をすること。

教科書

「スツェーネン1 場面で学ぶドイツ語（CD&ワークブック付き）」
ISBN 978-4-384-12245-9

参考書

担当教員が適時指示します。理解を助けるため、プリントを配布することもあります。

課題に対するフィードバックの方法

授業内あるいはクラスウェブを通じて

成績評価の方法

小テスト 50%
宿題 20%
授業中の参加態度 30%

その他

科目ナンバー：(LP)LAN125N

■ 秋学期 ■ 1単位



ドイツ語会話 I B

担当者

オストヴァルト、イェンス

授業の概要・到達目標

前期の「共通外国語科目 ドイツ語会話 I A」の続きです。

ドイツ語をはじめて学ぶ学生を対象に、ドイツ語で日常よく用いられる表現を取り上げ、聞く力、話す力、読む力をつけることを目標とします。授業では、学生が主体性を持つよう、グループ学習などを取り入れます。また、ドイツ語圏の文化と社会にも目を向けます。

単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

到達目標：

自己紹介、簡単な文章の読み書き、初歩的な日常会話を行うことができる

授業内容

前期の続き

自己紹介、趣味、飲食、職業・学校、買物などの日常生活をテーマに扱いながら文法や語彙を学びます。

学生の興味・理解度に順じて下記のプログラムを変更することもあります。

後期：

- ① 春学期の復習 / Wiederholung
- ② Lektion 6 家族と職業 / Familie und Berufe – 複数形、形容詞
- ③ Lektion 7 持ち物 / Gegenstände – 代名詞の格変化、形容詞
- ④ Lektion 8 住居 / Wohnen – 前置詞、所有冠詞
- ⑤ Lektion 8 住居 / Wohnen – 前置詞、所有冠詞
- ⑥ Lektion 9 時刻と日付 / Uhrzeit und Datum – 前置詞、分離動詞
- ⑦ Lektion 9 時刻と日付 / Uhrzeit und Datum – 前置詞、分離動詞
- ⑧ Lektion 10 週末の後 / Nach dem Wochenende – 現在完了形、過去形
- ⑨ Lektion 10 週末の後 / Nach dem Wochenende – 現在完了形、過去形
- ⑩ Lektion 11 街と大学 / Stadt und Universität – 命令形、前置詞
- ⑪ Lektion 12 休暇の前 / Vor der Ferien – 話法の助動詞、前置詞
- ⑫ 文法のまとめ・補足
- ⑬ 文法のまとめ・補足
- ⑭ 総復習および予備 / Wiederholung
- ⑮ 総復習および予備 / Wiederholung

履修上の注意

準備学習（予習・復習等）の内容

毎回の授業内容の復習と宿題（プリント・インターネット上の練習問題）をすること。

教科書

前期と同じ：
「スツェーネン1 場面で学ぶドイツ語（CD&ワークブック付き）」
ISBN 978-4-384-12245-9

参考書

前期と同じ

課題に対するフィードバックの方法

授業内あるいはクラスウェブを通じて

成績評価の方法

小テスト 50%
宿題 20%
授業中の参加態度 30%

その他

科目ナンバー：(LP)LAN225N

■ 春学期 ■ 1単位

ドイツ語会話Ⅱ A

担当者

オルランド, ダビデ

授業の概要・到達目標

This course is designed to expand the communicative competences in speaking, listening and reading, and to deepen the understanding of German-speaking cultures.

The course will briefly review basic grammar with the intention of activating background knowledge taught before.

With the help of handled out material, which is primarily dealing with cultural aspects of Germany, the class member will develop their individual language skills.

By the end of the course, it will be possible to interact in most everyday situations about familiar topics. The students will be able to talk about the past and the future, to draw comparisons between Japan and Germany.

授業内容

The content and grade of difficulty of the program may change depending on the general level of the course and on the wishes of the course members.

1. Introduction. "Getting to know each other" activities; classroom policies.
2. Main grammar expressions for starting a conversation.
3. Talking about free-time activities in Germany.
4. Talking about free-time activities in Japan.
5. "Strassenfeste" in Germany
6. Meaning of music in our life.
7. Speaking about projects and dreams.
8. Rural life vs city life in Germany.
9. Pros and cons (city life vs rural life).
10. Education in Germany.
11. Education in Japan.
12. Review of themes and grammar points.
13. New methods of living together.
14. Review of themes and grammar points.

履修上の注意

準備学習（予習・復習等）の内容

Students should read and understand articles distributed for the coming lesson. Furthermore, students should review the contents of the lesson by learning the main vocabulary, creating an overview of the contents and revising the main grammar points before each class

教科書

Materials will be provided by the teacher.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

Feedback will be provided for the individual needs of the student. Students can contact me by more than one method — via a personal eMail address, the main Meiji address, online or after the lessons. If they would like more in-depth feedback or want to discuss their performance, also a short Zoom session can be provided.

成績評価の方法

Students are evaluated on the basis of their interaction contributions and class participation (35 percent) and short presentations (25 percent). Presence will be evaluated with 40 percent. Unexcused absences affect students' grades. Too many unexcused absences can lead to a fail. 毎回積極的に授業に参加すること、テーマやパートナーワークについて関心を持って取り組むことを前提とします。それぞれの課の学習後にテストが実施されます。これらのテストはまとめの終了テストと合わせて、

その他

The content and grade of difficulty of the program may change depending on the general level of the course and on the wishes of the course members.

Students can contact the teacher via Mail any time. Also a personal Zoom Meeting is possible if required.

科目ナンバー：(LP)LAN225N

■ 秋学期 ■ 1単位

ドイツ語会話Ⅱ B

担当者

オルランド, ダビデ

授業の概要・到達目標

This course is a follow up of the summer semester course.

It is also designed to increase the communicative skills and to give the participants some cultural aspects of Germany. we will talk about these four aspects: Citys in Germany, Food and beverages, Free time and Music.

With the help of handled out material, which is primarily dealing with cultural aspects of Germany, the class member will develop their individual language skills.

授業内容

The course will be divided into four main categories. The content and grade of difficulty of material to be taught and discussed may change depending on the general level of the course / on the wishes of the course members.

Lessons 1-4: German cities.

Lessons 5-8: Food and beverages

Lessons 9- 11: Free time

Lessons 12 -14: Music

履修上の注意

準備学習（予習・復習等）の内容

Students should read and understand articles distributed for the coming lesson. Furthermore, students should review the contents of the lesson by learning the main vocabulary, creating an overview of the contents and revising the main grammar points before each class

教科書

Materials will be provided by the teacher. Material will be copied mainly from textbooks and from online devices.

参考書

Feedback will be provided for the individual needs of the student. Students can contact me by more than one method — via a personal eMail address online or after the lessons. If they would like more in-depth feedback or want to discuss their performance, also a short Zoom session can be provided.

課題に対するフィードバックの方法

Students are evaluated on the basis of their interaction contributions and class participation (35 percent) and short presentations (25 percent).

Presence will be evaluated with 40 percent. Unexcused absences affect students' grades. Too many unexcused absences can lead to a fail.

成績評価の方法

Students are evaluated on the basis of their interaction contributions and class participation (35 percent) and short presentations (25 percent).

.Presence will be evaluated with 40 percent. Unexcused absences affect students' grades. Too many unexcused absences can lead to a fail.

その他

The content and grade of difficulty of the program may change depending on the general level of the course and on the wishes of the course members.

Students can contact the teacher via Mail any time. Also a personal Zoom Meeting is possible if required.

<div>科目ナンバー：(LP)LAN225N</div> <div>■ 春学期 ■ 1単位</div> <div>ドイツ語会話Ⅱ A</div> <div>担当者 ブリール, リタ</div>	<div>科目ナンバー：(LP)LAN225N</div> <div>■ 秋学期 ■ 1単位</div> <div>ドイツ語会話Ⅱ B</div> <div>担当者 ブリール, リタ</div>
<div>授業の概要・到達目標</div> <p>この授業は、一定レベルのドイツ語を学習した学生を対象とします。 すでに習得したドイツ語の基礎を定着させ、さらなるレベルアップを目指します。 合わせてドイツ語圏の社会や文化、更にそこに住む人々のものの考え方や日常生活などへの理解を深めます。 表記の教科書は最初の授業の後に購入してください。</p> <div>授業内容</div> <p>第1回 第6課～第8課までの復習、第9課、2格の練習、日付、曜日、季節、時間を練習する 第2回 テキスト1を読む、現在分詞と過去分詞の練習、テキスト2を読む 第3回 過去完了形、接続詞、2格の前置詞の練習。 第4回 復習、第10課、不定詞句の練習、疑問代名詞人称代名詞と前置詞の融合形の練習 第5回 復習、テキスト1を読む、熟語動詞、語法の助動詞の特別使い方テキスト2を読む 第6回 復習の練習、テストの説明 第7回 テスト 第8回 映画 第9回 第11課、テキスト1を読む、映画の評価 第10回 受動分の練習 第11回 復習、関係代名詞、関係文、テキスト2を読む 第12回 第12課、接続法第2式の練習、心態詞の練習、テキスト1を読む 第13回 接続法第2式の練習、テキスト2を読む、テストの説明 第14回 テストとまとめ</p> <div>履修上の注意</div> <p>リスニングと書き取りに重点を置く。</p> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <p>授業はグループワークを基本に展開します。共通のテーマについてさまざまな方向からアプローチする可能性を実体験してもらいます。</p> <div>教科書</div> <p>Wir kommen aus Deutschland. Rita Briel/Soichiro Itoda. Ikubundo. ISBN: 9784261012644 表記の教科書は最初の授業の後に購入してください。</p> <div>参考書</div> <p>特になし</p> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <p>クラスに、メールで</p> <div>成績評価の方法</div> <p>授業への貢献度40％、試験60％</p> <div>その他</div> <p>特になし</p>	<div>授業の概要・到達目標</div> <p>ドイツ語会話Ⅰの復習から始め、簡単な会話やテキストを用いて基本文法と話す力を養う訓練をする。会話やテキストには、ドイツの映画やドイツについての情報が含まれて、異文化理解の助けとなる。 正しい発音ができるようになるよう留意したい。学期ごとに大きなテストを2度ずつ行い、単語テストも何度か行う。60点を取ることが合格の基準となる。 きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。</p> <div>授業内容</div> <p>1 第1-4課の復習 2 第5課、3格の人称代名詞、所有冠詞、曜日、月、季節 3 第5課、2と同じ 4 第5課、復習、haben, seinの過去形、疑問詞の格変化 5 第5課、4と同じ 6 テスト復習練習、テストの説明 7 テスト（成績評価に大切） 8 第6課、数字0-100000、場所の3・4格の前置詞 9 第6課、8と同じ 10 第6課、再帰動詞、年号、日付 11 第6課、再起動詞の復習、時間の前置詞 12 第6課、11と同じ 13 テスト復習、テストの説明 14 テスト</p> <div>履修上の注意</div> <p>出席を注意し、宿題を忘れず提出する。</p> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <p>前回授業のプリントを読んで授業に参加すること。</p> <div>教科書</div> <p>Wir kommen aus Deutschland. Rita Briel, Soichiro Itoda. Ikubundo. ISBN: 978-4-261-01264-4.</p> <div>参考書</div> <p>特になし</p> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <p></p> <div>成績評価の方法</div> <p>授業は休まず、積極的に参加することが求められます。大きな試験は各学期2回、これに加えて適宜小テストを行います。 大テスト70％、小テスト30％でそれぞれのテストで60点以上取ることが合格の基準となる。</p> <div>その他</div> <p>特になし</p>

科目ナンバー：(LP)LAN325N

■ 春学期 ■ 1単位

ドイツ語会話Ⅲ A

担当者

オルランド、ダビデ

授業の概要・到達目標

This course is designed to expand the communicative competences in speaking, listening and reading, and to deepen the understanding of German-speaking cultures.

The course will briefly review basic grammar with the intention of activating background knowledge taught before.

With the help of handled out material, which is primarily dealing with cultural aspects of Germany, the class member will develop their individual language skills.

By the end of the course, it will be possible to interact in most everyday situations about familiar topics. The students will be able to talk about the past and the future, to draw comparisons between Japan and Germany.

授業内容

The content and grade of difficulty of the program may change depending on the general level of the course and on the wishes of the course members.

1. Introduction. "Getting to know each other" activities; classroom policies.
2. Main grammar expressions for starting a conversation.
3. Talking about free-time activities in Germany.
4. Talking about free-time activities in Japan.
5. "Strassenfeste" in Germany
6. Meaning of music in our life.
7. Speaking about projects and dreams.
8. Rural life vs city life in Germany.
9. Pros and cons (city life vs rural life).
10. Education in Germany.
11. Education in Japan.
12. Review of themes and grammar points.
13. New methods of living together.
14. Review of themes and grammar points.

履修上の注意

準備学習（予習・復習等）の内容

Students should read and understand articles distributed for the coming lesson. Furthermore, students should review the contents of the lesson by learning the main vocabulary, creating an overview of the contents and revising the main grammar points before each class

教科書

Textbook(s)

Materials will be provided by the teacher.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

Feedback will be provided for the individual needs of the student. Students can contact me by more than one method — via a personal eMail address, the main Meiji address, online or after the lessons. If they would like more in-depth feedback or want to discuss their performance, also a short Zoom session can be provided.

成績評価の方法

Students are evaluated on the basis of their interaction contributions and class participation (35 percent) and short presentations (25 percent).

Presence will be evaluated with 40 percent. Unexcused absences affect students' grades. Too many unexcused absences can lead to a fail. 毎回積極的に授業に参加すること、テーマやパートナーワークについて関心を持って取り組むことを前提とします。それぞれの課の学習後にテストが実施されます。これらのテストはまとめの終了テストと合わせて、

その他

The content and grade of difficulty of the program may change depending on the general level of the course and on the wishes of the course members.

Students can contact the teacher via Mail any time. Also a personal Zoom Meeting is possible if required.

科目ナンバー：(LP)LAN325N

■ 秋学期 ■ 1単位

ドイツ語会話Ⅲ B

担当者

オルランド、ダビデ

授業の概要・到達目標

This course is a follow up of the summer semester course.

It is also designed to increase the communicative skills and to give the participants some cultural aspects of Germany. we will talk about these four aspects: Citys in Germany, Food and beverages, Free time and Music.

With the help of handled out material, which is primarily dealing with cultural aspects of Germany, the class member will develop their individual language skills.

授業内容

The course will be divided into four main categories. The content and grade of difficulty of material to be taught and discussed may change depending on the general level of the course / on the wishes of the course members.

Lessons 1-4: German cities.

Lessons 5-8: Food and beverages

Lessons 9- 11: Free time

Lessons 12 -14: Music

履修上の注意

準備学習（予習・復習等）の内容

Students should read and understand articles distributed for the coming lesson. Furthermore, students should review the contents of the lesson by learning the main vocabulary, creating an overview of the contents and revising the main grammar points before each class

教科書

Supplimentary materials will be provided by the teacher.

参考書

課題に対するフィードバックの方法

Feedback will provide to the individual needs of the student. Students can contact me by more than one method — via a personal eMail address online or after the lessons. If they would like more in-depth feedback or want to discuss their performance, also a short Zoom session can be provided.

成績評価の方法

Students are evaluated on the basis of their interaction contributions and class participation (35 percent) and short presentations (25 percent).

Presence will be evaluated with 40 percent. Unexcused absences affect students' grades. Too many unexcused absences can lead to a fail.

The content and grade of difficulty of the program may change depending on the general level of the course and on the wishes of the course members.

Students can contact the teacher via Mail any time. Also a personal Zoom Meeting is possible if required.

その他

The content and grade of difficulty of the program may change depending on the general level of the course and on the wishes of the course members.

Students can contact the teacher via Mail any time. Also a personal Zoom Meeting is possible if required.

<div>科目ナンバー：(LP)LAN325N</div> <div>■ 春学期 ■ 1単位</div> <div>国際理解講座・ドイツ語圏A</div> <div>担当者ブリール, リタ</div>	<div>科目ナンバー：(LP)LAN325N</div> <div>■ 秋学期 ■ 1単位</div> <div>国際理解講座・ドイツ語圏B</div> <div>担当者ブリール, リタ</div>
<div>授業の概要・到達目標</div> <div>この授業では、ドイツ語圏の国々に留学、短期の語学研修などででかけるときに必要な基礎知識を、ドイツ語会話を通して勉強します。 正しい発音ができるようになるよう留意したい。学期ごとに大きなテストを2度ずつ行い、単語テストも何度か行う。60点を取ることが合格の基準となる。 きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。 表記の教科書は最初の授業の後に購入してください。</div>	<div>授業の概要・到達目標</div> <div>この授業では、ドイツ語圏の国々に留学、短期の語学研修などででかけるときに必要な基礎知識を、ドイツ語会話を通して勉強します。 正しい発音ができるようになるよう留意したい。学期ごとに大きなテストを2度ずつ行い、単語テストも何度か行う。60点を取ることが合格の基準となる。 きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。 表記の教科書は最初の授業の後に購入してください。</div>
<div>授業内容</div> <div>1 レッスン1（自己紹介）、教科書の説明、自己紹介の練習 2 自己紹介の復習（第1課）15分、アルファベットと発音、レッスン2（職業） 3 第2課、動詞と人称代名詞の練習、数字0-100 4 第2課の復習、第3課（家族）決定疑問文の答え方、所有冠詞 5 第3課の復習、第4課（家と家具）決定疑問文の答え方、値段の練習 6 第4課の復習、第5課（ものの色、形、素材）、不定冠詞、日定冠詞テストの説明、復習の練習 7 前半 テスト、後半 第5課の練習、第6課（オフィスで、PC） 8 復習、第5、6課の練習、複数形、4格 9 第7課（趣味）助動詞können、不規則動詞fahren, lesen, treffen 10 第8課（時間）、曜日、一日の時刻、時計とその練習 11 第9課（食事、食べ物、飲み物）助動詞mögen, möchte、第10課（乗り物、旅）電話での会話 12 第10課（乗り物、旅）分離動詞の練習、第10課（週末について話す）、現在完了形、前置詞von...bis, ab 13 第11課（日常生活）と第12課（ドイツの祭り）現在完了形、テストの説明 14 テストとまとめ</div>	<div>授業内容</div> <div>1 自己紹介、教科書の説明、ベーシックスの復習 2 第13課（町で）前置詞、道を教える、3格 3 第14課（お住まい）、所有冠詞1、4格、形容詞 4 第15課（町の説明）、3格の人称代名詞、動詞gefallen 5 第16課（ホテルで）、何かを要約する、前置詞 vor, nach, in, für 6 第17課の復習（予定、望）、動詞werden、テキストを書く練習、テキストの説明 7 前半 テスト、後半 第18課の練習（体の部位、アドバイスをする）命令形、話法の助動詞sollen 8 第19課（人と見た目を説明する）、過去形haben, sein、第20課（家事）、命令形 9 復習、第21課（交通、環境）、助動詞dürfen, müssen 10 第22課（洋服）、比較級、最上級 11 第23課（天気）天気の言葉、接続詞denn 12 第24課（ドイツの祭り）接続法第一式、はがき、e-mailを格 13 復習テストの説明 14 テストとまとめ</div>
<div>履修上の注意</div> <div>会話の経験があることが望ましいですが、やる気があれば、これから始めようという学生も受け入れます。文法は1年修了程度の基礎を前提とします。 出席を注意し、宿題を忘れず提出すること。</div>	<div>履修上の注意</div> <div>会話の経験があることが望ましいですが、やる気があれば、これから始めようという学生も受け入れます。文法は1年修了程度の基礎を前提とします。 出席を注意し、宿題を忘れず提出すること。</div>
<div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div>前回授業のプリントを読んで授業に参加すること。</div>	<div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div>前回授業のプリントを読んで授業に参加すること。</div>
<div>教科書</div> <div>Menschen. Deutsch als Fremdsprache A1.1, Kursbuch + Arbeitsbuch, 出版社 Hueber, ISBN 978-3-19-301901-1（Kursbuch）、ISBN 978-3-19-301901-8（Arbeitsbuch） 表記の教科書は最初の授業の後に購入してください。</div>	<div>教科書</div> <div>Menschen. Deutsch als Fremdsprache A1.2, Kursbuch + Arbeitsbuch, 出版社 Hueber, ISBN 978-3-19-501901-9（Kursbuch）、ISBN 978-3-19-511901-6（Arbeitsbuch） 表記の教科書は最初の授業の後に購入してください。</div>
<div>参考書</div> <div>特になし</div>	<div>参考書</div> <div>特になし</div>
<div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>クラスに、メールで</div>	<div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>クラスに、メールで</div>
<div>成績評価の方法</div> <div>授業は休まず、積極的に参加することが求められます。大きな試験は各学期2回、これに加えて適宜小テストを行います。 大テスト70%、小テスト30%で、それぞれのテストで60%以上取ることが合格の基準となる。</div>	<div>成績評価の方法</div> <div>授業は休まず、積極的に参加することが求められます。大きな試験は各学期2回、これに加えて適宜小テストを行います。 大テスト70%、小テスト30%で、それぞれのテストで60%以上取ることが合格の基準となる。</div>
<div>その他</div> <div>特になし</div>	<div>その他</div> <div>特になし</div>

<div>科目ナンバー：(LP)LAN121N</div> <div>■ 春学期 ■ 1単位</div> <div>資格ドイツ語A</div> <div>担当者 レンドラー, ローマン</div>	<div>科目ナンバー：(LP)LAN121N</div> <div>■ 秋学期 ■ 1単位</div> <div>資格ドイツ語B</div> <div>担当者 レンドラー, ローマン</div>
<div>授業の概要・到達目標</div> <div>授業は対面授業で実施します。</div> <div>しかし、コロナの感染状況によっては一部の回を「Zoomによるリアルタイム配信型授業」に切り替えることがあります。その場合、Oh-o! Meiji（「授業内容」、「お知らせ」機能等）で通知します。</div> <div>（ZoomのミーティングIDはOh-o！Meijiのお知らせ機能にて配信します。）</div> <div>※今後の状況によっては授業計画等に更なる変更が生じる可能性があります。</div> <div>○独検4級準備コース。</div> <div>○ドイツ語初心者向けに、年2回行なわれる独検4級の合格を目指します。</div> <div>○初歩的な「読む、書く、聞く」の総合的語学力を身につけます。</div> <div>○毎回会話練習することで発音も総合的語学力を高めます</div> <div>授業内容</div> <div>発音とアクセントをはじめに独検に必要な語彙や文法知識を深めながら、自己紹介、趣味、飲食、職業・学校、住居などのテーマを身につけ、授業を進めていきます。</div> <div>第1回 イントロダクション・発音とアクセント特徴</div> <div>第2回 動詞の人称変化</div> <div>第3回 動詞の人称変化の応用練習</div> <div>第4回 名詞の性、複数形</div> <div>第5回 名詞の応用練習</div> <div>第6回 冠詞</div> <div>第7回 人称代名詞/指示代名詞</div> <div>第8回 ja, nein, dochの用法</div> <div>第9回 ja, nein, dochの用法の応用練習</div> <div>第10回 疑問詞</div> <div>第11回 疑問詞の応用練習</div> <div>第12回 命令形</div> <div>第13回 話法の助動詞/未来</div> <div>第14回 話法の助動詞/未来の応用練習</div> <div>履修上の注意</div> <div>ドイツ語に関心があること。</div> <div>独検受験の予定がなくても履修できます。</div> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div>前週の授業を復習する事</div> <div>次週の授業を予習する事</div> <div>教科書</div> <div>『CD付き 完全攻略! ここが出る! 独検3・4級テキスト&問題集』, 村岡千紘 著者, Roman Dominik Rendler ネイティブ校正, ナツメ社</div> <div>ISBN 978-4-8163-6279-8</div> <div>参考書</div> <div>独和辞典（担当教員が適宜薦めます。）</div> <div>コピー教材</div> <div>（すでに持っている教科書も参考として使うことになります。）</div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>成績評価の方法</div> <div>○小テスト・課題 30%</div> <div>○ドイツ語で声を出して話すこと 30%</div> <div>○積極的な授業参加 40%</div> <div>その他</div> <div>ドイツといえばエコロジー、建築、音楽、技術、サッカーなど、興味深いトピックを連想するのではと思いますが、ドイツをより理解するためドイツ語能力を高めましょう!</div>	<div>授業の概要・到達目標</div> <div>授業は対面授業で実施します。</div> <div>しかし、コロナの感染状況によっては一部の回を「Zoomによるリアルタイム配信型授業」に切り替えることがあります。その場合、Oh-o! Meiji（「授業内容」、「お知らせ」機能等）で通知します。</div> <div>（ZoomのミーティングIDはOh-o！Meijiのお知らせ機能にて配信します。）</div> <div>※今後の状況によっては授業計画等に更なる変更が生じる可能性があります。</div> <div>○独検4級準備コース。</div> <div>○ドイツ語初心者向けに、年2回行なわれる独検4級の合格を目指します。</div> <div>○初歩的な「読む、書く、聞く」の総合的語学力を身につけます。</div> <div>授業内容</div> <div>発音とアクセントをはじめに独検に必要な語彙や文法知識を深めながら、自己紹介、趣味、飲食、職業・学校、住居などのテーマを身につけ、授業を進めていきます。</div> <div>第1回 esの用法</div> <div>第2回 esの用法</div> <div>第3回 前置詞</div> <div>第4回 前置詞</div> <div>第5回 動詞の格</div> <div>第6回 動詞の格</div> <div>第7回 並列の接続詞</div> <div>第8回 並列の接続詞</div> <div>第9回 分離動詞</div> <div>第10回 分離動詞</div> <div>第11回 再帰動詞</div> <div>第12回 再帰動詞</div> <div>第13回 読解 4級 問題概要と攻略法</div> <div>第14回 リスニング 4級 問題概要と攻略法</div> <div>履修上の注意</div> <div>ドイツ語に関心があること。</div> <div>独検受験の予定がなくても履修できます。</div> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div>前週の授業を復習する事</div> <div>次週の授業を予習する事</div> <div>教科書</div> <div>『CD付き 完全攻略! ここが出る! 独検3・4級テキスト&問題集』, 村岡千紘 著者, Roman Dominik Rendler ネイティブ校正, ナツメ社</div> <div>ISBN 978-4-8163-6279-8</div> <div>参考書</div> <div>コピー教材（すでに持っている教科書も参考として使うことになります。）</div> <div>独和辞典（担当教員が適宜薦めます。）</div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>成績評価の方法</div> <div>○小テスト・課題 30%</div> <div>○ドイツ語で声を出して話すこと 30%</div> <div>○積極的な授業参加 40%</div> <div>その他</div> <div>ドイツといえばエコロジー、建築、音楽、技術、サッカーなど、興味深いトピックを連想するのではと思いますが、ドイツをより理解するためドイツ語能力を高めましょう!</div>

科目ナンバー：(LP)LAN135N

■ 春学期 ■ 1単位

フランス語会話ⅠA

担当者ドナティ、ジャンアレキシ

事前登録WEB登録

授業の概要・到達目標
(Tout en étudiant les bases de la grammaire française, on s'entraîne à parler en français de sa vie quotidienne et de ses centres d'intérêt. Pour parvenir à parler plus spontanément, on fait à deux des activités d'automatismes écrites ou orales.)
フランス語の基本文法を勉強しながら、自分自身の日常生活や興味を持っていることについてフランス語で話す練習をします。自然にフランス語が口について出るよう、教科書にそってペアでの会話練習とさまざまな練習問題を繰り返し行います。
(Les objectifs de ce cours sont les suivants)
この授業の目標は次のとおりです。
(Être capable de construire une proposition simple dans le respect de la syntaxe : rôles respectifs des noms, adjectifs, adverbess, articles, verbes, prépositions etc.)
フランス語の構文の規則（名詞、形容詞、副詞、冠詞、動詞、前置詞などの品詞の役割）に従って簡単な文を作れるようになること。
(Être capable de lier les différentes propositions entre elles de manière naturelle et logique)
複数の文を論理的かつ自然につなげられるようになること。
(Être capable d'écrire sans fautes d'orthographe)
スペルを間違えずに書けるようになること。
(Shabituier progressivement à la prononciation du français)
フランス語の発音に少しずつ慣れること。
(Acquérir les réflexes oraux nécessaires au bon déroulement d'une conversation courante en français)
会話をなめらかに展開させるために必要なフランス語の反射神経を身につけること。
(Pouvoir parler en français de sa vie quotidienne et de ses centres d'intérêt)
自分の日常生活や興味のあることについて、フランス語で話せるようになること。
(Savoir enchaîner sans hésiter les idées dans une conversation)
迷いなく自然にフランス語で会話を続けられるようになること。
(Acquérir des rudiments sur les spécificités de la culture française et ses différences avec la culture japonaise)
フランス文化の特性と、フランス文化と日本文化との違いについての基本的な知識を得ること。
(Acquérir suffisamment d'autonomie pour un voyage dans les pays francophones)
フランス語圏の国を旅行したときに困らないレベルのフランス語を身につけること。
(On fait en groupes les exercices proposés dans chaque leçon du manuel, en alternant activités écrites ou orales)
教科書の各課で提案される練習問題をグループで行います。筆記による練習問題と口頭によるアクティビティを行います。

授業内容	
L.1 初めてのフランス語	L.7人や物を描写する
L.1 初めてのフランス語	L.7人や物を描写する
L.2 国籍、職業、出身地を言う	L.8服を買う
L.2 国籍、職業、出身地を言う	L.8服を買う
L.3 話せる言語、専攻、好きなことを言う	L.9食料品を買う、数量を言う
L.3 話せる言語、専攻、好きなことを言う	L.9食料品を買う、数量を言う
L.4 住んでいる国や都市を言う、否定する	L.10位置関係を言う
L.4 住んでいる国や都市を言う、否定する	L.10位置関係を言う
L.5 持ち物、年齢を言う	L.11道順を説明する
L.5 持ち物、年齢を言う	L.11道順を説明する
L.6 日常について話す	L.12質問をする、予定について語る
L.6 日常について話す	L.12質問をする、予定について語る
Révision	Révision
まとめのテスト	まとめのテスト

履修上の注意

準備学習（予習・復習等）の内容
(Les activités orales sont aussi très importantes. C'est pourquoi il faut être très concentré et très actif lors des activités de groupes en classe. Mais ce travail doit être poursuivi à la maison par des révisions et un entraînement phonétique. Et bien sûr, il est demandé de réviser systématiquement le vocabulaire et les points de grammaire étudiés dans la leçon précédente avant d'arriver au cours. Les progrès que vous ferez dépendent tout simplement du temps que vous y avez consacré.)
口頭練習はとても大事です。ですから、もちろん授業ではしっかりペアで口頭練習をし、積極的に授業に参加して下さい。しかし、自宅での学習も重要です。自宅では、口頭練習やさまざまな復習をして下さい。また、前回の授業で学習した文法項目やボキャブラリーをしっかり復習して授業に臨むことが大事です。フランス語が上達するか否かは、日々の学習時間にかかっています。

教科書
タイトル：MAESTRO 1
著者：KITAMURA AYAKO; DURRENBERGER VINCENT
出版社：朝日出版社（Asahi Shuppansha）
価格：2700円 ISBN：978-4-255-35307-4 C1085

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法
(Examen final) (Contrôle continu)
期末試験 (kimatsu shiken) 小テスト (sho tesuto)
(Sont pris en compte la présence et la participation à 50%, et de petits tests à 50%).
成績は、出席と授業態度が30%、小テストが70%です。
(Dans ce cours, le plus important c'est la présence et la participation active.)
この授業では、出席して積極的に参加することが大切です。
(Attention les absences et retards répétés sont éliminatoires pour l'unité de valeur.)
欠席と遅刻が多い場合、単位は認定されません。
(Deux retards valent une absence.)
2回遅刻すると、欠席1回と見なします。
(Test écrit / Test oral)
筆記試験 (hikki shiken) / 口頭試験 (koutou shiken)

その他

科目ナンバー：(LP)LAN135N

■ 秋学期 ■ 1単位

フランス語会話ⅠB

担当者ドナティ、ジャンアレキシ

事前登録WEB登録

授業の概要・到達目標
(Tout en étudiant les bases de la grammaire française, on s'entraîne à parler en français de sa vie quotidienne et de ses centres d'intérêt. Pour parvenir à parler plus spontanément, on fait à deux des activités d'automatismes écrites ou orales.)
フランス語の基本文法を勉強しながら、自分自身の日常生活や興味を持っていることについてフランス語で話す練習をします。自然にフランス語が口について出るよう、教科書にそってペアでの会話練習とさまざまな練習問題を繰り返し行います。
(Les objectifs de ce cours sont les suivants)
この授業の目標は次のとおりです。
(Être capable de construire une proposition simple dans le respect de la syntaxe : rôles respectifs des noms, adjectifs, adverbess, articles, verbes, prépositions etc.)
フランス語の構文の規則（名詞、形容詞、副詞、冠詞、動詞、前置詞などの品詞の役割）に従って簡単な文を作れるようになること。
(Être capable de lier les différentes propositions entre elles de manière naturelle et logique)
複数の文を論理的かつ自然につなげられるようになること。
(Être capable d'écrire sans fautes d'orthographe)
スペルを間違えずに書けるようになること。
(Shabituier progressivement à la prononciation du français)
フランス語の発音に少しずつ慣れること。
(Acquérir les réflexes oraux nécessaires au bon déroulement d'une conversation courante en français)
会話をなめらかに展開させるために必要なフランス語の反射神経を身につけること。
(Pouvoir parler en français de sa vie quotidienne et de ses centres d'intérêt)
自分の日常生活や興味のあることについて、フランス語で話せるようになること。
(Savoir enchaîner sans hésiter les idées dans une conversation)
迷いなく自然にフランス語で会話を続けられるようになること。
(Acquérir des rudiments sur les spécificités de la culture française et ses différences avec la culture japonaise)
フランス文化の特性と、フランス文化と日本文化との違いについての基本的な知識を得ること。
(Acquérir suffisamment d'autonomie pour un voyage dans les pays francophones)
フランス語圏の国を旅行したときに困らないレベルのフランス語を身につけること。
(On fait en groupes les exercices proposés dans chaque leçon du manuel, en alternant activités écrites ou orales)
教科書の各課で提案される練習問題をグループで行います。筆記による練習問題と口頭によるアクティビティを行います。

授業内容	
L.13 L.12までの復習、天気、時刻 L.19 比較する	
L.13 L.12までの復習、天気、時刻 L.19 比較する	
L.14 自分の一日を語る L.20 過去の状態、習慣、感想について語る	
L.14 自分の一日を語る L.20 過去の状態、習慣、感想について語る	
L.15 今していること、したばかりのことを言う L.21 スポーツ、楽器、休暇中の活動について語る	
L.15 今していること、したばかりのことを言う L.21 スポーツ、楽器、休暇中の活動について語る	
L.16 過去の行為や出来事を語る(1) L.22 身体の状態を伝える、アドバイスを与える	
L.16 過去の行為や出来事を語る(1) L.22 身体の状態を伝える、アドバイスを与える	
L.17 過去の行為や出来事を語る(2) L.23 誘う、約束をする、頼みごとをする	
L.17 過去の行為や出来事を語る(2) L.23 誘う、約束をする、頼みごとをする	
L.18 過去の行為や出来事を語る(3) L.24 願望を伝える、予約する、交通手段を言う	
L.18 過去の行為や出来事を語る(3) L.24 願望を伝える、予約する、交通手段を言う	
Révision	Révision
まとめのテスト	まとめのテスト

履修上の注意

準備学習（予習・復習等）の内容
(Les activités orales sont aussi très importantes. C'est pourquoi il faut être très concentré et très actif lors des activités de groupes en classe. Mais ce travail doit être poursuivi à la maison par des révisions et un entraînement phonétique. Et bien sûr, il est demandé de réviser systématiquement le vocabulaire et les points de grammaire étudiés dans la leçon précédente avant d'arriver au cours. Les progrès que vous ferez dépendent tout simplement du temps que vous y avez consacré.)
口頭練習はとても大事です。ですから、もちろん授業ではしっかりペアで口頭練習をし、積極的に授業に参加して下さい。しかし、自宅での学習も重要です。自宅では、口頭練習やさまざまな復習をして下さい。また、前回の授業で学習した文法項目やボキャブラリーをしっかり復習して授業に臨むことが大事です。フランス語が上達するか否かは、日々の学習時間にかかっています。

教科書
タイトル：MAESTRO 1
著者：KITAMURA AYAKO; DURRENBERGER VINCENT
出版社：朝日出版社（Asahi Shuppansha）
価格：2700円 ISBN：978-4-255-35307-4 C1085

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法
(Examen final) (Contrôle continu)
期末試験 (kimatsu shiken) 小テスト (sho tesuto)
(Sont pris en compte la présence et la participation à 50%, et de petits tests à 50%).
成績は、出席と授業態度が30%、小テストが70%です。
(Dans ce cours, le plus important c'est la présence et la participation active.)
この授業では、出席して積極的に参加することが大切です。
(Attention les absences et retards répétés sont éliminatoires pour l'unité de valeur.)
欠席と遅刻が多い場合、単位は認定されません。
(Deux retards valent une absence.)
2回遅刻すると、欠席1回と見なします。
(Test écrit / Test oral)
筆記試験 (hikki shiken) / 口頭試験 (koutou shiken)

その他

科目ナンバー：(LP)LAN135N

■ 春学期 ■ 1単位



フランス語会話 I A

担当者

小谷 奈津子

授業の概要・到達目標

すでにフランス語の基礎文法を学んだ、あるいは今年度この講座と同時に基礎を学んでいる初級者対象の会話のクラスです。

基本的な文法事項を確認しながら、毎回のテーマに沿ったフレーズ・語彙・表現を学び、ロールプレイを行います。反復練習を通して、フランス語の発音やリズムに慣れ、日常生活で交わされるやさしい会話を理解し、身近なことについて表現できるようになることを目指します。

折に触れて、フランス語圏の文化にも触れていきます。楽しくフランス語を学びましょう。

授業内容

目安としてテーマを挙げておきます。学習の進度により、変更することもあります。

詩・シャンソン、仏検のテキスト、視聴覚教材なども適宜用いていきます。

第1回 イントロダクション / 発音・名前

第2回 住んでいる場所・数詞

第3回 住んでいる場所・数詞

第4回 数詞・年齢・職業

第5回 数詞・年齢・職業

第6回 国籍・電話番号

第7回 国籍・電話番号

第8回 好き嫌い

第9回 時刻・交通手段

第10回 一日の出来事

第11回 曜日・習慣

第12回 位置・国名

第13回 方位・天候

第14回 (A) 口頭発表試験 (B) まとめ

履修上の注意

仏和辞典を持参すること。

会話の授業ですから積極的な授業参加を重視します。間違いを恐れず、発音練習やワークに取り組みましょう。

準備学習（予習・復習等）の内容

授業で習った文章について課題を出しますので、復習にも力を注いでください。

覚えることが多いので、日々の積み重ねが重要です。

教科書

プリント配布します。

参考書

必要に応じて授業中に紹介します。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業への積極的参加・課題提出（60%）、口頭発表（40%）

その他

科目ナンバー：(LP)LAN135N

■ 秋学期 ■ 1単位



フランス語会話 I B

担当者

小谷 奈津子

授業の概要・到達目標

すでにフランス語の基礎文法を学んだ、あるいは今年度この講座と同時に基礎を学んでいる初級者対象の会話のクラスです。

春学期に引き続き、基本的な文法事項を確認しながら、毎回のテーマに沿ったフレーズ・語彙・表現を学び、ロールプレイを行います。反復練習を通して、フランス語の発音やリズムに慣れ、日常生活で交わされるやさしい会話を理解し、身近なことについて表現できるようになることを目指します。

授業内容

目安としてテーマを挙げておきます。学習の進度により、変更することもあります。

詩・シャンソン、仏検のテキスト、視聴覚教材なども適宜用いていきます。

第1回 イントロダクション / 自己紹介

第2回 場所をたずねる

第3回 12ヶ月・複合過去、半過去

第4回 昨日の出来事

第5回 過去のことを語る

第6回 人生を語る

第7回 休暇中の出来事

第8回 他人のことを語る

第9回 色や形を説明する

第10回 性格

第11回 好き嫌い

第12回 過去のことを質問・返答する

第13回 ～のように思う・感じる

第14回 (A) 口頭発表試験 (B) まとめ

履修上の注意

仏和辞典を必ず持参すること。

積極的な授業参加を重視しますので、間違いを恐れず、発音練習やワークに取り組みましょう。

準備学習（予習・復習等）の内容

授業で習ったことについて課題を出しますので、復習にも力を注いでください。

教科書

プリントを配布します。

参考書

必要に応じて授業中に紹介します。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業への積極的参加・課題提出（60%）、口頭発表（40%）

その他

<div>科目ナンバー：(LP)LAN235N</div> <div>■ 春学期 ■ 1単位</div> <div>フランス語会話Ⅱ A</div> <div>担当者ベルナール ミルティル</div>	<div>科目ナンバー：(LP)LAN235N</div> <div>■ 秋学期 ■ 1単位</div> <div>フランス語会話Ⅱ B</div> <div>担当者ベルナール ミルティル</div>
<div>授業の概要・到達目標</div> <p>会話、発音、読解、聞き取りの力を総合的に高めるための授業です。</p> <p>この授業では、フランス語で日常生活を送るのに必要なコミュニケーション能力を身につけ、実際にフランス人と出会った時に自信をもって話せるようになることを目指します。ポイントは、とにかく楽しみながら「フランス語で学ぶ」ことです。</p> <div>授業内容</div> <p>初級文法を復習しながら、現在使われている生きたフランス語のしくみをきちんと理解し、それを確実に自分のものにすることがフランス語学習の大事な基盤となります。</p> <p>中心となるテーマは春学期と同じく「自分について語ること」です。例えば、自分自身、週末の過ごし方、最近見た映画、旅行、趣味、好み等についてです。</p> <p>具体的に必要な状況を想定して語彙や言い回しを補い、会話の練習を繰り返します。</p> <p>間違いを恐れず積極的に授業に参加し、フランス語学習を楽しんでくれることを大いに期待しています。</p> <div>第1回 授業ガイダンスとフランス・フランス語の紹介</div> <div>第2回 テーマ1</div> <div>第3回 テーマ2</div> <div>第4回 テーマ3</div> <div>第5回 テーマ4</div> <div>第6回 テーマ5</div> <div>第7回 テーマ6</div> <div>第8回 テーマ7</div> <div>第9回 テーマ8</div> <div>第10回 テーマ9</div> <div>第11回 テーマ10</div> <div>第12回 テーマ11</div> <div>第13回 テーマ12</div> <div>第14回 春学期の復習とまとめ</div> <div>履修上の注意</div> <p>間違いを恐れず積極的に授業に参加しましょう。なるべく大きな声ではっきりと発音すること、わからない時は恥ずかしがらずにすぐ質問することをお勧めします。</p> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <p>会話の勉強においては、必ず予習・復習をして積極的に授業に参加し、真面目に出席することが必要です。</p> <div>教科書</div> <p>特になし</p> <div>参考書</div> <p>学生の学習意欲・興味のある分野等に応じて、希望者には参考文献を紹介します。</p> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>成績評価の方法</div> <p>課題提出、小レポートなどにより総合的に評価を行います。</p> <div>その他</div> <p>フランス語を通して、フランス文化、およびフランスの習慣を学ぶことができます。</p>	<div>授業の概要・到達目標</div> <p>会話、発音、読解、聞き取りの力を総合的に高めるための授業です。</p> <p>この授業では、フランス語で日常生活を送るのに必要なコミュニケーション能力を身につけ、実際にフランス人と出会った時に自信をもって話せるようになることを目指します。ポイントは、とにかく楽しみながら「フランス語で学ぶ」ことです。</p> <div>授業内容</div> <p>春学期に引き続いて、初級文法を復習しながら、更に発展した内容を学習します。</p> <p>中心となるテーマは春学期と同じく「自分について語ること」です。例えば、自分自身、週末の過ごし方、最近見た映画、旅行、趣味、好み等についてです。</p> <p>具体的に必要な状況を想定して語彙や言い回しを補い、会話の練習を繰り返します。間違いを恐れず積極的に授業に参加し、フランス語学習を楽しんでくれることを大いに期待しています。</p> <div>第1回 授業ガイダンスとフランス・フランス語の紹介</div> <div>第2回 テーマ1</div> <div>第3回 テーマ2</div> <div>第4回 テーマ3</div> <div>第5回 テーマ4</div> <div>第6回 テーマ5</div> <div>第7回 テーマ6</div> <div>第8回 テーマ7</div> <div>第9回 テーマ8</div> <div>第10回 テーマ9</div> <div>第11回 テーマ10</div> <div>第12回 テーマ11</div> <div>第13回 テーマ12</div> <div>第14回 秋学期の復習とまとめ</div> <div>履修上の注意</div> <p>間違いを恐れず積極的に授業に参加しましょう。なるべく大きな声ではっきりと発音すること、わからない時は恥ずかしがらずにすぐ質問することをお勧めします。</p> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <p>会話の勉強においては、必ず予習・復習をして積極的に授業に参加し、真面目に出席することが必要です。</p> <div>教科書</div> <p>特になし</p> <div>参考書</div> <p>学生の学習意欲・興味のある分野等に応じて、希望者には参考文献を紹介します。</p> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>成績評価の方法</div> <p>課題提出、小レポートなどにより総合的に評価を行います。</p> <div>その他</div> <p>フランス語を通して、フランス文化、およびフランスの習慣を学ぶことができます。</p>

科目ナンバー：(LP)LAN335N ■ 春学期 ■ 1単位	
フランス語会話ⅢA 担当者 ベルナール ミルティル	
授業の概要・到達目標 会話，発音，読解，聞き取りの力を総合的に高めるための授業です。 この授業では，フランス語で日常生活を送るのに必要なコミュニケーション能力を身につけ，実際にフランス人と出会った時に自信をもって話せるようになることを目指します。ポイントは，勉強を楽しみ，「フランス語で学ぶ」ことです。 現在使われている生きたフランス語のしぐみをきちんと理解し，それを確実に自分のものにすることがフランス語学習の大事な基盤となります。教科書を用いながらも，具体的に必要な状況を想定して語彙や言い回しを補い，会話の練習を繰り返します。 教科書の各課のフランス語会話には日本語訳がついており，使われている単語1つ1つの意味は巻末の単語集にまとめてありますから，辞書を引く時間を他のより有効な学習に回せます。	
授業内容 語学学習の基本は繰り返しです。それに加えて毎回様々な異なる手法（隣の人との会話，教師との会話，教師による解説など）を取り入れることによって，バラエティーに富んだ内容を提供します。しかし，何と言っても重要なのは，皆さんの熱意（具体的にはしっかり復習しているかどうか！）です。 第1回 授業ガイダンスとテーマの紹介 第2回 空港で 第3回 パリの空港 第4回 地下鉄で(1) 第5回 地下鉄で(2) 第6回 パリの交通機関 第7回 通りで 第8回 パリの通りと住所表示 第9回 レストランで(1) 第10回 レストランで(2) 第11回 フランスのレストラン 第12回 旅行代理店で(1) 第13回 旅行代理店で(2) 第14回 春学期復習と試験	
履修上の注意 間違いを恐れず積極的に授業に参加しましょう。なるべく大きな声ではっきりと発音すること，わからない時は恥ずかしがらずにすぐ質問することをお勧めします。	
準備学習（予習・復習等）の内容 会話の勉強においては，必ず予習・復習をして積極的に授業に参加し，真面目に出席することが必要です。	
教科書 『セース ドゥ ヴィ』“Scènes de vie pour la communication” 倉方秀憲 著 早美出版社 2200円	
参考書 学生の学習意欲・興味のある分野等に応じて，希望者には参考文献を紹介します。	
課題に対するフィードバックの方法	
成績評価の方法 課題提出，小レポートなどにより総合的に評価を行います。	
その他 今後の状況によっては，授業計画等に更なる変更が生じる可能性があります。	

科目ナンバー：(LP)LAN335N ■ 秋学期 ■ 1単位	
フランス語会話ⅢB 担当者 ベルナール ミルティル	
授業の概要・到達目標 会話，発音，読解，聞き取りの力を総合的に高めるための授業です。 この授業では，フランス語で日常生活を送るのに必要なコミュニケーション能力を身につけ，実際にフランス人と出会った時に自信をもって話せるようになることを目指します。ポイントは，勉強を楽しみ，「フランス語で学ぶ」ことです。 春学期と同じく現在使われている生きたフランス語のしぐみをきちんと理解し，それを確実に自分のものにすることがフランス語学習の大事な基盤となります。教科書を用いながらも，具体的に必要な状況を想定して語彙や言い回しを補い，会話の練習を繰り返します。 教科書の各課のフランス語会話には日本語訳がついており，使われている単語1つ1つの意味は巻末の単語集にまとめてありますから，辞書を引く時間を他のより有効な学習に回せます。	
授業内容 語学学習の基本は繰り返しです。それに加えて毎回様々な異なる手法（隣の人との会話，教師との会話，教師による解説など）を取り入れることによって，バラエティーに富んだ内容を提供します。しかし，何と言っても重要なのは，皆さんの熱意（具体的にはしっかり復習しているかどうか！）です。 第1回 授業ガイダンスとテーマの紹介 第2回 お店で(1) 第3回 お店で(2) 第4回 フランスのデパート 第5回 ホテルで 第6回 フランスのホテル 第7回 郵便局で 第8回 フランスの郵便 第9回 電話で(1) 第10回 電話で(2) 第11回 フランスの電話 第12回 両替所で 第13回 両替と通貨 第14回 秋学期復習と試験	
履修上の注意 間違いを恐れず積極的に授業に参加しましょう。なるべく大きな声ではっきりと発音すること，わからない時は恥ずかしがらずにすぐ質問することをお勧めします。	
準備学習（予習・復習等）の内容 会話の勉強においては，必ず予習・復習をして積極的に授業に参加し，真面目に出席することが必要です。	
教科書 『セース ドゥ ヴィ』“Scènes de vie pour la communication” 倉方秀憲 著 早美出版社 2200円	
参考書 学生の学習意欲・興味のある分野等に応じて，希望者には参考文献を紹介します。	
課題に対するフィードバックの方法	
成績評価の方法 課題提出，小レポートなどにより総合的に評価を行います。	
その他 今後の状況によっては，授業計画等に更なる変更が生じる可能性があります。	

<div> 科目ナンバー：(LP)LAN335N <div> ■ 春学期 ■ 1単位 </div> <div> 国際理解講座・フランス語圏A </div> <div> 担当者 ベルテ、ディディエ </div> </div>	<div> 科目ナンバー：(LP)LAN335N <div> ■ 秋学期 ■ 1単位 </div> <div> 国際理解講座・フランス語圏B </div> <div> 担当者 ベルテ、ディディエ </div> </div>
<div> <div>授業の概要・到達目標</div> <div> この授業の主な目的は、 <ol style="list-style-type: none"> 1) 短期・長期留学、フランスへの旅行を考えている学生に、フランスの文化、社会、習慣、考え方、フランスの現状、日常生活、いろいろな手続きなどについて知識を与えることです。 2) 留学・旅行に限らず、フランスのことをより深く勉強したい学生には、様々な材料を使い、フランス及びフランス人をよりよく理解できるように努めます。 フランスの文化については、伝統、歴史はもちろん、なるべく時事的な材料（雑誌の記事、インターネットなど）を使って、現在のフランスの紹介もします。また学生が興味をもつテーマを訊いて、それに合わせたオリジナルテキストを作って提供します。他の授業と重複しないように気を配ります。 フランス語の文章を出発点として、大事な表現・単語を説明した後、学生に使わせます。一方的な授業ではなく、学生の積極的な参加が望ましいです。読む、聞く、話すという三本柱で成り立つ授業です。(時には映像を使うこともあります) そして学生のレヴェルに合わせて、復習として文法の練習問題も用意します。 </div> <div> <div>授業内容</div> <div> 第1回：自己紹介など 第2回：フランス本土と地域 第3回：フランスの地方と特徴 第4回：フランスの海外県と海外領土・フランコフォニ 第5回：フランスの暦、祭り(1) 第6回：カレンダーと祭り(2) 第7回：フランス人と家族(1) 第8回：フランス人と家族(2) 第9回：La Fête de la Musique 第10回：La Fête du Cinéma 第11回：フランスの祭り 第12回：フランス人とバカンス(1) 第13回：フランス人とバカンス(2) 第14回：テストとまとめ </div> </div> <div> <div>履修上の注意</div> <div> すでに基本的な文法は学習済みだと思いますが、文法の難しい点などをこの授業で復習します。たくさんの問題集を用意しますので、授業中あるいは課題として文法の練習をします。 また、学生の質問に答えますので、気楽に質問してください。出席と授業への積極的な参加を重視します。 Q&A形式で、学生にはどんどん発言してもらい、イキイキとした教室にしたいと思います。 </div> </div> <div> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div> 文法とヴォキャブラリーを常に復習しましょう。 </div> </div> <div> <div>教科書</div> <div> 毎回、用意したプリントを配布します。 </div> </div> <div> <div>参考書</div> <div></div> </div> <div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div></div> </div> <div> <div>成績評価の方法</div> <div> 出席、授業への取り組み、レポート課題を総合的に評価します。 </div> </div> <div> <div>その他</div> <div> 留学、旅行についての相談を受け付けます。 </div> </div> </div>	<div> <div>授業の概要・到達目標</div> <div> この授業の主な目的は、 <ol style="list-style-type: none"> 1) 短期・長期留学、フランスへの旅行を考えている学生に、フランスの文化、社会、習慣、考え方、フランスの現状、日常生活、いろいろな手続きなどについて知識を与えることです。 2) 留学・旅行に限らず、フランスのことをより深く勉強したい学生には、様々な材料を使い、フランス及びフランス人をよりよく理解できるように努めます。 フランスの文化については、伝統、歴史はもちろん、なるべく時事的な材料（雑誌の記事、インターネットなど）を使って、現在のフランスの紹介もします。また学生が興味をもつテーマを訊いて、それに合わせたオリジナルテキストを作って提供します。他の授業と重複しないように気を配ります。 フランス語の文章を出発点として、大事な表現・単語を説明した後、学生に使わせます。一方的な授業ではなく、学生の積極的な参加が望ましいです。読む、聞く、話すという三本柱で成り立つ授業です。(時には映像を使うこともあります) そして学生のレヴェルに合わせて、復習として文法の練習問題も用意します。 </div> <div> <div>授業内容</div> <div> 第1回：la rentrée et le système éducatif français 第2回：La Nuit Blanche 第3回：Le travail en France 第4回：La savoir-vivre et la politesse 第5回：Les différences culturelles 第6回：Les habitudes alimentaires 第7回：Les activités culturelles et sportives, les loisirs 第8回：La politique 第9回：Lyon et la Fête des Lumières 第10回：Questions d'actualité (1) 第11回：Questions d'actualité (2) 第12回：Noël et le Nouvel An 第13回：Les résolutions 第14回：テストとまとめ </div> </div> <div> <div>履修上の注意</div> <div> すでに基本的な文法は学習済みだと思いますが、文法の難しい点などをこの授業で復習します。たくさんの問題集を用意しますので、授業中あるいは課題として文法の練習をします。 また、学生の質問に答えますので、気楽に質問してください。出席と授業への積極的な参加を重視します。 Q&A形式で、学生にはどんどん発言してもらい、イキイキとした教室にしたいと思います。 </div> </div> <div> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div> 文法とヴォキャブラリーを常に復習しましょう。 </div> </div> <div> <div>教科書</div> <div> 毎回、用意したプリントを配布します。 </div> </div> <div> <div>参考書</div> <div></div> </div> <div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div></div> </div> <div> <div>成績評価の方法</div> <div> 出席、授業への取り組み、レポート課題を総合的に評価します。 </div> </div> <div> <div>その他</div> <div> 留学、旅行についての相談を受け付けます。 </div> </div> </div>

科目ナンバー：(LP)LAN165N

■ 春学期 ■ 1単位

中国語会話ⅠA

担当者 将邑 剣平

事前



科目ナンバー：(LP)LAN165N

■ 秋学期 ■ 1単位

中国語会話ⅠB

担当者 将邑 剣平

事前



授業の概要・到達目標

中国語の会話に必要な基本的な知識と実技を確実に身につけるための授業である。

中国語を聞いて正確にリピートする力や記録することができる力、辞書などを用いながら中国語で積極的に話すことができる力、簡単な中国語による会話力を養成することを目指す。

現在広く利用されている中国語辞書はピンイン表記に従ってアルファベット順に文字、語彙が配列されているので、音節の綴りと発音の要領をしっかりと身につけることは、中国語の習得に欠かせない前提である。4月と5月は、話したい内容が正確に伝えられるように、中国語の発音のスキルを常にチェックし、中国で定められたピンインと呼ばれるローマ字による音声表記に基づき、正しく発音すること及び中国語の音声記録することができるまで、発音の練習・リスニング練習に多くの時間が割かれる。

文法・語彙については、それぞれ使用される教科書の配列に従って学ぶことになる。学習した語彙・文法のポイントなどを実際に応用できるように、常にその場で繰り返し練習し日常会話を身につける。

授業内容

中国語を使えるようにするには、かなりの努力と集中力が必要である。予習・復習が非常に重要視される授業なので、毎回の授業は小テストから始めることになる。

第1回	イントロダクション
第2回	発音1 第1課 请多关照！
第3回	発音1 第1課 请多关照！
第4回	発音2 第2課 你去哪儿？
第5回	発音2 第2課 你去哪儿？
第6回	発音3 第3課 这是什么？
第7回	発音3 第3課 这是什么？
第8回	第4課 你有课吗？
第9回	第4課 你有课吗？
第10回	第5課 你家在哪儿？
第11回	第5課 你家在哪儿？
第12回	第6課 暑假做什么了？
第13回	第6課 暑假做什么了？
第14回	まとめなど

履修上の注意

授業は中国語を聞いてピンインで正しく記録し、美しく発音できることを目標に行う。授業時に必ず辞書を持参すること。

語学学習に予習・復習は欠かせない。授業は予習・復習がされていることを前提に行う。

準備学習（予習・復習等）の内容

語学学習に予習・復習は欠かせない。中国語を美しく発音できることを目標にして、予習・復習をして授業に参加する。

授業にのぞむにあたって、予め語彙の意味をおさえ、文法事項を出来るだけ調べておく。声をしっかり出して、新出語句をはじめ、例文や本文などを暗記するほど繰り返し読む。授業が終わった後は宿題をやりながら、学習した内容を復習し、更に実際に使ってみて、応用できるようにする。

準備学習・復習時間は、毎日それぞれ少なくとも20分ずつ行い、週に4時間を標準とする。

教科書

『シンプルチャイニーズ 東京 会話編』 早稲田大学理工学術院中国語部会 編（朝日出版社） 2,530円（本体2,300円+税）

参考書

相原茂／石田知子／戸沼市子 『why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 同学生社

その他自習用テキスト等は、必要に応じて教室で指示する。

課題に対するフィードバックの方法

授業時間内で講評・解説する予定ですが、できない場合は大学サイトのクラスページでフィードバックを行う。

成績評価の方法

毎回の小テストおよび発表点で評価する。

授業の3分の1以上欠席の場合は評価不可とする。遅刻3回で欠席1回と計算され、大幅な遅刻は欠席とみなす。

履修登録する前に必ず確認してください。

準備学習ができない方は評価対象外とするので、必ず準備学習ができることを確認してから履修してください。

その他

実際の授業の状況に応じ、内容を変更することが有る。

教科書を持ってこない場合は欠席扱いとなる。

また無断退出も欠席扱いとなる。

授業の概要・到達目標

今まで学んだ中国語の知識を基礎として、さらに表現の幅を広げながら、主に「聞く・話す」能力を強化していく。言葉の背景にある中国人のものの考え方にも触れながら、さまざまな表現を覚え、きれいな中国語を身につけよう。中国語を聞いて正確にリピートすることが記録することが確実にできる能力、辞書などを用いて中国語で簡単な自己紹介や簡易な会話ができる能力を養成する。

授業内容

中国語を使えるようにするには、かなりの努力と集中力が必要である。予習・復習が非常に重要視される授業なので、毎回の授業は小テストから始めることになる。

第1回	第7課	祝你生日快乐！
第2回	第7課	祝你生日快乐！
第3回	第8課	你会打乒乓球吗？
第4回	第8課	你会打乒乓球吗？
第5回	第9課	味道怎么样？
第6回	第9課	味道怎么样？
第7回	第10課	我家离学校不太远。
第8回	第10課	我家离学校不太远。
第9回	第11課	你在干什么呢？
第10回	第11課	你在干什么呢？
第11回	第12課	你都准备好了吗？
第12回	第12課	你都准备好了吗？
第13回	寸劇作り	
第14回	発表	

履修上の注意

授業は中国語を聞いてピンインで正しく記録できることを前提に行う。授業時に必ず辞書を持参すること。

語学学習に予習・復習は欠かせない。授業は予習・復習がされていることを前提に行う。

準備学習（予習・復習等）の内容

語学学習に予習・復習は欠かせない。中国語を美しく発音できることを目標にして、予習・復習をして授業に参加する。

授業にのぞむにあたって、予め語彙の意味をおさえ、文法事項を出来るだけ調べておく。声をしっかり出して、新出語句をはじめ、例文や本文などを暗記するほど繰り返し読む。授業が終わった後は宿題をやりながら、学習した内容を復習し、更に実際に使ってみて、応用できるようにする。

準備学習・復習時間は、毎日それぞれ少なくとも20分ずつ行い、週に4時間を標準とする。

教科書

『シンプルチャイニーズ 東京 会話編』 早稲田大学理工学術院中国語部会 編（朝日出版社） 2,530円（本体2,300円+税）

参考書

相原茂／石田知子／戸沼市子著、『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』、同学生社

その他自習用テキスト等は、必要に応じて教室で指示する。

課題に対するフィードバックの方法

授業時間内で講評・解説する予定ですが、できない場合は大学サイトのクラスページでフィードバックを行う。

成績評価の方法

毎回の小テストおよび発表点で評価する。

授業の3分の1以上欠席の場合は評価不可とする。遅刻3回で欠席1回と計算され、大幅な遅刻は欠席とみなす。

履修登録する前に必ず確認してください。

準備学習ができない方は評価対象外とするので、必ず準備学習ができることを確認してから履修してください。

その他

実際の授業の状況に応じ、内容を変更することが有る。

教科書を持ってこない場合は欠席扱いとなる。

また無断退出も欠席扱いとなる。

科目ナンバー：(LP)LAN165N

■ 春学期 ■ 1単位

中国語会話ⅠA

担当者 洪 潔清



授業の概要・到達目標

この授業は初めて中国語を学習する学生を対象とする。中国語の基礎文法を学びながら、簡単な日常会話を身につけていくことを目的とする。春学期中国語会話ⅠAでは、ピンイン（中国語の表音字母）を正しく発音できることや、挨拶の言葉と簡単なフレーズを覚えることを目標とし、秋学期中国語会話ⅠBでは、中国語の基礎文法を学習した上で、日常生活に使う初級レベルの会話を身につけることを目標とする。また、日中異文化動画や最新の中国事情を紹介することができる。

授業内容

- 第1回：a イントロダクション、b 単母音、複母音
第2回：子音、挨拶の言葉(1)
第3回：鼻音、挨拶の言葉(2)
第4回：発音総合復習 発音テスト 第5課 どうぞよろしく 文法事項 会話練習
第5回：第5課 本文学習 リスニング練習
第6回：第6課 お名前は 文法事項 会話練習
第7回：第6課 本文学習 リスニング練習
第8回：第7課 ご出身は 文法事項 会話練習
第9回：第7課 本文学習 リスニング練習
第10回：第8課 飲み物は 文法事項 会話練習
第11回：第8課 本文学習 リスニング練習
第12回：第9課 おいくつ 文法事項 会話練習
第13回：第9課 本文学習 リスニング練習
第14回：a 総合復習、b 期末試験

履修上の注意

公欠届などがなければ、無断欠席と扱う。三分の二以上の出席回数に満たさないと期末試験の受験資格がなくなるので、ご注意ください。

準備学習（予習・復習等）の内容

毎回必ず予習と復習をすること。これも評価の一環となる。

教科書

『日中いぶこみ交差点』 エssenシャル版 相原 茂等 朝日出版社
ISBN：978-4-255-45314-9
エssenシャル版,ISBNをご確認のうえご購入ください。

参考書

課題に対するフィードバックの方法

共通の内容に対しては授業中に対応する。個々の内容の場合は個別でメールまたは授業後に対応する。

成績評価の方法

発音テスト30%、平常点30%（一課ごとの単語テストの成績）、期末試験40%（最終授業日内に実施する）の割合で評価する。

その他

既修者は事前に教務課にレベル確認を勧める。

科目ナンバー：(LP)LAN165N

■ 秋学期 ■ 1単位

中国語会話ⅠB

担当者 洪 潔清



授業の概要・到達目標

この授業は初めて中国語を学習する学生を対象とする。中国語の基礎文法を学びながら、簡単な日常会話を身につけていくことを目的とする。春学期中国語会話ⅠAでは、ピンイン（中国語の表音字母）を正しく発音できることや、挨拶の言葉と簡単なフレーズを覚えることを目標とし、秋学期中国語会話ⅠBでは、中国語の基礎文法を学習した上で、日常生活に使う初級レベルの会話を身につけることを目標とする。また、日中異文化動画や最新の中国事情を紹介することができる。

授業内容

- 第1回：春学期第5課～第9課 春学期学習した内容の復習
第2回：第10課 和食はいかが 文法事項 会話練習
第3回：第10課 本文学習 リスニング練習
第4回：第11課 家庭訪問 文法事項 会話練習
第5回：第11課 本文学習 リスニング練習
第6回：第12課 買物 文法事項 会話練習
第7回：第12課 本文学習 リスニング練習
第8回：第13課 道案内 文法事項 会話練習
第9回：第13課 本文学習 リスニング練習
第10回：第14課 中秋節 文法事項 会話練習
第11回：第14課 本文学習 リスニング練習
第12回：第15課 食事の前は 文法事項 会話練習
第13回：第15課 本文学習 リスニング練習
第14回：a 総合復習、b 期末試験

履修上の注意

公欠届などがなければ、無断欠席と扱う。三分の二以上の出席回数に満たさないと期末試験の受験資格がなくなるので、ご注意ください。

準備学習（予習・復習等）の内容

毎回必ず予習と復習をすること。これも評価の一環となる。

教科書

『日中いぶこみ交差点』 エssenシャル版 相原 茂等 朝日出版社
ISBN：978-4-255-45314-9
エssenシャル版,ISBNをご確認のうえご購入ください。

参考書

課題に対するフィードバックの方法

共通の内容に対しては授業中に対応する。個々の内容の場合は個別でメールまたは授業後に対応する。

成績評価の方法

平常点40%（一課ごとの単語テストの成績）、期末試験60%（最終授業日内に実施する）の割合で評価する。

その他

既修者は事前に教務課を通してレベル確認を勧める。

科目ナンバー：(LP)LAN165N

■ 春学期 ■ 1単位

中国語会話ⅠA

担当者 劉 光赤



授業の概要・到達目標

この科目は、発音、聞き取り、会話の力を総合的に高めるための授業です。日常生活に役立つ文型や表現を繰り返し練習することによって、中国語の基礎をしっかりと身につけ、簡単な日常会話や自己紹介が可能になります。

授業内容

テキストでは一人で中国を旅行する日本人留学生中西君を軸に自己紹介やホテルのチェックイン、注文、買い物、マッサージ、スポーツ観戦など中国で必ず出会う場面を取り上げています。授業ではテキストの内容を熟読した上に、毎回ペアの会話練習とヒヤリングの訓練を同時に行います。中国理解を深めるためのビデオを数回見て、日中文化の違いなどを紹介します。

第1回：こんにちは 挨拶言葉

発音①

第2回：また明日 挨拶言葉

発音②

第3回：ありがとう 挨拶言葉

発音③

第4回：お久しぶり 挨拶言葉

発音④

第5回：出迎える

ポイントの学習

第6回：ドリル

会話練習

第7回：歓迎会

ポイントの学習

第8回：ドリル

会話練習

第9回：タクシーに乗る

ポイントの学習

第10回：ドリル

会話練習

第11回：宿泊する

ポイントの学習

第12回：ドリル

会話練習

第13回：道をたずねる

ポイントの学習

第14回：a まとめ

b 試験

授業の進度と毎回の内容は必要に応じて調整することがあります。

履修上の注意

春学期のみの受講も可能です。真面目に授業に取り組んで最後まで出席することを期待します。

準備学習（予習・復習等）の内容

教科書内容の映像や音声などを最大限に活用して、予習と復習に取り組みましょう。課題をきちんと完成しましょう。

教科書

『しゃべっていいとも中国語』 トータル版

陳淑梅・劉光赤 著 朝日出版社

参考書

日中、中日辞典

課題に対するフィードバックの方法

授業内の確認、またはo-meijiからの提出を併用します。

成績評価の方法

定期試験50%、授業への参加度と課題の完成度50%で評価します。

その他

第一回目の授業は授業のやり方と成績評価の基準について話す予定です。必ず出席してください。

科目ナンバー：(LP)LAN165N

■ 秋学期 ■ 1単位

中国語会話ⅠB

担当者 劉 光赤



授業の概要・到達目標

この科目は、発音、聞き取り、会話の力を総合的に高めるための授業です。日常生活に役立つ文型や表現を繰り返し練習することによって、中国語の基礎をしっかりと身につけます。中国語で楽しくコミュニケーションを行い、より充実した内容の自己紹介が可能になります。

授業内容

テキストでは一人で中国を旅行する日本人留学生中西君を軸に自己紹介やホテルのチェックイン、注文、買い物、マッサージ、スポーツ観戦など中国で必ず出会う場面を取り上げています。授業ではテキストの内容を熟読した上に、毎回ペアの会話練習とヒヤリングの訓練を同時に行います。中国理解を深めるためのビデオを数回見て、日中文化の違いなどを紹介します。

第1回：ショッピングをする

ポイントの学習

第2回：ドリル

会話練習

第3回：おしゃべりをする

ポイントの学習

第4回：ドリル

会話練習

第5回：料理を注文する

ポイントの学習

第6回：ドリル

会話練習

第7回：サッカーのチケットを買う

ポイントの学習

第8回：ドリル

会話練習

第9回：マッサージ

ポイントの学習

第10回：ドリル

会話練習

第11回：インターネット

ポイントの学習

第12回：ドリル

会話練習

第13回：電話をかける

ポイントの学習

第14回：a まとめ

b 試験

授業の進度と毎回の内容は必要に応じて調整することがあります。

履修上の注意

秋学期からの受講も可能です。真面目に授業に取り組んで最後まで出席することを期待します。

準備学習（予習・復習等）の内容

教科書内容の映像や音声などを最大限に活用して、予習と復習に取り組みましょう。課題をきちんと完成しましょう。

教科書

『しゃべっていいとも中国語』 トータル版

陳淑梅・劉光赤著 朝日出版社

参考書

日中、中日辞典

課題に対するフィードバックの方法

授業内の確認、またはo-meijiからの提出を併用します。

成績評価の方法

定期試験50%、授業への参加度と課題の完成度50%で評価します。

その他

第一回目の授業は授業のやり方と成績評価の基準について話す予定です。必ず出席してください。

科目ナンバー：(LP)LAN165N

■ 春学期 ■ 1単位

中国語会話ⅠA

担当者 許 家晟



科目ナンバー：(LP)LAN165N

■ 秋学期 ■ 1単位

中国語会話ⅠB

担当者 許 家晟



授業の概要・到達目標

中国語を初めて学習する者が対象です。この授業では、中国語の発音をはじめ、基本的な語彙・表現・文法を学習します。

教科書にもとづき、中国語の発音や基礎的な語彙、日常会話などの学習・練習を行ない、一年間で簡単な日常会話ができるようになることを目指します。また、より理解しやすく、習得しやすいため、歴史や社会・文化に関連することについても説明します。

授業内容

- [第1回] 中国語を学ぶ上での留意点、発音〈1〉：声調、単母音、複母音、あいさつ〈1〉
- [第2回] 発音〈2〉：子音、有気音、無気音、そり舌音、あいさつ〈2〉
- [第3回] 発音〈3〉：鼻音を伴う母音、声調の組み合わせ、あいさつ〈3〉
- [第4回] 発音〈4〉：発音の強化練習および総復習
- [第5回] 第1課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第6回] 第2課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第7回] 第3課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第8回] 復習〈1〉：第1～3課の復習
- [第9回] 第4課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第10回] 第5課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第11回] 第6課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第12回] 復習〈2〉：第1～6課
- [第13回] 学習状況の確認（口頭形式）
- [第14回] a：筆記試験 b：講義全体の振り返りと試験の正答解説

履修上の注意

開講前に必ず教科書を用意してください。
毎回、出席を取ります。特別な事情がない限り、遅刻や欠席は減点の対象となります。

準備学習（予習・復習等）の内容

毎回、リスニング小テストを行いますので、授業までに復習すること。

教科書

『中国語の基礎づくり』（楊凱栄・張麗群、白帝社、2016年初版第4刷）

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

期末テスト（70%）、小テスト（30%）に出席状況を加味して総合点を算出し、60点以上を合格とします。5回以上欠席した者は単位を認めません。出席点はありませんが、欠席および遅刻がある場合、総合点から減点します。欠席は1回につき3点、遅刻は1回につき2点という基準で減点します。

その他

授業の概要・到達目標

春学期の「中国語Ⅰb」を履修した人が対象です。この授業では、中国語の基本的な語彙・表現・文法を学習します。

それぞれの意味の理解はもちろん、いつ、だれと、どのような話をするときに、どのように使えるかを意識的に考え、それらを使って、言いたいことを中国語で伝えられる力をつけることが目標です。

授業内容

- [第1回] 第7課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第2回] 第8課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第3回] 第9課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第4回] 復習〈1〉：第7～9課の復習
- [第5回] 第10課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第6回] 第11課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第7回] 第12課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第8回] 復習〈2〉：第10～12課の復習
- [第9回] 第13課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第10回] 第14課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第11回] 第15課 単語、文法ポイント、本文、トレーニング
- [第12回] 復習〈3〉：第13～15課
- [第13回] 学習状況の確認（口頭形式）
- [第14回] a：筆記試験 b：講義全体の振り返りと試験の正答解説

履修上の注意

開講前に必ず教科書を用意してください。
毎回、出席を取ります。特別な事情がない限り、遅刻や欠席は減点の対象となります。

準備学習（予習・復習等）の内容

毎回、リスニング小テストを行いますので、授業までに復習すること。

教科書

『中国語の基礎づくり』（楊凱栄・張麗群、白帝社、2016年初版第4刷）

参考書

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

期末テスト（70%）、小テスト（30%）に出席状況を加味して総合点を算出し、60点以上を合格とします。5回以上欠席した者は単位を認めません。出席点はありませんが、欠席および遅刻がある場合、総合点から減点します。欠席は1回につき3点、遅刻は1回につき2点という基準で減点します。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN265N ■ 春学期 ■ 1単位	
中国語会話Ⅱ A	
担当者 顧 銘	
授業の概要・到達目標 この授業はいままで習得した語彙・文法を復習しながら、さらにさまざまな中国語表現を学び、語彙と言い回しを増やしていくとともに中国語の表現力を高めます。 中国語を学ぶには文法ばかりではなく、より実践的な中国語力を身につけたいものです。この授業は、まず中国語でコミュニケーションを取るために必要とするリスニング力の強化に重点におき、さらに中国語を話すときのリズムを体で覚え、中国語を話せるように試すことを目指します。 この授業は、身近な短文や会話文をできるだけ多く聞き、音読し、基本的な表現を学ぶことによって自ら表現できるよう、以下の要領で行います。 →毎回のテーマについての短い中国語文章を聞き、リスニング力を確認しながら高めます。 →文法事項を復習しながら、新しい表現を解説します。 →授業で使った中国語をアレンジし、表現のバリエーションを増やします。 →毎回、テーマについて会話を行い、コミュニケーション能力を向上させます。	
授業内容 第1回：イントロダクション 第2回：自己紹介 第3回：通学 第4回：私の家族 第5回：友だち 第6回：私たちの先生 第7回：学校生活 第8回：ファーストフード 第9回：中華料理 第10回：私の趣味 第11回：スポーツ 第12回：テレビ 第13回：カラオケ 第14回：まとめ (授業の進みぐあいによってスケジュールが変更になる場合もあります。)	
履修上の注意 初級中国語をマスターしたことが必須です。	
準備学習（予習・復習等）の内容 授業の前に知らない単語や表現を調べておく、授業の後で学習内容が身につけるように復習し再確認することを習慣にしてください。	
教科書 『トピック中国語』顧銘著（私家版） (教科書の販売については、別途授業時に指示します。)	
参考書 推奨参考辞書 『中日辞書』『日中辞書』を格納した電子辞書	
課題に対するフィードバックの方法	
成績評価の方法 ① 平常点（学習意欲、履修態度など）：60点 ② 期末レポート：40点	
その他 中国語に興味があり、中国語を上達したい人を歓迎します。学部間共通科目として、一度中国語を学びたい学生は、他の第二外国語と並行にして、ぜひ中国語も受講してみませんか。	

科目ナンバー：(LP)LAN265N ■ 秋学期 ■ 1単位	
中国語会話Ⅱ B	
担当者 顧 銘	
授業の概要・到達目標 この授業はいままで習得した語彙・文法を復習しながら、さらにさまざまな中国語表現を学び、語彙と言い回しを増やしていくとともに中国語の表現力を高めます。 中国語を学ぶには文法ばかりではなく、より実践的な中国語力を身につけたいものです。この授業は、まず中国語でコミュニケーションを取るために必要とするリスニング力の強化に重点におき、さらに中国語の語感を身につけながら、自然に中国語を話せることを目指します。 この授業は、身近な短文や会話文をできるだけ多く聞き、音読し、基本的な表現を学ぶことによって自ら表現できるよう、以下の要領で行います。 →毎回のテーマについての短い中国語文章を聞き、リスニング力を確認しながら高めます。 →文法事項を復習しながら、新しい表現を解説します。 →授業で使った中国語をアレンジし、表現のバリエーションを増やします。 →毎回、テーマについて会話を行い、コミュニケーション能力を向上させます。	
授業内容 第1回：イントロダクション 第2回：夏休みについて 第3回：買い物 第4回：携帯電話 第5回：パソコン 第6回：週末の過ごし方 第7回：アルバイト 第8回：旅行 第9回：約束 第10回：インターネット 第11回：テスト・試験について 第12回：気持ちを伝える 第13回：春休みの予定 第14回：まとめ (授業の進みぐあいによってスケジュールが変更になる場合もあります。)	
履修上の注意 初級中国語をマスターしたことが必須です。	
準備学習（予習・復習等）の内容 授業の前に知らない単語や表現を調べておく、授業の後で学習内容が身につけるように復習し再確認することを習慣にしてください。	
教科書 『トピック中国語』顧銘著（私家版） (教科書の販売については、別途授業時に指示します。)	
参考書 推奨参考辞書 『中日辞書』『日中辞書』を格納した電子辞書	
課題に対するフィードバックの方法	
成績評価の方法 ① 平常点（学習意欲、履修態度など）：60点 ② 期末レポート：40点	
その他 中国語に興味があり、中国語を上達したい人を歓迎します。学部間共通科目として、一度中国語を学びたい学生は、他の第二外国語と並行にして、ぜひ中国語も受講してみませんか。	

<div>科目ナンバー：(LP)LAN265N</div> <div>■ 春学期 ■ 1単位</div> <div>中国語会話Ⅱ A</div> <div>担当者 将邑 剣平</div>	<div>科目ナンバー：(LP)LAN265N</div> <div>■ 秋学期 ■ 1単位</div> <div>中国語会話Ⅱ B</div> <div>担当者 将邑 剣平</div>
<div>授業の概要・到達目標</div> <div>中国語コミュニケーションに必要な基本的な知識と実技を確実に身につけるための授業である。</div> <div>中国語を口に出して繰り返し練習してもらい、きちんと自己紹介ができ、中国人と話したり、中国旅行が自力でできることを目指したい。</div> <div>授業内容</div> <div>第1回 イントロダクション</div> <div>第2回 第1課 前半</div> <div>第3回 第1課 後半</div> <div>第4回 第3課 前半</div> <div>第5回 第3課 後半</div> <div>第6回 第4課 前半</div> <div>第7回 第4課 後半</div> <div>第8回 第5課 前半</div> <div>第9回 第5課 後半</div> <div>第10回 第6課 前半</div> <div>第11回 第6課 後半</div> <div>第12回 第7課 前半</div> <div>第13回 第7課 後半</div> <div>第14回 まとめなど</div> <div>*履修者の状況を見て適宜調整することがある。</div> <div>履修上の注意</div> <div>授業は習った発音記号（ピンイン）で中国語の語彙を聞いて正しく記録できることを前提にして行う。授業時に必ず辞書を持参すること。</div> <div>語学学習に予習・復習は欠かせない。授業は予習・復習がされていることを前提に行う。</div> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div>語学学習に予習・復習は欠かせない。中国語を美しく発音できることを目標にして、予習・復習をして授業に参加する。</div> <div>授業にのぞむにあたって、予め語彙の意味をおさえ、文法事項を出来るだけ調べておく。声をしっかり出して、新出語句をはじめ、例文や本文などを暗記するほど繰り返し読む。授業が終わった後は宿題をやりながら、学習した内容を復習し、更に実際に使ってみて、応用できるようにする。</div> <div>準備学習・復習時間は、毎日それぞれ少なくとも20分ずつ行い、週に4時間を標準とする。</div> <div>教科書</div> <div>『時事中国語の教科書 2023年度版 新征程』三瀧正道，陳祖蔭，古屋順子（朝日出版社）2,090円(本体1,900円+税)</div> <div>参考書</div> <div>『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』，相原茂・石田知子・戸沼市子著，（同学社）</div> <div>その他自習用テキスト等は，必要に応じて教室で指示する。</div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>授業時間内で講評・解説する予定ですが、できない場合は大学サイトのクラスページでフィードバックを行う。</div> <div>成績評価の方法</div> <div>毎回の小テストおよび発表点で評価する。</div> <div>授業の3分の1以上欠席の場合は評価不可とする。遅刻3回で欠席1回と計算され、大幅な遅刻は欠席とみなす。</div> <div>履修登録する前に必ず確認してください</div> <div>準備学習ができない方は評価対象外とするので、必ず準備学習ができることを確認してから履修してください。</div> <div>その他</div> <div>実際の授業の状況に応じ、内容を変更することが有る。</div> <div>教科書を持ってこない場合は欠席扱いとなる。</div> <div>また無断退出も欠席扱いとなる。</div>	<div>授業の概要・到達目標</div> <div>中国語コミュニケーションに必要な基本的な知識と実技を確実に身につけるための授業である。</div> <div>中国語を口に出して繰り返し練習してもらい、きちんと自己紹介ができ、中国人と話したり、中国旅行が自力でできることを目指したい。</div> <div>授業内容</div> <div>第1回 イントロダクション</div> <div>第2回 第9課 前半</div> <div>第3回 第9課 後半</div> <div>第4回 第10課 前半</div> <div>第5回 第10課 後半</div> <div>第6回 第11課 前半</div> <div>第7回 第11課 後半</div> <div>第8回 第13課 前半</div> <div>第9回 第13課 後半</div> <div>第10回 第14課 前半</div> <div>第11回 第14課 後半</div> <div>第12回 第15課 前半</div> <div>第13回 第15課 後半</div> <div>第14回 まとめ</div> <div>*履修者の状況を見て適宜調整することがある。</div> <div>履修上の注意</div> <div>授業は習った発音記号（ピンイン）で中国語の語彙を聞いて正しく記録できることを前提にして行う。授業時に必ず辞書を持参すること。</div> <div>語学学習に予習・復習は欠かせない。授業は予習・復習がされていることを前提に行う。</div> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div>語学学習に予習・復習は欠かせない。中国語を美しく発音できることを目標にして、予習・復習をして授業に参加する。</div> <div>授業にのぞむにあたって、予め語彙の意味をおさえ、文法事項を出来るだけ調べておく。声をしっかり出して、新出語句をはじめ、例文や本文などを暗記するほど繰り返し読む。授業が終わった後は宿題をやりながら、学習した内容を復習し、更に実際に使ってみて、応用できるようにする。</div> <div>準備学習・復習時間は、毎日それぞれ少なくとも20分ずつ行い、週に4時間を標準とする。</div> <div>教科書</div> <div>『時事中国語の教科書 2023年度版 新征程』三瀧正道 陳祖蔭 古屋順子（朝日出版社）2,090円(本体1,900円+税)</div> <div>参考書</div> <div>『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂・石田知子・戸沼市子著，（同学社）</div> <div>その他自習用テキスト等は，必要に応じて教室で指示する。</div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>授業時間内で講評・解説する予定ですが、できない場合は大学サイトのクラスページでフィードバックを行う。</div> <div>成績評価の方法</div> <div>毎回の小テストおよび発表点で評価する。</div> <div>授業の3分の1以上欠席の場合は評価不可とする。遅刻3回で欠席1回と計算され、大幅な遅刻は欠席とみなす。</div> <div>履修登録する前に必ず確認してください</div> <div>準備学習ができない方は評価対象外とするので、必ず準備学習ができることを確認してから履修してください。</div> <div>その他</div> <div>実際の授業の状況に応じ、内容を変更することが有る。</div> <div>教科書を持ってこない場合は欠席扱いとなる。</div> <div>また無断退出も欠席扱いとなる。</div>

科目ナンバー：(LP)LAN265N

■ 春学期 ■ 1単位

中国語会話ⅡA

担当者 王 学群

授業の概要・到達目標
【授業概要】
本授業は、中国文化と生活に関する中国語のスキルを磨き、中国語によるコミュニケーションの能力を高めることを目的とする。
受講者に、中国文化と生活を扱う中国語の文章を学習しながら実践的なテーマを設定し、中国文化と生活に関する様々な中国語表現を調べさせる。同時に、このような調査活動の中で感じた日中間の異同等についても中国語で簡単に述べてもらう。
1978年代以後、中国では、改革開放政策の実施によって目覚ましい経済発展を遂げている。アメリカ発の金融危機以来減速したもの、それでも中国GDPは6.0%以上の成長を維持している。世界範囲でのコロナ感染拡大の中でも、中国経済はプラス成長となっている。特に中国での自動車販売台数は、以前より世界第一位に躍り、既に中国市場から目を離すことができなくなっている。
また、最近の就職事情からみれば、中国語だけでなく、中国における固有文化やビジネス文化も理解できる人材が求められている。特に中国語検定の資格を持つことだけで有利になる場合もある。さらに現在社員全体を対象に中国語学習を強化する会社が増えている。
このような状況の中で、現在、日本で中国語検定試験がいくつか実施されている。本授業では、学習の成果を結果に結びつけるように、受講者に中国語検定を受けてもらう。そのため、模擬テストも授業中で実施したり、宿題としてやってもらったりする。
【学修到達目標】
到達目標は次の通りである。
1. 中国語と中国文化・生活に対しての理解をやや深める。
2. 日中文化の繋がりを理解し、新しい視点で日中間のことを考える
3. 中国語の様々な表現を一定のレベルまでマスターする。
4. 中国語実力アップによって中国語検定試験4級に近いレベルへの到達を目指す。

授業内容	
第1回	本授業の説明と中国語検定の概説
第2回	第1課(教科書)“学汉语”の単語と会話を学習する
第3回	第1課“学汉语”の語法と練習を学習する
第4回	第2課“吃中餐”の単語と会話を学習する
第5回	第2課“吃中餐”の語法と練習を学習する
第6回	中国文化に関する資料と中国語検定
第7回	第3課“爬长城”の単語と会話を学習する
第8回	第3課“爬长城”の語法と練習を学習する
第9回	第4課“去中国留学”の単語と会話を学習する
第10回	中国生活に関する資料と中国語検定
第11回	第4課“去中国留学”の語法と練習を学習する
第12回	第5課“中国的留学热”の単語と会話を学習する
第13回	第5課“中国的留学热”の語法と練習を学習する
第14回	総合復習とテスト

履修上の注意
受講者にやや中級レベルの中国語語法をしっかりと学習してもらう。重要な部分について教員から説明を加える。勿論、学習内容について、受講者に質問し、答えてもらう。
中国語の文章、中国語の小さなドラマ・テレビ放送・ラジオ放送なども学習内容になる場合がある。
中国語の発音は、このような学習を通じて、より正確かつ綺麗に発音できるようにする。
また、受講者に中国における固有文化と生活を理解してもらうため、スケジュールのように、それについても学習する。そして、毎回できるだけ新しい中国情報をプリントにして受講者全員に配分する。
授業中において、中国語作文の演習を必要に応じて行う。それについても指導する。
なお、常に積極的に中国語で教員に話しかけたり、中国のことを聞いたりしてほしい。勿論日本語でも構わない。

準備学習（予習・復習等）の内容
【予習】
今回の学習内容（本文・語法・練習）に目を通し、新しい表現方法、理解しにくい箇所を確認する。
また新出単語と、本文の会話をスムーズに読めるように練習し、語法の例文を前もって日本語に訳しておくこと。大体90分やってほしい。
【復習】
学習した内容（新出単語・本文の会話・語法の例文）を流暢に読めるように練習する。
また習った単語の暗記、語法の理解、中国語での例文づくりなどができるように復習すること。大体90分やってほしい。

教科書
『ステップアップ実践中国語』王学群 監修 白帝社
テキスト以外、資料も配布する。

参考書
『中国ビジネス事情』卜部正夫・孫根志華編 学文社
『身近なことから中国語』綾部武彦・王学群など 国際語学社
『中国情報ハンドブック』21世紀中国総研編 蒼蒼社
『商業通信文』藤本恒・伊井健一郎 東方書店
『一ヶ月でできる総仕上げ』洪潔清 白帝社
『ライセンス中国語検定3級・4級』趙秀敏・富田昇 白帝社
『中検4級試験問題』2021 日本中国語検定協会編 白帝社
『中検3級試験問題』2021 日本中国語検定協会編 白帝社
『中検2級試験問題』2021 日本中国語検定協会編 白帝社

課題に対するフィードバックの方法
中間レポートの解説については、Oh-ol Meiji を通じて配信するため、確認すること。

成績評価の方法
本授業への貢献度（テスト・レポート・特別課題など）を70%とし、視聴状況や回答状況などを含む授業中の態度・発表（意欲）を30%とする。

その他
基本的に初級を習った学生を対象とする。

科目ナンバー：(LP)LAN265N

■ 秋学期 ■ 1単位

中国語会話ⅡB

担当者 王 学群

授業の概要・到達目標
【授業概要】
本授業は、中国文化と生活に関する中国語のスキルを磨き、中国語によるコミュニケーションの能力を高めることを目的とする。
受講者に、中国文化と生活を扱う中国語の文章を学習しながら実践的なテーマを設定し、中国文化と生活に関する様々な中国語表現を調べさせる。同時に、このような調査活動の中で感じた日中間の異同等についても中国語で簡単に述べてもらう。
1978年代以後、中国では、改革開放政策の実施によって目覚ましい経済発展を遂げている。現在、アメリカ発の金融危機以来減速したもの、それでも中国GDPは6.0%以上の成長を維持している。世界範囲でのコロナ感染拡大の中でも、中国経済はプラス成長となっている。特に中国での自動車販売台数は、以前より世界第1位に躍り、既に中国市場から目を離すことができなくなっている。
また、最近の就職事情からみれば、中国語だけでなく、中国における固有文化やビジネス文化も理解できる人材が求められている。特に中国語検定の資格を持つことだけで有利になる場合もある。さらに現在社員全体を対象に中国語学習を強化する会社が増えている。
このような状況の中で、現在、日本で中国語検定試験がいくつか実施されている。本授業では、学習の成果を結果に結びつけるように、受講者に中国語検定を受けるように勧める。そのため、模擬テストも授業中で実施したり、宿題としてやってもらったりする。
【到達目標】
到達目標は次の通りである。
1. 中国語と中国文化に対しての理解を深める。
2. 日中文化の繋がりを理解し、新しい視点で日中間のことを積極的に考える。
3. 中国語の様々な表現を中級に近いレベルまでマスターする。
4. 中国語実力アップによって中国語検定試験4級に合格することを目指す。

授業内容	
第1回	本セミナーの説明と中国語検定4級の説明
第2回	第6課(教科書)“去农家乐”の単語と会話の学習
第3回	第6課“去农家乐”の語法と練習の学習
第4回	中国文化と生活に関する資料と中国語検定
第5回	第7課“找对象”の単語と会話の学習
第6回	第7課“找对象”の語法と練習の学習
第7回	第8課“不当青老族”の単語と会話の学習
第8回	第8課“不当青老族”の語法と練習の学習
第9回	中国文化と生活に関する資料と中国語検定
第10回	第9課“找工作”の単語と会話の学習
第11回	第9課“找工作”の語法と練習の学習
第12回	第10課“西藏行”の単語と会話の学習
第13回	第10課“西藏行”の語法と練習の学習
第14回	総合復習とテスト

履修上の注意
受講者にやや中級レベルの中国語語法をしっかりと学習してもらう。重要な部分について教員から説明を加える。勿論、学習内容について、受講者に質問し、答えてもらう。
中国語の文章、中国語の小さなドラマ・テレビ放送・ラジオ放送なども学習内容になる場合がある。
中国語の発音は、このような学習を通じて、より正確かつ綺麗に発音できるようにする。
また、受講者に中国における固有文化と生活を理解してもらうため、スケジュールのように、それについても学習する。そして、毎回できるだけ新しい中国情報をプリントにして受講者全員に配分する。
授業中において、中国語作文の演習を必要に応じて行う。それについても指導する。
なお、常に積極的に中国語で教員に話しかけたり、中国のことを聞いたりしてほしい。勿論日本語でも構わない。

準備学習（予習・復習等）の内容
【予習】
今回の学習内容（本文・語法・練習）に目を通し、新しい表現方法、理解しにくい箇所を確認する。また新出単語と、本文の会話をスムーズに読めるように練習し、語法の例文を前もって日本語に訳しておくこと。大体90分やってほしい。
【復習】
学習した内容（新出単語・本文の会話・語法の例文）を流暢に読めるように練習する。
また習った単語の暗記、語法の理解、中国語での例文づくりなどができるように復習すること。大体90分やってほしい。

教科書
『ステップアップ実践中国語』王学群 監修 白帝社
テキスト以外資料も配布する。

参考書
『中国ビジネス事情』卜部正夫・孫根志華編、学文社
『身近なことから中国語』綾部武彦・王学群など 国際語学社
『中国情報ハンドブック』21世紀中国総研編 蒼蒼社
『商業通信文』藤本恒・伊井健一郎 東方書店
『ライセンス中国語検定3級・4級』趙秀敏・富田昇 白帝社
『問題を解いて覚える中国語Ⅱ』小川郁夫 白帝社
『中検4級試験問題』2021 日本中国語検定協会編 白帝社
『中検3級試験問題』2021 日本中国語検定協会編 白帝社
『中検2級試験問題』2021 日本中国語検定協会編 白帝社

課題に対するフィードバックの方法
中間レポートの解説については、Oh-ol Meiji を通じて配信するため、確認すること。

成績評価の方法
本授業への貢献度（テスト・レポート・特別課題など）を70%とし、視聴状況や回答状況などを含む授業中の態度・発表（意欲）を30%とする。

その他
基本的に初級を習った学生を対象とする。

科目ナンバー：(LP) LAN265N
■ 春学期 ■ 1単位
中国語会話Ⅱ A
担当者 馮 青

授業の概要・到達目標

「授業概要」

初級の学習成果を踏まえて、「循序漸進法」（順に追って進める方法）により授業を行う。毎回の講義では、a モジュールを文章の学習に、b モジュールを会話練習に分けて、ビジュアル教材や語学学習アプリも使い、進めていく。春学期では、とりわけ応用会話練習に力点を置く、また中国語による自己紹介の練習にも努める。

「到達目標」

中級レベルの中国語を修得し、会話力を向上させ、あわせて中国社会・文化などに対する理解を深めること。

授業内容

「授業内容」

- [第1回] a. イントロダクション、b. 初級レベルの基本表現の復習、会話練習
- [第2回] 第1課 「新生入学」
- a. 基本表現、語彙の学習
- b. 会話練習
- [第3回] 第1課 「新生入学」（续）
- a. 基本表現の応用
- b. 会話練習
- [第4回] 第2課 泼水节
- a. 基本表現、語彙の学習
- b. 会話練習
- [第5回] 第2課 泼水节（续）
- a. 基本表現の応用
- b. 会話練習
- [第6回] 第3課 苏州园林
- a. 基本表現、語彙の学習
- b. 会話練習
- [第7回] 第3課 苏州园林（续）
- a. 基本表現の応用
- b. 会話練習
- [第8回] 中間まとめ、自己紹介の練習（1）
- [第9回] 第4課 喝茶
- a. 基本表現、語彙の学習
- b. 会話練習
- [第10回] 第4課 喝茶（续）
- a. 基本表現の応用
- b. 会話練習
- [第11回] 第5課 兵马俑
- a. 基本表現、語彙の学習
- b. 会話練習
- [第12回] 第5課 兵马俑（续）
- a. 基本表現の応用
- b. 会話練習
- [第13回] 総まとめ、自己紹介の練習（2）
- [第14回] 試験前指導・期末テスト

履修上の注意

毎回必ず出席を取る。30分以上の遅刻は欠席とみなす。

準備学習（予習・復習等）の内容

毎回の授業で指示された内容について、予復習を行うこと。

教科書

衛榕群、汪晓京『ビジュアル中国ー初級から中級へー』（朝日出版社）

参考書

- 新井一二三 『中国語はおもしろい』（講談社現代新書）
- 新井一二三 『中国語は楽しいー華語から世界を眺める』（ちくま新書）

課題に対するフィードバックの方法

Oh-olMeijiなどインターネットシステムも利用するが、基本的に授業中で説明を行う。

成績評価の方法

平常点（50％）及び学期末試験の成績（50％）に基づき評価する。平常点には中間テスト、出席状況、課題、授業態度等も含む。

その他

科目ナンバー：(LP) LAN265N
■ 秋学期 ■ 1単位
中国語会話Ⅱ B
担当者 馮 青

授業の概要・到達目標

「授業概要」

初級の学習成果を踏まえて、「循序漸進法」（順に追って進める方法）により授業を行う。毎回の講義では、a モジュールを文章の学習に、b モジュールを会話練習に分け、ビジュアル教材や語学学習アプリも使い、進めていく。秋学期は、中級レベルの表現を習得し、それを応用したグループ会話の練習に力点を置く。また、中国関連の時事問題も取り上げ、会話練習を行う。

「到達目標」

中国語の面白さを知り、中級レベルに必要な知識と応用能力を身に付けるとともに、会話力を高めること。あわせて、中国の文化や社会の理解を深めること。

授業内容

「授業内容」

- [第1回] イントロダクション、基本表現の復習
- [第2回] 第6課 练习跳舞
- a. 基本表現、語彙の学習
- b. 会話練習
- [第3回] 第6課 练习跳舞（续）
- a. 基本表現の応用
- b. グループ会話練習
- [第4回] 第7課 电影《少林寺》
- a. 基本表現、語彙の学習
- b. 会話練習
- [第5回] 第7課 电影《少林寺》（续）
- a. 基本表現の応用
- b. グループ会話練習
- [第6回] 第8課 参观天坛
- a. 基本表現、語彙の学習
- b. 会話練習
- [第7回] 第8課 参观天坛（续）
- a. 基本表現の応用
- b. 中間まとめ、中国の時事問題に関する会話練習
- [第8回] 第9課 看京剧
- a. 基本表現、語彙の学習
- b. 会話練習
- [第9回] 第9課 看京剧（续）
- a. 基本表現の応用
- b. グループ会話練習
- [第10回] 第10課 参观中国馆
- a. 基本表現、語彙の学習
- b. 会話練習
- [第11回] 第10課 参观中国馆（续）
- a. 基本表現の応用
- b. グループ会話練習
- [第12回] 第11課 石林观光
- a. 基本表現、語彙の学習
- b. 会話練習
- [第13回] 総まとめ、中国の時事問題に関する会話練習
- [第14回] 試験前指導・期末テスト

履修上の注意

毎回必ず出席を取る。30分以上の遅刻は欠席とみなす。

準備学習（予習・復習等）の内容

毎回の授業で指示された内容について、予復習を行うこと。

教科書

衛榕群、汪晓京『ビジュアル中国ー初級から中級へー』（朝日出版社）

参考書

- 新井一二三 『中国語はおもしろい』（講談社現代新書）
- 新井一二三 『中国語は楽しいー華語から世界を眺める』（ちくま新書）

課題に対するフィードバックの方法

Oh-olMeijiなどインターネットシステムも利用するが、基本的に授業中で説明を行う。

成績評価の方法

平常点（50％）及び学期末試験の成績（50％）に基づき評価する。平常点には中間テスト、出席状況、課題、授業態度等も含む。

その他

<div>科目ナンバー：(LP)LAN265N</div> <div>■ 春学期 ■ 1単位</div> <div>中国語会話Ⅱ A</div> <div>担当者 許 家晟</div>	<div>科目ナンバー：(LP)LAN265N</div> <div>■ 秋学期 ■ 1単位</div> <div>中国語会話Ⅱ B</div> <div>担当者 許 家晟</div>
<div>授業の概要・到達目標</div> <p>この授業は中国語の基礎文法を一通り学習した者を対象に、会話とリスニングを中心に開講する科目である。一年次に学習した内容を復習しながら、日常生活に使う会話を身につけていく。また、受講生のレベルに合わせて、春学期にはHSK 3級、秋学期にはHSK 4級を目安とする資格試験学習も行う。さらに、視聴教材を使って中国文化や中国の最新事情を紹介することができる。</p> <div>授業内容</div> <p>第1回：a イントロダクション b 自己紹介 第2回：第1課 文法ポイントや表現のパターンの学習 第3回：第1課 会話練習，リスニング練習 第4回：第2課 文法ポイントや表現のパターンの学習 第5回：第2課 会話練習，リスニング練習 第6回：第3課 文法ポイントや表現のパターンの学習 第7回：第3課 会話練習，リスニング練習 第8回：第4課 文法ポイントや表現のパターンの学習 第9回：第4課 会話練習，リスニング練習 第10回：第5課 文法ポイントや表現のパターンの学習 第11回：第5課 会話練習，リスニング練習 第12回：第6課 文法ポイントや表現のパターンの学習 第13回：第6課 会話練習，リスニング練習 第14回：a 総合復習，b 期末試験</p> <div>履修上の注意</div> <p>公欠届などがなければ、無断欠席と扱う。三分の二以上の出席回数に満たさないと期末試験の受験資格がなくなるので、注意してください。</p> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <p>毎回の授業お知らせを確認したうえ、予習と復習をしてください。これも授業評価の一環となります。</p> <div>教科書</div> <p>『2年めの伝える中国語』 及川淳子著 白水社</p> <div>参考書</div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>成績評価の方法</div> <p>本文の音読確認，リスニングテスト，課題の出来ぐらいなどにより総合的に評価します。</p> <div>その他</div> <p>受講生のレベルによって、上記の内容を変更することがある。</p>	<div>授業の概要・到達目標</div> <p>この授業は中国語の基礎文法を一通り学習した者を対象に、会話とリスニングを中心に開講する科目である。一年次に学習した内容を復習しながら、日常生活に使う会話を身につけていく。また、受講生のレベルに合わせて、春学期にはHSK 3級、秋学期にはHSK 4級を目安とする資格試験学習も行う。さらに、視聴教材を使って中国文化や中国の最新事情を紹介することができる。</p> <div>授業内容</div> <p>第1回：a イントロダクション b 暑假见闻 第2回：第7課 文法ポイントや表現のパターンの学習 第3回：第7課 会話練習，リスニング練習 第4回：第8課 文法ポイントや表現のパターンの学習 第5回：第8課 会話練習，リスニング練習 第6回：第9課 文法ポイントや表現のパターンの学習 第7回：第9課 会話練習，リスニング練習 第8回：第10課 文法ポイントや表現のパターンの学習 第9回：第10課 会話練習，リスニング練習 第10回：第11課 文法ポイントや表現のパターンの学習 第11回：第11課 会話練習，リスニング練習 第12回：第12課 文法ポイントや表現のパターンの学習 第13回：第12課 会話練習，リスニング練習 第14回：a 総合復習，b 期末試験</p> <div>履修上の注意</div> <p>公欠届などがなければ、無断欠席と扱う。三分の二以上の出席回数に満たさないと期末試験の受験資格がなくなるので、注意してください。</p> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <p>毎回の授業お知らせを確認したうえ、予習と復習をしてください。これも授業評価の一環となります。</p> <div>教科書</div> <p>『2年めの伝える中国語』 及川淳子著 白水社</p> <div>参考書</div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>成績評価の方法</div> <p>本文の音読確認，リスニングテスト，課題の出来ぐらいなどにより総合的に評価します。</p> <div>その他</div>

科目ナンバー：(LP)LAN365N	
■ 春学期	■ 1単位
国際理解講座・中国語圏A	
担当者	洪 潔清

授業の概要・到達目標

この授業は映像を観ながら、会話文と読解文を学習していく。中国語を学ぶことと同時に、中国文化への理解も深めていくことを目的とする。授業では、中級レベルの聞く、話す、書く、読むという四つのスキルを習得することを目指し、課外では、単語、例文、本文の音読練習やドリル練習をすることにより、さらにリスニング能力の向上を目指す。

また、日中異文化動画や最新の中国事情を紹介することがある。

授業内容

第1回：a イントロダクション、b 自己紹介

第2回：第1課 大学校园 在，除了～以外，从～到～，有的～有的～

第3回：第1課 会話練習 リスニング練習

第4回：第2課 南京路步行街 和～一样，对～了解，不管～都，会

第5回：第2課 会話練習 リスニング練習

第6回：第3課 晨练 着，能，对～来说，既～又～

第7回：第3課 会話練習 リスニング練習

第8回：第4課 豫园 可能補語，～极了，如果～就～，令人～

第9回：第4課 会話練習 リスニング練習

第10回：第5課 国宝大熊猫 让，除了～就是，動詞＋数量詞，別看～可是～

第11回：第5課 会話練習 リスニング練習

第12回：第6課 世界遗产九寨沟 随着～，越～越～，舍不得，因～而～

第13回：第6課 会話練習 リスニング練習

第14回：a 総合復習，b 期末試験

履修上の注意

公欠届などがなければ、無断欠席と扱う。

準備学習（予習・復習等）の内容

復習として一課ごとの課外練習を完成すること。また、本文の内容に合わせて中国語で作文することがある。

教科書

DVDで学ぶ中国文化 『Chinese Adventure チャイニーズアドベンチャー』 洪潔清著，金星堂

参考書

課題に対するフィードバックの方法

共通の内容に対しては授業中に対応する。個々の内容の場合は個別でメールまたは授業後に対応する。

成績評価の方法

平常点40％（ピンインなしの本文の音読、課外練習や作文などの課題の出来ぐらい）、期末試験60％（最後の授業日内に実施する）の割合で評価する。

その他

特になし

科目ナンバー：(LP)LAN365N	
■ 秋学期	■ 1単位
国際理解講座・中国語圏B	
担当者	洪 潔清

授業の概要・到達目標

この授業は映像を観ながら、会話文と読解文を学習していく。中国語を学ぶことと同時に、中国文化への理解も深めていくことを目的とする。授業では、中級レベルの聞く、話す、書く、読むという四つのスキルを習得することを目指し、課外では、単語、例文、本文の音読練習やドリル練習をすることにより、さらにリスニング能力の向上を目指す。

また、日中異文化動画や最新の中国事情を紹介することがある。

授業内容

第1回：第1課～第6課 復習

第2回：第7課 大学的社团活动 上～时，看不出来，为了，不但～而且～

第3回：第7課 会話練習 リスニング練習

第4回：第8課 故宫博物院 是～的，把，動詞＋过来，连～也～

第5回：第8課 会話練習 リスニング練習

第6回：第9課 北京798艺术区 没想到，成了～，倒，把～動詞＋成

第7回：第9課 会話練習 リスニング練習

第8回：第10課 秦始皇兵马俑 为，動詞＋过～的人，都～，尤其是，似乎

第9回：第10課 会話練習 リスニング練習

第10回：第11課 少数民族 被，動詞＋下来，以～为～，以～来～

第11回：第11課 会話練習 リスニング練習

第12回：第12課 丽江古城 動詞＋回去，～而，原来，動詞＋在

第13回：第12課 会話練習 リスニング練習

第14回：a 総合復習，b 期末試験

履修上の注意

公欠届などがなければ、無断欠席と扱う。

準備学習（予習・復習等）の内容

復習として一課ごとの課外練習を完成すること。また、本文の内容に合わせて中国語で作文することがある。

教科書

DVDで学ぶ中国文化 『Chinese Adventure チャイニーズアドベンチャー』 洪潔清著，金星堂

参考書

課題に対するフィードバックの方法

共通の内容に対しては授業中に対応する。個々の内容の場合は個別でメールまたは授業後に対応する。

成績評価の方法

平常点40％（ピンインなしの本文の音読、課外練習や作文などの課題の出来ぐらい）、期末試験60％（最後の授業日内に実施する）の割合で評価する。

その他

特になし

<div>科目ナンバー：(LP)LAN161N</div> <div>■ 春学期 ■ 1単位</div> <div>資格中国語A</div> <div>担当者 江田 いづみ</div>	<div>科目ナンバー：(LP)LAN161N</div> <div>■ 秋学期 ■ 1単位</div> <div>資格中国語B</div> <div>担当者 江田 いづみ</div>
<div>授業の概要・到達目標</div> <div>この授業では中国語の初級段階修了者を対象に、さらなるステップアップのため、中国語検定試験3級を目指します。発音や基本文型の復習をしながら語彙を増やし、表現の基礎を確実に身につけ、実際の問題を解きながら中国語への理解を深めることを目標とします。その際、学習者の多くが苦手とするリスニングに重点を置きたいと考えます。</div> <div>授業内容</div> <div>中国語検定試験3級のこれまでの問題をこなし、解説を加えることが中心となります。各回ごとの配分は下記のように計画しています。</div> <div>〈1〉中検3級過去問 (1) 各自で問題を解く、提出</div> <div>〈2〉中検3級過去問 (1) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈3〉中検3級過去問 (1) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈4〉中検3級過去問 (1) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈5〉中検3級過去問 (1) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈6〉中検3級過去問 (2) 各自で問題を解く、提出</div> <div>〈7〉中検3級過去問 (2) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈8〉中検3級過去問 (2) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈9〉中検3級過去問 (2) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈10〉中検3級過去問 (2) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈11〉中検3級過去問 (3) 各自で問題を解く、提出</div> <div>〈12〉中検3級過去問 (3) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈13〉中検3級過去問 (3) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈14〉中検3級過去問 (3) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>履修上の注意</div> <div>履修対象は1年以上の学習歴のある学生とします。また、リスニングは教室だけでは訓練になりませんので、毎回、聞き取りの宿題を出します。必ず繰り返し聞き、質問文を参考に、全文の書き取りをして来て下さい。</div> <div>また、予習で聞き取れなかった部分については、単語のピン音を書き起こし、辞書で調べる作業をします。そのため授業中も辞書は必携です。コンサイスやスマートフォンではなく中辞典程度を持参してください。</div> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div>配布した過去問題のプリントを予習してくる事、特にリスニングは問題を解くだけでなく、中国語の質問と選択肢をすべて書き取って来ることをお願いします。</div> <div>教科書</div> <div>プリントとリスニング用教材を配布します。</div> <div>参考書</div> <div>必要に応じて、プリントを配布します。</div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>成績評価の方法</div> <div>平常点により評価します。</div> <div>その他</div> <div>授業の進度やレベルは受講生の状況をみて調整します。</div>	<div>授業の概要・到達目標</div> <div>この授業では、中国語検定試験2級の受験を目指す人のために、実際の問題を解きながらレベルアップを図ります。その際、学習者の多くが苦手とするリスニングに重点を置きたいと考えます。</div> <div>授業内容</div> <div>中国語検定試験2級のこれまでの問題をこなし、解説を加えることが中心となります。各回ごとの配分は下記のように計画しています。</div> <div>〈1〉2019年度第1回問題(1) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈2〉2019年度第1回問題(2) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈3〉2019年度第1回問題(3) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈4〉2019年度第1回問題(4) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈5〉2019年度第2回問題(1) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈6〉2019年度第2回問題(2) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈7〉2019年度第2回問題(3) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈8〉2019年度第2回問題(4) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈9〉2019年度第3回問題(1) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈10〉2019年度第3回問題(2) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈11〉2019年度第3回問題(3) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈12〉2019年度第3回問題(4) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈13〉2018年度第1回問題(1) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>〈14〉2018年度第1回問題(2) リスニング、筆記 (文型、長文読解、作文)</div> <div>履修上の注意</div> <div>履修対象は2年以上の学習歴のある学生とします。また、リスニングは教室だけでは訓練になりませんので、毎回、聞き取りの宿題を出します。必ず繰り返し聞いて、質問文を参考に全文の書き取りをして来て下さい。</div> <div>予習で聞き取れなかった部分に関しては、単語をピン音に起こし、辞書で調べる作業をします。そのため授業中も辞書は必携です。電子辞書でも構いませんが、スマートフォン等ではなく、ある程度の語彙量を備えたものを用意してください。</div> <div>検定試験の問題は、あくまでも中国語学習のための素材であり、試験対策が授業の目的ではありません。受験を目指さない学生にも、有意義な内容にしたいと考えています。</div> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div>配布した過去問題のプリントを予習してくる事、特にリスニングは中国語の質問や回答の選択肢もすべて書き取ってきてください。</div> <div>教科書</div> <div>プリントとリスニング用教材を配布します。</div> <div>参考書</div> <div>必要に応じて、プリントを配布します。</div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>成績評価の方法</div> <div>平常点により評価します。</div> <div>その他</div> <div>中国語検定2級は3級に比べると格段に難易度が上がります。相当の学習の蓄積がないと歯が立たないかもしれません。</div> <div>この授業では、受講生のレベルによって進度やレベルを調整し、履修者と協議の上で3級問題に変更する場合があります。</div> <div>中国語のレベルアップをしたい方は検定2級にこだわらず、積極的に履修してください。</div>

科目ナンバー：(LP)LAN151J

■ 春学期 ■ 1単位

ロシア語ⅠA

担当者 杉山 春子



科目ナンバー：(LP)LAN151J

■ 秋学期 ■ 1単位

ロシア語ⅠB

担当者 杉山 春子



授業の概要・到達目標

ロシア語ⅠAは、初めて学ぶ方、または、入門から学び直したい方のための講座です。この講座では、コミュニケーションに必ず必要となる、発音の基礎と「言葉のしくみ」、つまり文法を丁寧に学びます。ロシア語は、古典ギリシア語の嫡子であり、世界で最も美しい言語のひとつです。言葉の美しい響きを味わいながら、発音、リズム・イントネーションを、さまざまな教材で楽しく練習します。また、単文を読み、文法のしくみを丁寧に理解していきます。この授業の目標は、2つです。1) 正しく読めるようになること。基礎的な音声トレーニングは、とても大切です。2) 初級文法を習得する素地をつくること。文法事項としては、名詞、代名詞、形容詞、動詞（現在時制）について学びます。知識の集積だけでなく、実際に使ってこそ、語学は楽しいものです。講座では、ロシア語の単文の理解、読解、作文をします。ロシア語は音楽性豊かな言語ですので、受講生の希望するロシア民謡で、音声トレーニングも可能です。ロシア事情、ユーラシアの自然、風土、文化にも、少しずつふれていきましょう。

授業内容

- 第1回：aのみ。：イントロダクション
(ロシア語の学びかた、挨拶のことば)
- 第2回：アルファベット、文字と発音を正確に学ぼう
母音と子音ー全部で31文字の紹介
- 第3回：アクセント
単語の読み方
- 第4回：硬母音と軟母音
リズム・イントネーションの練習
- 第5回：硬子音と軟子音、母音発音規則
リズム・イントネーションの練習
- 第6回：子音の同化
肯定文、疑問文
- 第7回：アルファベットと発音のまとめ
単語と文の読み方
- 第8回：名詞の性と代名詞、動詞
ー ノートは女性、辞書は男性
- 第9回：名詞の単数と複数形、所有代名詞
ー これは誰の？
- 第10回：動詞を使わない文
ー be動詞の現在に相当するもの
- 第11回：動詞を使った文（1）
ー 動詞の第1式現在変化
- 第12回：ロシア人の名前、名詞の格変化について
ー 前置詞とのコンビネーション
- 第13回：動詞を使った文（2）
ー 動詞の第2式変化
- 第14回 a. 試験 b. 講義全体のふりかえりと正答解説

履修上の注意

- ◎ 「ロシア語は難しい」、とよく言われますが、実際は、どのような語学も学び方次第です。気軽にチャレンジしてみましょう。
- ◎ 学部間共通外国語科目ロシア語会話ⅠA、ⅠBの履修を終えた方にも、お薦めの講座です。
- ◎ ロシア語を初めて学ぶ場合、ロシア語ⅠAを履修せずにロシア語ⅠBからの受講には無理があります。ロシア語ⅠAからの履修を強くお勧めします。
- ◎ 4回以上、欠席しないようにすること。

準備学習（予習・復習等）の内容

予習、復習、課題のための時間として、一週間に2時間は必要です。授業時の解説、教科書を参考に、少しずつ丁寧に取り組むと、語学が断然、面白くなってきます。課題は添削してお返しますので、理解度を確認しながら学んでいきましょう。

教科書

『初級ロシア語20課』 桑野隆、白水社
その他、オリジナル・プリント

参考書

『博友社ロシア語辞典』（改訂新版） 木村彰一編、電子辞書は不可。その他、相談に応じます。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ◎ 「授業への貢献度、課題の取り組みと提出」は、成績評価の50パーセントを占めます。また、「提出された課題、試験の正答率」は、成績評価の50パーセントを占めます。
- ◎ 欠席回数が4回以上の場合、単位認定、成績評価の対象外となります。

その他

授業の概要・到達目標

秋学期は、ⅠAの継続として、ロシア語発音、リズム・イントネーションの基礎と初級文法の習得が目標です。外国語は使うことができてこそ、楽しみがあるというものです。発音、リズム・イントネーションを、さまざまな教材で楽しみながら身につけます。文法事項としては、形容詞、名詞の格変化、動詞の過去、未来、移動の動詞、再帰動詞、動詞の完了体と不完了体について、それぞれ、形態と用法を丁寧に学びます。教科書の簡単な文を理解し、作文、会話で練習しながら、文法の基本的な理解と運用能力を少しずつ高めていきます。たとえば、自然なロシア語で簡単な自己紹介の手紙を書くこと、これも到達目標のひとつ、となります。春学期のシラバスにも書きましたが、ロシア語は世界で最も美しい言語の一つで、音楽性がとても豊かです。受講生の希望するロシア民謡で、音声トレーニングも可能です。ロシア事情、ユーラシアの自然、地理、文化にも、少しずつふれていきましょう。

授業内容

- 第1回：aのみ。イントロダクション
(到達目標を実現するために。ロシア語の学びかた。)
- 第2回：形容詞の性・数と用法、再帰動詞
ー どのような～、名詞との結合
- 第3回：名詞の生格と所有の表現
ー ～がある＝持っている
- 第4回：形容詞の応用編、動詞の過去時制
ー 3つの性と複数形
- 第5回：動詞の特殊変化(1)、名詞与格
ー 唇音変化、～に
- 第6回：移動の動詞の現在と過去
ー 徒歩？乗り物？での違い
- 第7回：不定人称文
ー 3人称複数、主語無しの人
- 第8回：動詞の未来、名詞の対格
ー 合成未来、活動名詞、不活動名詞
- 第9回：時間と曜日
ー 数詞と名詞の生格、対格
- 第10回：動詞の完了体、不完了体
ー 現在時制、過去時制
- 第11回：形容詞の短語尾形
ー 主語と性、数の一致
- 第12回：動詞の特殊変化(2)、名詞造格
ー 一般的な動詞形成語尾1、命令法、～によって
- 第13回：動詞の特殊変化(3)、存在の否定表現
ー 一般的な動詞形成語尾2、否定生格
- 第14回：a. 試験 b. 授業全体のふりかえりと正答解説

履修上の注意

- ロシア語ⅠBは、ロシア語ⅠAの継続講座です。A、Bの講座をととして1年間で、発音規則と初級文法の基本を体系的に学ぶことができます。ロシア語を初めて学習する方には、レベルの不一致が生じますので、ロシア語ⅠAから受講しましょう。
- 履修条件として、
- 1) 学部間共通外国語ロシア語ⅠA、あるいは学部開講ロシア語ⅠAの単位取得が必要です。
 - 2) 学部間共通外国語ロシア語会話ⅠA、ⅠBのみの単位取得者の方は学部間共通外国語ロシア語ⅠAからの受講をお勧めします。
- ◎ 4回以上、欠席しないようにすること。

準備学習（予習・復習等）の内容

語学の場合、予習復習は大変、有効です。各回のテーマ、文法の重要ポイントを確認する、教科書の本文、練習問題のロシア語をCDを聴く、音読する、単語や文の筆写、アクセントをふる、など、一週間に2時間は必要です。少しの努力をつみ重ねることで、ロシア語学習が断然、面白くなります。春学期と同様に、毎回の課題で、理解度を確認します。

教科書

『初級ロシア語20課』 桑野隆著（白水社）
その他、オリジナル・プリント。

参考書

『博友社ロシア語辞典』 改訂新版、 木村彰一編

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ◎ 授業貢献度、課題の提出頻度が50パーセント、また、試験、課題の正答率、達成率が50パーセントです。
- ◎ 単位認定、成績評価の条件：4回以上欠席の場合、対象となりません。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN151J

■ 春学期 ■ 1単位

ロシア語ⅠA

担当者

池田 和彦



科目ナンバー：(LP)LAN151J

■ 秋学期 ■ 1単位

ロシア語ⅠB

担当者

池田 和彦



授業の概要・到達目標

ロシア語の入門の授業としてまず文字の読み方、発音の仕方を勉強します。ついで名詞や形容詞、動詞等の文の基本的な構成要素の使い方、構文の基本パターンを学習します。これまでになじみのないロシア語の文字の読み方、書き方に慣れることが春学期の学習の第一の目標です。

授業内容

教科書の第6課までおよそ次のようなことを学びます。

- 第1回：イントロダクション、ロシア語の歴史
- 第2回：アルファベットの文字の読み方と発音の仕方
- 第3回：アクセント 母音の弱化 硬母音文字と軟母音文字
- 第4回：読み方の規則 子音の同化
- 第5回：「AはBです」とその疑問形 「これは誰ですか」の表現
- 第6回：「はい」と「いいえ」の表現 人称代名詞
- 第7回：動詞の現在変化（第1変化） 名詞の性
- 第8回：名詞の複数形 綴り字の規則
- 第9回：「これは誰の写真ですか」の表現 所有代名詞
- 第10回：名と父称 「どこにお勤めですか」の表現
- 第11回：格の種類 前置格
- 第12回：動詞の現在変化（第2変化）
- 第13回：形容詞の性・数変化(1) 形容詞の用法
- 第14回：春学期の総復習

履修上の注意

ロシア語をはじめて学ぶ人のためのクラスですが、自分で独習したことのある人なども歓迎します。

後期のロシア語ⅠBが受講できない事情のある人は、春学期だけの受講も可能です。

準備学習（予習・復習等）の内容

文字の読み方や単語のアクセントに慣れるために、復習のさいには授業で学習した単語や例文をくり返し声を出して発音するようところがけてください。また次回の授業の学習範囲や課題を指示しますが、春学期は復習に力を入れてください。

教科書

『初級ロシア語20課』、桑野隆、(白水社)

参考書

辞書として
『プログレッシブロシア語辞典』、中澤英彦、(小学館)
『ロシア語ミニ辞典』、安藤厚他、(白水社)
『博友社 ロシア語辞典』、木村彰一他、(博友社)
『パスポート初級露和辞典』、米重文樹、(白水社) など。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

平常の授業の出来具合80%、授業への参加度20%の割合で評価します。

その他

ロシア語の辞書については授業で紹介しますので、購入しておく必要はありません。

授業の概要・到達目標

ロシア語ⅠAにひきつづき名詞、形容詞の格変化を学ぶとともに、初歩的な会話の表現について勉強します。なるべく多くの文章にあたり平易な文を読む基礎力をつけること、基本的な会話の表現を身につけることが秋学期の学習目標です。

授業内容

教科書の第12課までおよそ次のようなことを学びます。

- 第1回：春学期の復習
- 第2回：生格と所有の表現
- 第3回：人称代名詞の格変化
- 第4回：形容詞の性・数変化(2)
- 第5回：動詞の過去形
- 第6回：与格の形と用法
- 第7回：「どこへ行くところ？」の表現（「行く・来る」の動詞の変化と用法）
- 第8回：行先の表現 不定人称文
- 第9回：未来形一合成未来
- 第10回：対格と活動名詞・不活動名詞
- 第11回：動詞の体 体と時制
- 第12回：完了体動詞の現在形の用法 順序数詞
- 第13回：形容詞短語尾形 1人称命令法
- 第14回：秋学期の総復習

履修上の注意

ロシア語ⅠAにつづくクラスですが、春学期の授業を受講できない事情のある人は秋学期からの履修も可能です。その場合は春学期のはじめに履修登録しておくか、秋学期の履修修正期間に登録してください。

準備学習（予習・復習等）の内容

前期と同じく復習では授業で学習した単語や例文の音読をくり返しやりましょう。また予習については、次回の授業の学習範囲や課題を指示しますので、教科書を下読みし課題をやっておくようにしてください。学習内容が多少むづかしくなりますので、前期よりは予習にも力を入れてください。

教科書

『初級ロシア語20課』、桑野隆、(白水社)

参考書

とくに必要ありませんが、『新ロシア語入門』、佐藤純一、(日本放送出版協会) など。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

平常の授業の出来具合80%、授業への参加度20%の割合で評価します。

その他

英語の文法との類似点、相違点に注意して学習すると理解が深まり効果的です。

科目ナンバー：(LP)LAN151J

■ 春学期 ■ 1単位

ロシア語ⅠA

担当者 恩田 義徳



科目ナンバー：(LP)LAN151J

■ 秋学期 ■ 1単位

ロシア語ⅠB

担当者 恩田 義徳



授業の概要・到達目標

授業概要

ロシア語を初めて学ぶ人を対象にします。

ロシア語の文字の読み方から始め、単語や簡単な文の発音練習を通して基本的な文法について学びます。

また、ロシアの文化や歴史など言語以外のことも適宜紹介します。

授業の目標

ロシア語の単語や簡単な文を正確に発音できることを目標にします。

また基礎的な文法事項を身に付け、秋学期につなげられるようにします。

授業内容

- (1) 授業計画、方針、参考書等の紹介
 - (2) 第1課
 - (3) 第2課
 - (4) 第3課
 - (5) 第4課
 - (6) 文字と発音のまとめ
 - (7) 第5課
 - (8) 第6課
 - (9) 第7課
 - (10) 第8課
 - (11) 第9課
 - (12) 第10課
 - (13) これまでの復習
 - (14) a. 今学期のまとめ b. 期末試験
- ただし、授業の進み具合によって多少前後することが考えられます。

履修上の注意

音読をする時間が多くなるので、飲み物等は持参してください。

また状況に応じてマスクをするなどの感染症対策を行ってください。
なお、初回に授業の説明等を行いますので必ず出席してください。

準備学習（予習・復習等）の内容

予習よりも復習に力を入れてください。

授業で習ったことは翌週までに覚えるよう心掛けてください。

教科書

はじめはプリントを配布します。

教科書は受講者の様子を見て授業中に案内します。

参考書

授業中に指示します。

ロシア語の辞書をもっていない人は指示があるまで購入しないでください。

なお、電子辞典、スマホアプリは学習の妨げになるので使用しないでください。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業への参加度（50％）

期末試験（50％）

その他

授業の概要・到達目標

授業概要

春学期開講のロシア語ⅠAの続きとなります。

ロシア語の単語や簡単な文の発音練習を通して基本的な文法について学びます。

また、ロシアの文化・歴史など言語以外のことも適宜紹介します。

授業の目標

ロシア語の基礎的な文法を理解し、短い文をスムーズに発音できるようになることを目標にします。

授業内容

- (1) 春学期の復習
 - (2) 第11課
 - (3) 第12課
 - (4) 第13課
 - (5) 動詞の変化のまとめ
 - (6) 第14課
 - (7) 第15課
 - (8) 第16課
 - (9) 名詞の変化のまとめ
 - (10) 第17課
 - (11) 第18課
 - (12) 第19課
 - (13) 第20課
 - (14) a. 今学期のまとめ b. 期末試験
- ただし、授業の進み具合によって多少前後することが考えられます。

履修上の注意

音読をする時間が多くなるので、飲み物等は持参してください。

また状況に応じてマスクをするなどの感染症対策を行ってください。
春学期からの通年での履修が望ましいです。

準備学習（予習・復習等）の内容

予習よりも復習に力を入れてください。

授業で習ったことは翌週までに覚えるよう心掛けてください。

教科書

はじめはプリントを配布します。

教科書は受講者の様子を見て授業中に案内します。

参考書

授業中に指示します。

ロシア語の辞書をもっていない人は指示があるまで購入しないでください。

なお、電子辞典、スマホアプリは学習の妨げになるので使用しないでください。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業への参加度（50％）

期末試験（50％）

その他

科目ナンバー：(LP)LAN251J

■ 春学期 ■ 1単位

ロシア語ⅡA

担当者 杉山 春子

授業の概要・到達目標
初級文法の基礎をひととおり学び、これから中級をめざす人のための講座です。
この講座では、**初級で学んだことに新しい知識を補充していきます**。文法は、「言葉のしくみ」の体系全体のことです。
初級、中級というのは、語学学習上の区分ですので、レベルアップすると言っても、急に難しくなることはありません。
実際は、ロシア語のしくみがもっとよく分かる、自信をもって使えるようになる、ということになります。
◎この授業の目標は、3つです。
1) 日常的なロシア語に必要な文法知識を習得すること。
2) ロシア事情、ユーラシアの自然、地理、歴史、風俗習慣についての説明文やロシア語文学など、読みたいジャンルのテキストを、気軽に読めるようになること。
3) 日常的なことについて簡単なロシア語で書けるようになること。
◎各回の基本テーマのほかに、自由演習では、読み物、作文の各テーマを、受講生の意欲、希望にそって 適宜、選択し、丁寧に楽しみながら学んでいきます。豊富な映像、音源を多用します。

授業内容
第1回：aのみ。イントロダクション
「中級をめざすロシア語」：ステップアップするための学びかた、「好きなテーマを見つけよう」
第2回：基本テーマ：名詞、形容詞の主格（1）
○自由演習：ロシア事情、ユーラシアの自然、地理、歴史
第3回：基本テーマ：名詞、形容詞の主格（2）
○自由演習：ロシア事情、ユーラシアの自然、地理、歴史
第4回：基本テーマ：形容詞の短語尾形、動詞の未来形
○自由演習：ロシア事情、ユーラシアの自然、地理、歴史
第5回：基本テーマ：前置格、否定小詞
○自由演習：ロシア事情、ユーラシアの自然、地理、歴史
第6回：基本テーマ：動詞の不定形と現在形（1）、男性・中性格詞の格変化（1）
○自由演習：ユーラシアの風俗習慣
第7回：基本テーマ：動詞の不定形と現在形（2）、男性・中性名詞の格変化（2）
○自由演習：ユーラシアの風俗習慣
第8回：基本テーマ：数量生格、否定生格、女性名詞単数の格変化
○自由演習：ユーラシアの風俗習慣
第9回：基本テーマ：人称代名詞、疑問代名詞の格変化
○自由演習：ユーラシアの風俗習慣
第10回：基本テーマ：定動詞と不定動詞、動詞・形容詞の格支配
○自由演習:ロシア語文学：詩と散文
第11回：基本テーマ：無人称文と与格
○自由演習：ロシア語文学：詩と散文
第12回：基本テーマ：男性名詞複数の格変化
○自由演習：ロシア語文学：詩と散文
第13回：基本テーマ：中性名詞、女性名詞複数の格変化
○自由演習：ロシア語文学：詩と散文
第14回：a 課題または試験 b 講義全体のふりかえりと正答解説

履修上の注意
◎ 4回以上、欠席しないようにすること。
◎ レベルの不一致を避けるために、履修条件として、下記のいずれかに該当すること。
1) 学部間共通外国語ロシア語ⅠA、B、または、学部開講科目で初級程度の単位を取得した方。
2) 学部間共通外国語ロシア語会話ⅠA、ⅠBの単位を取得し、初級文法の知識がある方。
3) 上記の条件と同等のロシア語の語学力を証明できる場合。
その他、相談に応じます。ガイダンスに参加してください。

準備学習（予習・復習等）の内容
◎授業の前後に、復習、予習をすることで、学習成果が倍増します。少しでも気になることがあったら辞書で調べること、また、音読をしたり、筆写したロシア語に力点をふってみましょう。基礎演習の段階で正しい発音、力点を覚えることは、文法知識を身につけることと同じく重要なことです。中級レベルをめざしてロシア語を習得していくプロセスを楽しみながら、学習したことを正確に記憶するようにしましょう。

教科書
1) 『ロシア文法の基礎』（改訂版）木村影一著 白水社
2) 国際ロシア語教授者協会認定の教材、その他、オリジナル・プリント。（無料配布）

参考書
『博友社ロシア語辞典、改訂新版』 木村彰一 編（博友社）
『研究社露和辞典』 東郷正延 編（研究社）など、その他、相談に応じます。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法
◎ 授業参加と課題提出（両方セットです）で出席点となり、これが50パーセント、課題の正解率が50パーセント。
4回以上、欠席の場合、単位認定、成績評価の対象外となります。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN251J

■ 秋学期 ■ 1単位

ロシア語ⅡB

担当者 杉山 春子

授業の概要・到達目標
ロシア語文法の基礎をひととおり学び、これから中級をめざす人のための講座です。文法は、「言葉のしくみ」の体系ですので、初級、中級という区分はあくまでも学習上の区分にすぎません。レベルアップする、といっても、急に難しくなる、ことはありません。ロシア語ⅡAの授業と同様に、初級文法を土台に、その延長線上に、新しい文法知識を補充していきます。
◎授業の目標は3つです。
1) 日常的なロシア語に必要な文法知識を習得すること。
2) ロシア事情、ユーラシアの自然、地理、歴史や風俗習慣についての説明文、ロシア語文学など、読みたいジャンルのテキストを気軽に読めるようになること。
3) 日常的なことを簡単なロシア語で書けるようになること。
◎ロシア語のしくみに慣れてくると、楽しさは倍増します。
◎各回の基本テーマのほかに、自由演習として、読み物、作文については、受講生の意欲、希望にそって適宜、選択し、丁寧に楽しみながら学びます。ロシア製の豊富な音源、映像を多用します。

授業内容
第1回：a、ガイダンス
「中級をめざすロシア語」：ステップアップのための学び方、「好きなテーマを見つけよう」
第2回：基本テーマ：名詞の特殊格変化
○自由演習：ロシア事情、ユーラシアの自然、地理、歴史
第3回：基本テーマ：数詞、集合数詞
○自由演習：ロシア事情、ユーラシアの自然、地理、歴史
第4回：基本テーマ：形容詞的名詞の格変化
○自由演習：ロシア事情、ユーラシアの自然、地理、歴史
第5回：基本テーマ：動詞の完了体、完了体の形成（1）
○自由演習：ロシア事情、ユーラシアの自然、地理、歴史
第6回：基本テーマ：動詞の完了体、完了体の形成（2）、仮定法
○自由演習：ユーラシアの風俗習慣
第7回：基本テーマ：形容詞の格変化、部分生格、述語としての造格
○自由演習：ユーラシアの風俗習慣
第8回：基本テーマ：形容詞比較級、最上級
○自由演習：ユーラシアの風俗習慣
第9回：基本テーマ：時に関する表現、順序数詞
○自由演習：ユーラシアの風俗習慣
第10回：基本テーマ：個数詞の格変化、個数詞と名詞、形容詞の結合
○自由演習：ロシア語文学：詩と散文
第11回：基本テーマ：関係代名詞、関係副詞
○自由演習：ロシア語文学：詩と散文
第12回：基本テーマ：副動詞、能動形動詞
○自由演習：ロシア語文学：詩と散文
第13回：基本テーマ：被動形動詞
○自由演習：ロシア語文学：詩と散文
第14回：a 課題または試験 b 講義全体のふりかえりと正答解説

履修上の注意
◎ 4回以上、欠席しないようにすること。
◎ レベルの不一致を避けるために、履修条件として、下記のいずれかに該当すること。
1) 学部間共通外国語科目ロシア語ⅡA、または、学部開講科目で初級程度の単位を取得した方。
2) 学部間共通外国語ロシア語会話ⅠA、ⅠBの単位を取得し、初級文法の知識がある方。
3) 上記と同様のロシア語の語学力を証明できる方。
その他、相談に応じます。ガイダンスに参加してください。

準備学習（予習・復習等）の内容
◎春学期と同様に、授業の前後に予習復習をしておくと、能率が上がります。例文、練習問題、文章などを、何度も繰り返し声に出して読み、文法に照らし合わせて、理解を深め、正確に丁寧に記憶すると良いでしょう。活きたロシア語の文や文章表現を丁寧に学んでいきますので、それを支えている「言葉のしくみ」、つまり、文法も、わかり易く、語感も次第に養われてきます。

教科書
『ロシア語文法の基礎』（改訂版）木村影一著 白水社
◎ 国際ロシア語教授者協会認定のロシア語教材、その他、オリジナル・プリント。（無料配布）

参考書
『博友社ロシア語辞典、改訂新版』 木村彰一 編（博友社）
『研究社露和辞典』 東郷正延 編（研究社）

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法
◎ 授業参加と課題提出（両方セットです）で出席となり、これが50パーセント、課題正解率が50パーセント。
◎ 4回以上欠席の場合、単位認定、成績評価の対象外となります。

その他

科目ナンバ－：(LP)LAN155N

■ 春学期 ■ 1単位

ロシア語会話ⅠA

担当者 杉山 春子



科目ナンバ－：(LP)LAN155N

■ 秋学期 ■ 1単位

ロシア語会話ⅠB

担当者 杉山 春子



授業の概要・到達目標

ロシア語を会話から始めたい人、あるいは、すでに語学の授業を履修したけれど会話の授業を受けてみたい人、とにかく気軽に話せるようになりたい人など、ロシア語会話に興味のある人が対象です。ロシア語は世界で最も美しい言語の一つです。レベルⅠの到達目標は3つです。1) 音声トレーニングで、きれいな発音、自然なリズム・イントネーションの基本を身につけること。2) 会話に必要な言葉のしぐみに慣れること。3) 簡単な文だけでも、心のかようなコミュニケーションができるようになること。さて、私たち人類は、話し言葉からコミュニケーションを始め、文化を創ってきました。また、文化はいつも新しい言葉を生み、文化を発展させてきました。言葉の壁をのり越えて、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションを身近に感じるためには、異文化理解が肝要です。この講座では、「言葉と文化」をバランスよく学びながら、日常的な会話をつみ重ねて実力をつけていきます。文化トピックについては、受講生の希望をとり入れて決めていきたいと思っています。

授業内容

- 第1回：ガイダンス「授業の進め方、勉強の仕方」
ロシア語の文字と発音、挨拶の言葉
- 第2回：文化トピック：日本とロシア
アルファベットと文字の発音、「これは、アンドレイです」
- 第3回：文化トピック：ユーラシアの自然地理
母音と子音の発音、「うちの娘はバレリーナです」
- 第4回：文化トピック：ロシア語の起源
「この女の人ですか?」、「これは何ですか?」
- 第5回：文化トピック：キウからモスクワへ
「なんの辞書ですか?」、「私のリュックはどこ?」
- 第6回：文化トピック：民謡「カリンカ」
「あなたのお名前は?」
- 第7回：文化トピック：心の中風景、ロシア語の詩
「次の駅は大学です」
- 第8回：文化トピック：民謡「カチューシャ」
「こんにちはニコライです。お元気ですか?」
- 第9回：文化トピック：ロシア絵画
「何時ですか?」
- 第10回：文化トピック：世界遺産 - モスクワ・クレムリン
「入っていいですか?」、「今日は昨日ほど暑くない」
- 第11回：文化トピック：世界遺産 - 赤の広場
「今日は何曜日ですか?」、「昨日は金曜日でした」
- 第12回：文化トピック：モスクワ大学と学生街
「私はここに来たばかりです」、「ポーランドにいらしたことがありますか?」
- 第13回：文化トピック：文学散歩
「新しい映画をごらんになった?」
- 第14回：a. 試験または課題。b. 授業全体のふり返りと正答解説。

履修上の注意

- 4回以上、欠席しないようにすること。

準備学習（予習・復習等）の内容

予習、復習を少しづつ、丁寧に仕上げていくことで、ロシア語会話の授業が楽しくなります。発音、リズム・イントネーションを練習すること。単語、会話文をくり返し音読して、暗記すること。また、書いてみることで「言葉のしぐみ」も正確に覚えることができます。

教科書

- 初級から使えるロシア語文法マニュアルとして下記、を購入のこと。
『ロシア文法の基礎』（改訂版） 木村影一著 白水社
- その他、オリジナル・プリント

参考書

『博友社ロシア語辞典』 木村影一編（白水社）、その他、教室で相談に応じます。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業への貢献度： 積極的な参加、課題への取り組みが50パーセント、課題、小テスト、試験の正答率が50パーセント。
欠席が4回以上の場合、成績評価の対象外となります。

その他

授業の概要・到達目標

ロシア語を会話から始めてみたい人、語学の授業は履修したけれど会話は初めての人、あるいは、気軽にロシア語を話せるようになりたい人など、ロシア語会話に興味のある人が対象です。ロシア語は世界で最も美しい言語の一つです。この授業の目標は3つあります。1) きれいな発音、自然なリズム・イントネーションを身につけること。2) 会話に必要な言葉のしぐみに慣れること。3) 簡単な文だけでも、心のかようなコミュニケーションを楽しめるようになること。さて、私たち人類は、話し言葉からコミュニケーションを始め、文化を創ってきました。また、文化はいつも新しい言葉を生み、文化を発展させてきました。言葉の壁をのり越え、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションを身近に感じて楽しむためには、異文化理解が肝要です。この講座では、「言葉と文化」をバランスよく学びながら、日常的な会話をつみ重ねて実力をつけま。文化トピックについては、受講生の希望をとり入れて決めていきたいと思っています。

授業内容

- 第1回：秋学期ガイダンス「授業の進め方、勉強の仕方」
- 第2回：文化トピック：黄金の秋
「ナターシャ、何をしているの?」
- 第3回：文化トピック：ユーラシアの自然風土
「ロシア語をもう長いこと勉強しているのですか?」
- 第4回：文化トピック：世界遺産－カザン（タタールスタン共和国）
「なんてよい香りなのでしょう」
- 第5回：文化トピック：世界遺産－ペテルブルク
「いま、私は都心に住んでいます」
- 第6回：文化トピック：ロシア語の詩
「いま、何をなさりたいですか?」
- 第7回：文化トピック：料理、食事
「それからカツレツがです」
- 第8回：文化トピック：民謡「モスクワ郊外の夕べ」
「花は台所に生けてあります」
- 第9回：文化トピック：文学散歩
「あなたはヘビースモーカーですか?」
- 第10回：文化トピック：パレエの殿堂
「なぜだか申し上げられませんが」
- 第11回：文化トピック：世界遺産－ツァールスコエ・セロー（ペテルブルク郊外）
「遅れるわけにはいきません」
- 第12回：文化トピック：伝統民具・工芸品
「お勉強中ですか?」
- 第13回：文化トピック：民謡「オイ・マロース」
「お名前は何とおっしゃいますか?」
- 第14回 a. 試験または課題、b. 講義全体のふり返りと正答解説

履修上の注意

- 4回以上、欠席しないようにすること。
- ロシア語会話ⅠBの受講は、ロシア語会話ⅠAの継続講座です。ロシア語を初めて学ぶ方には、ロシア語会話ⅠA、あるいは、ロシア語ⅠAからの履修をお薦めします。
- レベルの不一致を避けるため、この講座には履修条件があります。下記のいずれかにあてはまること。
 - 学部間共通外国語ロシア語会話ⅠAの単位を取得した方。
 - 学部間共通外国語ロシア語ⅠA、あるいは、学部開講科目で入門程度のロシア語の単位を取得した方。
 - この講座を受講するための、ロシア語の基礎的な語学力を証明できる場合。

準備学習（予習・復習等）の内容

予習、復習を少しづつ、丁寧に積み上げることで、ロシア語会話の授業が楽しくなります。発音、リズム・イントネーションを練習すること。そして、テキストの単語や会話のロシア語をくり返し音読し、少しづつ暗記しましょう。単語や会話文のロシア語を書いてみることで、言葉のしぐみも、正確に身につけることができます。

教科書

- 初級から使える文法マニュアルとして下記の教科書を購入のこと。
『ロシア文法の基礎』（改訂版） 木村影一著 白水社
- その他、オリジナル・プリント

参考書

『博友社ロシア語辞典』 木村影一編、その他、相談に応じます。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業への貢献度： 積極的な授業参加、課題への取り組みが50パーセント、課題、小テスト、試験の正答率が50パーセント。
4回以上欠席の場合、成績評価の対象外となります。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN255N

■ 春学期

■ 1単位

ロシア語会話ⅡA

担当者

杉山 春子

授業の概要・到達目標

基礎的なロシア語を学んだ経験があり、ロシア語会話をしてみたい、会話からロシア語文法を習得したい人のための講座です。ロシア語は世界で最も美しい言語の一つですので、音楽性も楽しみながら学んでいきましょう。目標はつぎの3つです。1) 音声トレーニングで発音矯正を受けながら、きれいな発音、正しいリズム・イントネーションを身につけること、2) ロシア語会話Ⅰよりもレベル・アップした会話に必要な、「言葉のしくみ」に慣れること、3) 心のかようロシア語でのコミュニケーションを楽しみながらできるようにすること。人類は、話し言葉からコミュニケーションを始め、文化を創ってきました。また、文化はいつも新しい言葉を生み、文化を発展させてきました。言葉の壁をのり越えて、ネイティヴ・スピーカーとのコミュニケーションを身近に感じるには、文化的な理解が肝要です。「言葉と文化」をバランスよく学び、現地映像、ロシア人の俳優が演じるスキットを適宜、交えて、日常会話の練習をつみ重ねていきます。文化トピックについては、ロシア、ウクライナ、ユーラシア文明を視野に入れた観点から、受講生の希望をとり入れて決めていきたいと思います。

授業内容

- 第1回：ガイダンス：授業の進め方、学習の仕方
「会話のリズム・イントネーションと速度について」；「ニーナは黒っぽい髪の色をしています」
- 第2回：文化トピック： 東スラヴの国家起源
「ご出身は？」「ペテルブルクから来ました」
- 第3回：文化トピック： キーウ建都
「かさをお持ちですか」
- 第4回：文化トピック： 民謡「チューリャ・一週間の歌」(1)
「奥様はあなたにぞっくりです」
- 第5回：文化トピック： 民謡「チューリャ・一週間の歌」(2)
「試験が間近に迫っている」
- 第6回：文化トピック： 民謡「チューリャ・一週間の歌」(3)
「ご気分はいかがですか？」
- 第7回：文化トピック： 民謡「ヴォルガ川の源泉」
「朝食には何を召し上がりますか？」
- 第8回：文化トピック： 民謡「ステンカラージン」
「誰に手紙を書きたいの？」
- 第9回：文化トピック： ペテルブルク建都
「それならほんとに急がなくては」
- 第10回：文化トピック： バレエの殿堂
「レインコートを持っていきたい」
- 第11回：文化トピック： 在外ロシア文化・美術
「至急通話を申し込んだとしたら？」
- 第12回：文化トピック： ロシア語の詩、文学散歩
「はさみを貸してください」
- 第13回：文化トピック： 世界遺産・ペテルゴフ・夏の離宮
「今日の日付は？」
- 第14回：a. 課題または試験 b. 講義全体のふり返りと正答解説

履修上の注意

- 4回以上、欠席しないようにすること。
- この講座は、ロシア語の基本を習得している方が対象です。
- レベルの不一致を避けるため、下記いずれかの条件に該当することが必要です。
 - 1) 学部間共通外国語ロシア会話ⅠA、Bを履修した方。
 - 2) 学部間共通外国語ロシア語ⅠA、B、あるいは、学部開講科目で初級程度のロシア語の単位を取得した方。
 - 3) 上記の条件と同等の、ロシア語の基礎的な語学力を証明できる場合。

準備学習（予習・復習等）の内容

新しい単語、会話を声に出して覚える、書く練習をすること。そうしていると、知識も正確に定着します。練習をつみ上げていくことで、自然なロシア語でコミュニケーションが楽しくできるようになります。

教科書

- 『ロシア文法の基礎』（改訂版） 木村影一著 白水社
- オリジナル・プリント

参考書

『博友社ロシア語辞典、改訂新版』 木村影一編 （博友社）、その他相談に応じます。
電子辞書は不可です。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業への貢献度、積極的な参加、課題提出で50パーセント、課題、小テスト、試験の正答率で50パーセント。
(欠席が4回以上の場合、成績評価の対象外となります。)

その他

科目ナンバー：(LP)LAN255N

■ 秋学期

■ 1単位

ロシア語会話ⅡB

担当者

杉山 春子

授業の概要・到達目標

この講座は、ロシア語会話ⅡAの継続講座です。ロシア語は世界で最も美しい言語の一つですので、豊かな音楽性を楽しみながら学んでいきましょう。講座の目標は、春学期と同様に、3つです。1) 音声トレーニングで、発音矯正を受けながら、きれいな発音、正しいリズム・イントネーションを身につけること。2) レベルアップした会話に必要な「言葉のしくみ」に慣れること。3) ロシア語で心のかようコミュニケーションが楽しみながら、できるようになること。さて、私たち人類は、話し言葉からコミュニケーションを始め、文化を創ってきました。また、文化はいつも新しい言葉を生み、文化を発展させてきました。言葉の壁をのり越えてネイティヴ・スピーカーとのコミュニケーションを身近に感じるには、異文化理解が肝心です。「言葉と文化」をバランスよく学び、現地映像、ロシア人の俳優が演じるスキットを適宜、交えて、日常会話をつみ重ねていきます。文化トピックは、ロシア、ウクライナ、ユーラシア文明を視野に入れ、受講生の希望をとり入れて決めていきたいと思います。

授業内容

- 第1回：ガイダンス：授業の進め方、学習の仕方
ロシア語で「自己紹介を練習しよう」
- 第2回：文化トピック：極東地域・イルクーツク
「バレリーナになることを夢見たときもあります」
- 第3回：文化トピック：シベリア鉄道 (1)
「ヴァシーリエフの絵は気に入りましたか」
- 第4回：文化トピック：シベリア鉄道 (2)
「スケートリンクへ行くところです」
- 第5回：文化トピック：シベリア鉄道 (3)
「毎日、町中、車を乗り回しています」
- 第6回：ロシア文化；民謡「バイカル湖のほとりで」
「どちらにお出かけでしたか？」
- 第7回：文化トピック；劇場文化ー オペラ
「あすの討論会にいかれますか？」
- 第8回：文化トピック；心の原風景ーミハイロフスコエ
「サーカスに行ってきました」？
- 第9回：文化トピック；ロシア語の詩
「2歳と6か月です」「いつも早起きなのですか？」
- 第10回：文化トピック；ロシア正教の総本山
「こんなマトリョーシカを見るのははじめてです」
- 第11回：文化トピック；映画
「誰にも言わないでください」
- 第12回：文化トピック；ドニエプル川を望む、古くて新しい都市スモレンスク
「誰からの手紙ですか？」、「これは私宛の手紙ですか？」
- 第13回：文化トピック； 冬の祝祭、バター祭り
「友達のところへ行くところです」
- 第14回：a. 課題または試験, b. 講義全体のふり返りと正答解説

履修上の注意

- ◎ 4回以上、欠席しないようにすること。
- この講座は、ロシア語会話ⅡAの継続講座です。学習効果を上げるためにも、ロシア語会話ⅡAからの継続受講をお勧めします。
- ロシア語会話ⅡBから会話を受講する場合、履修条件として、レベルの不一致を避けるために、下記、いずれかに該当すること。
 - 1) 学部間共通外国語ロシア語会話ⅡAの単位を取得した方。
 - 2) 学部間共通外国語ロシア語ⅠAとⅠB、あるいは、学部開講科目で初級程度のロシア語の単位を取得した方。
 - 3) 上記の条件と同等の、ロシア語の基礎的な語学力を証明できる場合。

準備学習（予習・復習等）の内容

新しい単語、会話は声を出したり、書いてみて正確に覚えること。そうしていると、知識も正確に定着します。少しずつ丁寧に積み上げていくことで、自然なロシア語でのコミュニケーションが楽しめるようになります。

教科書

- 『ロシア文法の基礎』（改訂版） 木村影一著 白水社
- その他、オリジナル・プリント

参考書

『博友社ロシア語辞典』 木村影一編 博友社、その他、相談に応じます。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業への貢献度、積極的な参加、課題提出が50パーセント、課題、小テスト、試験の正答率が50パーセント。
欠席が4回以上の場合、成績評価の対象外となります。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN141J

■ 春学期 ■ 1単位

スペイン語ⅠA

担当者

稲森 広朋



科目ナンバー：(LP)LAN141J

■ 秋学期 ■ 1単位

スペイン語ⅠB

担当者

稲森 広朋



授業の概要・到達目標

スペイン語の基本文法と簡単な表現を学ぶ。スペイン語初学者や学び直したい受講生を対象とする。また、ビデオ等の副教材も積極的に活用することで学習した項目の定着を図る。言語習得を目的とした講座であるが、その背景となる文化や社会についても適宜、紹介していく予定。

授業内容

- 第1回：イントロダクション（スペイン語の世界）
- 第2回：アルファベット，単語の読み方，アクセント
- 第3回：主格人称代名詞，名詞の性数，冠詞
- 第4回：動詞serとestar，形容詞
- 第5回：動詞hay，前置詞
- 第6回：直説法現在（-ar動詞）
- 第7回：直説法現在（-er動詞）
- 第8回：直説法現在（-ir動詞）
- 第9回：直説法現在（1人称のみが不規則）
- 第10回：ビデオ教材による学習
- 第11回：語幹母音変化動詞
- 第12回：指示形容詞，指示形容詞，指示代名詞
- 第13回：疑問文，否定文，否定疑問文
- 第14回：a：まとめ
b：試験

履修上の注意

語学学習は反復練習が大切なので，毎回，予習と復習に取り組むことが望ましい。尚，初学者には予習と復習のポイントは授業内に指示する。

準備学習（予習・復習等）の内容

次回の授業範囲について事前に教科書等で調べておくこと。

教科書

栗林ゆき絵、矢坂協子、他『新・エストレリータースペイン語入門コースー』（朝日出版、2019年改訂初版）、ISBN978-4-255-55104-3 C1087

参考書

参考書は使用しない。

課題に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーの全体講評を Oh-ol Meiji で毎週公開する。

成績評価の方法

平常点（30%），試験点（70%）の合算によって成績判定を行う。

その他

初回の授業でいくつか辞書を紹介するので，2回目以降の授業には必ず持参すること。

授業の概要・到達目標

スペイン語の基礎を学び終えた受講生が，更に発展的な内容を学習する場とする。スペイン語の様々な用法を学習し，一連の内容を盛り込んだ表現の反復練習を行う。ビデオ等の副教材も適宜活用し，学習内容の強化を目指す。

授業内容

- 第1回：イントロダクション（スペイン語の世界）
- 第2回：目的格人称代名詞
- 第3回：gustar型動詞
- 第4回：天候表現，時間表現
- 第5回：無人称表現
- 第6回：前置詞格人称代名詞，hacerを使った表現
- 第7回：ビデオ教材による学習（その1）
- 第8回：再帰動詞（その1）
- 第9回：再帰動詞（その2）
- 第10回：現在分詞の用法，進行形
- 第11回：過去分詞の用法，現在完了
- 第12回：ビデオ教材による学習（その2）
- 第13回：不定語，否定語
- 第14回：a：まとめ
b：試験

履修上の注意

スペイン語ⅠAを受講した者，または同等の語学力がある受講生が望ましい。

準備学習（予習・復習等）の内容

次回の授業範囲について事前に教科書等で調べておくこと。

教科書

栗林ゆき絵、矢坂協子、他『新・エストレリータースペイン語入門コースー』（朝日出版、2019年改訂初版）、ISBN978-4-255-55104-3 C1087

参考書

参考書は使用しない。

課題に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーの全体講評を Oh-ol Meiji で毎週公開する。

成績評価の方法

平常点（30%），試験点（70%）の合算によって成績判定を行う。

その他

辞書は必ず持参すること。

科目ナンバー：(LP)LAN141J

■ 春学期 ■ 1単位

スペイン語ⅠA

担当者 松浦 芳枝



科目ナンバー：(LP)LAN141J

■ 秋学期 ■ 1単位

スペイン語ⅠB

担当者 松浦 芳枝



授業の概要・到達目標

スペイン語文法の基礎を丁寧に学びます。多くの例題を通じて、また、練習問題を解くことによってより良い理解を図ります。

各課では、文法事項の説明→短い会話文→練習問題・補助問題という順序で授業を展開して行きます。スペイン語圏の文化・社会への関心を高めてもらうように、随時関連トピックを紹介します。

授業中に小テストとして動詞の活用などをチェックする予定です。口頭での簡単な応用練習を繰り返して定着を目指します。また、可能な限り、スペイン語圏の文化・現状についても言及します。

授業内容

- 第1回：この授業についての説明、スペイン語とスペイン語圏について
- 第2回：Lección 0 アルファベット及び発音
- 第3回：音節の分け方、アクセントのルール、主な挨拶表現
- 第4回：Lección 1 名詞の性別と数、冠詞、形容詞、主語の人称代名詞
- 第5回：動詞ser、否定文・疑問文、Diálogo, Ejercicios
- 第6回：Lección 2 動詞estar、serとの区別、存在を表すhay、指示詞、数字、接続詞yとo
- 第7回：所有形容詞前置形と後置形、Diálogo, Ejercicios
- 第8回：総括と中間テスト
- 第9回：中間テスト返却及び解説、Lección 3 直説法現在（規則動詞）の活用と用法
- 第10回：直接目的語と間接目的語、直説法現在（語根母音変化動詞）、数字
- 第11回：Diálogo, Ejercicios, Lección 4 直説法現在（1人称単数のみ不規則）
- 第12回：直説法現在（その他の不規則動詞）、接続詞、冠詞の基本用法、疑問詞
- 第13回：Diálogo, Ejercicios
- 第14回：a：まとめ、b：授業内試験

履修上の注意

復習と若干の予習（特に練習問題）が重要です。授業中はその場で答えるトレーニングになるので、集中力が必要です。

準備学習（予習・復習等）の内容

各授業後の復習と次週に予定されている項目の予習（練習問題）が重要です。

教科書

『文法からいくスペイン語』、川口正通（朝日出版社）

参考書

辞書については第1回授業で指示します。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

平常点（テキストの発話、練習問題への対応を含む授業への参加、小テスト）20%
中間テスト30%、最終テスト50%

その他

*授業内容は、必要に応じて変更することがあります。

授業の概要・到達目標

この授業では、初級スペイン語の学習事項の中で特に分かりにくい項目を丁寧に学びます。春学期で学習した事項を復習、定着を確認してから、後半では、直説法現在形以外の時制にも入っていきます。語彙を増やして文を正しく理解することを目標にします。

各課では、文法事項の説明→簡単な会話文→練習問題・補助問題という順序で授業を展開して行きます。スペイン語圏の文化・社会への関心を高めてもらうように、随時関連トピックを紹介します。必要に応じて小テストを実施して、動詞の活用の確認をします。

授業内容

- 第1回：この授業についての説明、春学期の学習事項のまとめ（動詞の活用-1）
- 第2回：春学期の学習事項のまとめ（動詞の活用-2）、Lección 5 目的格人称代名詞
- 第3回：前置詞格人称代名詞、動詞gustarの用法
- 第4回：数字、時刻・日付・曜日、Diálogo, Ejercicios
- 第5回：Ejercicios 続き、Lección 6 主な前置詞、過去分詞
- 第6回：直説法現在完了、Diálogo
- 第7回：Ejercicios, Lección 7 再帰動詞
- 第8回：総括と中間テスト
- 第9回：中間テスト返却及び解説、Lección 7 再帰動詞続き
- 第10回：不定主語文、現在分詞、Diálogo, Ejercicios
- 第11回：Ejercicios続き、Lección 8 直説法点過去規則活用
- 第12回：直説法点過去不規則活用、天候の表現
- 第13回：動詞hacerを用いた時間表現、Diálogo, Ejercicios
- 第14回：a：まとめ b：授業内試験

履修上の注意

復習と若干の予習（特に練習問題）が重要です。授業中はその場で答えるトレーニングになるので、集中力が必要です。

準備学習（予習・復習等）の内容

各授業後の復習と次週に予定されている項目の予習（練習問題）が重要です。

教科書

『文法からいくスペイン語』、川口正通（朝日出版社）

参考書

授業中に随時指示します。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

平常点（テキストの発話、練習問題への対応を含む授業への参加、小テスト）20%
中間テスト30%、最終テスト50%

その他

*授業内容は、必要に応じて変更することがあります。

科目ナンバー：(LP)LAN141J

■ 春学期 ■ 1単位



スペイン語ⅠA

担当者

メンドサ、オスカル

授業の概要・到達目標

スペイン語文法の基礎とスペイン語圏文化を交えて学んでいく。簡単な語彙を用い、旅行などで使える最低限の会話ができることを目的とする。まず、文法の基本的説明を行い、文例に従い練習問題をこなしていく。また、現実的状况を想定し、ビデオ教材を用いて日常会話を修得していく。

授業内容

- 第1回：挨拶と自己紹介をする アルファベットと発音、スペイン語圏の国々
- 第2回：国々と国籍、簡単な単語、スペイン圏の世界遺産
- 第3回：他者を紹介する、国籍、職業
- 第4回：serとtener動詞－現在形、文の使い方 主語人称代名詞、スペイン語の動詞について
- 第5回：定冠詞と不定冠詞の用法 規則動詞－現在形 相手を指す代名詞 疑問代名詞
- 第6回：名詞の性、名詞の数、形容詞の性数、形容詞の用法
- 第7回：電話番号や住所を尋ねる tú と usted の使い方
- 第8回：家族を紹介する 個人情報やりとりする、物や人の住所
- 第9回：所有（誰そのの）を表現する 所有形容詞前置形、従属節の作り方
- 第10回：時刻の表し方 estar動詞－現在形 指し代名詞
- 第11回：時間を尋ねると伝える スペイン語圏の家族、お祝いの習慣
- 第12回：仕事（場所、職業、時間帯）について話す 日常生活について話す
- 第13回：朝食を注文する 再帰代名詞－現在形 不規則動詞－現在形
- 第14回：前置詞、前置詞の主な用法（al＋不定）詞 スペイン人の生活習慣－時間、まとめ

履修上の注意

授業の予習・復習をしておくこと。

準備学習（予習・復習等）の内容

授業の予習・復習をしておくこと。

教科書

Español。プリントを配る

参考書

『ポケット プログレッシブ 西和・和西辞典』（小学館）

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

課題100％により総合的に評価する。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN141J

■ 秋学期 ■ 1単位



スペイン語ⅠB

担当者

メンドサ、オスカル

授業の概要・到達目標

スペイン語文法の基礎とスペイン語圏文化を交えて学んでいく。簡単な語彙を用い、旅行などで使える最低限の会話ができることを目的とする。まず、文法の基本的説明を行い、文例に従い練習問題をこなしていく。また、現実的状况を想定し、ビデオ教材を用いて日常会話を修得していく。

授業内容

- 第1回：住まいを描写する 家具や電化製品の名前
- 第2回：場所や存在を示す ホテルの予約をする
- 第3回：定冠詞と不定冠詞 hay（存在を表す）とestar（所在を表す）
- 第4回：序数詞 スペインの住まい
- 第5回：食べる レストランで食事を注文する
- 第6回：好みを表現する gustar動詞 querer動詞
- 第7回：料理のレシピを理解する 命令形の規則形
- 第8回：スペイン圏の食習慣ト
- 第9回：地区 交通機関について情報をやりとりする、指示をする
- 第10回：命令形、不規則 命令形の用法 serとestarの用法
- 第11回：依頼する 住んでいる地区を描写する
- 第12回：所有形容詞後置形
- 第13回：スペインの都市、サンティアゴ・デ・コンポステラ
- 第14回：復習、まとめ

履修上の注意

授業の予習・復習をしておくこと。

準備学習（予習・復習等）の内容

授業の予習・復習をしておくこと。

教科書

Español。プリントを配る

参考書

『ポケット プログレッシブ 西和・和西辞典』（小学館）

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

評価は授業の参加度100％により総合的に行う。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN145N

■ 春学期 ■ 1単位

事前



スペイン語会話 I A

担当者

バリエントス ロドリゲス

授業の概要・到達目標

この授業では、様々な会話表現・語彙を身につけ、スペイン語の力を伸ばすことを目指します。スペイン語の直接法現在形を用いて、正確に言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解できるよう、話すこと・聞くことに重点をおき、会話の練習をします。また履修者の興味に応じてスペイン語圏の様々な文化も授業でとりあげます。

授業内容

- 第1回：スペイン語の読み方を復習し、クラスメートとあいさつをし、自己紹介する
- 第2回：名前、職業、国籍や出身地について話す
- 第3回：基本的な動詞を使って毎日の生活を話す(1)
- 第4回：基本的な動詞を使って毎日の生活を話す(2)
- 第5回：自分の家族のこと、名前、年齢、性格、容姿等を話す(1)
- 第6回：自分の家族のこと、名前、年齢、性格、容姿等を話す(2)
- 第7回：自分の部屋、家、住んでいるところについて話す(1)
- 第8回：自分の部屋、家、住んでいるところについて話す(2)
- 第9回：中間試験、自分の好きなものや嫌いなものを話す(1)
- 第10回：自分の好きなものや嫌いなものを話す(2)、天気の説明をする
- 第11回：友達を誘ったり、頼む表現を覚え、買い物や食事の際の会話を学ぶ(1)
- 第12回：友達を誘ったり、頼む表現を覚え、買い物や食事の際の会話を学ぶ(2)
- 第13回：時間や曜日の表現を覚え、1日、1週間のスケジュールを話す
- 第14回：a. 春学期末試験 b. 春学期まとめ

履修上の注意

言語を学ぶ際に音読することは大切であるので、積極的にスペイン語を声に出して読むこと。辞書を持参すること。

準備学習（予習・復習等）の内容

あらかじめ教科書の文法の説明を読んで確認しておき、不明な点については質問を準備してくること。また、授業で出された宿題や課題は必ずやってくること。

教科書

『¡Imagínate! Nueva edición イラストで楽しもう、スペイン語！改訂版』浦真佐子、フランシスコ・バルティダ（朝日出版社）

参考書

授業時に適宜紹介します。

課題に対するフィードバックの方法

授業時に口頭で行う。

成績評価の方法

試験（50%）、口頭小テスト（25%）、授業参加および課題（25%）で評価します。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN145N

■ 秋学期 ■ 1単位

事前



スペイン語会話 I B

担当者

バリエントス ロドリゲス

授業の概要・到達目標

この授業では、様々な会話表現・語彙を身につけ、スペイン語の力を伸ばすことを目指します。直説法現在形・過去形を用いて、正確に言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解できるよう、話すこと・聞くことに重点をおき、会話の練習をします。また履修者の興味に応じてスペイン語圏の様々な文化も授業でとりあげます。

授業内容

- 第1回：春学期の復習（テキストのLección 1-7）
- 第2回：誕生日やクリスマスに友達にプレゼントを贈る際の会話やカードの書き方を学ぶ(1)
- 第3回：誕生日やクリスマスに友達にプレゼントを贈る際の会話やカードの書き方を学ぶ(2)
- 第4回：痛み、病気、体調が悪い時の表現を覚え、症状について話す(1)
- 第5回：痛み、病気、体調が悪い時の表現を覚え、症状について話す(2)
- 第6回：行ったことがある、食べたことがある等、経験を話し、道順や料理の作り方等について話す(1)
- 第7回：行ったことがある、食べたことがある等、経験を話し、道順や料理の作り方等について話す(2)
- 第8回：中間試験、過去にしたことや旅行について話す(1)
- 第9回：過去にしたことや旅行について話す(2)
- 第10回：身近な人物の一生について話す
- 第11回：子供の頃のことや旅行の思い出を話す(1)
- 第12回：子供の頃のことや旅行の思い出を話す(2)
- 第13回：子供の頃のことや旅行の思い出を話す(3)
- 第14回：a. 秋学期末試験 b. 秋学期まとめ

履修上の注意

言語を学ぶ際に音読することは大切であるので、積極的にスペイン語を声に出して読むこと。辞書を持参すること。

準備学習（予習・復習等）の内容

あらかじめ教科書の文法の説明を読んで確認しておき、不明な点については質問を準備してくること。また、授業で出された宿題や課題は必ずやってくること。

教科書

『¡Imagínate! Nueva edición イラストで楽しもう、スペイン語！改訂版』浦真佐子、フランシスコ・バルティダ（朝日出版社）

参考書

授業時に適宜紹介します。

課題に対するフィードバックの方法

授業時に口頭で行う。

成績評価の方法

試験（50%）、口頭小テスト（25%）、授業参加および課題（25%）で評価します。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN145N

■ 春学期 ■ 1単位



スペイン語会話ⅠA

担当者

メンドサ、オスカル

授業の概要・到達目標

この授業では、「話す力」と「聞いて理解する力」を重点的に育成するための、初歩的な会話練習を行なう。

スペイン語Ⅰで習得した基礎文法を応用し、教員のスペイン語の質問を理解し、直説法現在形と現在完了形を使って、日常生活に関する自分の情報や意思（自己紹介、自分の好きなこと、したいこと、できること）を伝えることができるスペイン語能力に到達することを目標とする。

授業内容

第1回：挨拶と自己紹介をする アルファベットと発音、スペイン語圏の国々

第2回：国々と国籍、簡単な単語、スペイン圏の世界遺産

第3回：他者を紹介する、国籍、職業

第4回：serとtener動詞－現在形、文の使い方 主語人称代名詞、スペイン語の動詞について

第5回：定冠詞と不定冠詞の用法 規則動詞－現在形 相手を指す代名詞 疑問代名詞

第6回：名詞の性、名詞の数、形容詞の性数、形容詞の用法

第7回：電話番号や住所を尋ねる tú と usted の使い方

第8回：家族を紹介する 個人情報やりとりする、物や人の住所

第9回：所有（誰そのの）を表現する 所有形容詞前置形、従属節の作り方

第10回：時刻の表し方 estar動詞－現在形 指し代名詞

第11回：時間を尋ねると伝える スペイン語圏の家族、お祝いの習慣

第12回：仕事（場所、職業、時間帯）について話す 日常生活について話す、

第13回：朝食を注文する 再帰代名詞－現在形 不規則動詞－現在形

第14回：前置詞、前置詞の主な用法 (al+不定) 詞 スペイン人の生活習慣－時間、まとめと

履修上の注意

授業には西和辞典を必ず持参すること。

毎回出される文法の練習問題の宿題を次の授業までに必ずしておくこと。

授業の予習・復習をしておくこと。

準備学習（予習・復習等）の内容

毎回出される文法の練習問題の宿題を次の授業までに必ずしておくこと。

授業の予習・復習をしておくこと。

教科書

Español。プリントを配る

参考書

『ポケット プログレッシブ 西和・和西辞典』（小学館）

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業への参加度と宿題（100％）によって総合的に評価する。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN145N

■ 秋学期 ■ 1単位



スペイン語会話ⅠB

担当者

メンドサ、オスカル

授業の概要・到達目標

この授業では、「話す力」と「聞いて理解する力」を重点的に育成するため、初歩的な会話練習を行なう。

教員のスペイン語の質問を理解し、直説法過去形を使って、日常生活に関する自分の情報や意思（自分や家族の経歴、思い出など）を伝えることができるスペイン語能力に到達することを目標とする。

授業内容

第1回：住まいを描写する 家具や電化製品の名前

第2回：場所や存在を示す ホテルの予約をする

第3回：定冠詞と不定冠詞 hay（存在を表す）とestar（所在を表す）

第4回：序数詞 スペインの住まい

第5回：食べる レストランで食事を注文する

第6回：好みを表現する gustar動詞 querer動詞

第7回：料理のレシピを理解する 命令形の規則形

第8回：スペイン圏の食習慣

第9回：地区 交通機関について情報をやりとりする、指示をする

第10回：命令形、不規則 命令形の用法 serとestarの用法

第11回：依頼する 住んでいる地区を描写する

第12回：所有形容詞後置形

第13回：スペインの都市、サンティアゴ・デ・コンポステラ

第14回：復習、まとめ

履修上の注意

授業には西和辞典を必ず持参すること。

毎回出される文法の練習問題の宿題を次の授業までに必ずしておくこと。

授業の予習・復習をしておくこと。

準備学習（予習・復習等）の内容

毎回出される文法の練習問題の宿題を次の授業までに必ずしておくこと。

授業の予習・復習をしておくこと。

教科書

Español。プリントを配る

参考書

『ポケット プログレッシブ 西和・和西辞典』（小学館）

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業への参加度と宿題（100％）によって総合的に評価する。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN191J

■ 春学期 ■ 1単位

イタリア語ⅠA

担当者

大崎 さの



科目ナンバー：(LP)LAN191J

■ 秋学期 ■ 1単位

イタリア語ⅠB

担当者

大崎 さの



授業の概要・到達目標

イタリア語を初めて学ぶ人のためのクラスです。イタリア語の発音から始め、基本的な文法を学習します。イタリア語表現を身につけ、簡単な文章の読解や作文ができるようになることを目標とします。言葉の背景となるイタリアの社会や文化についても随時紹介します。

授業内容

イタリア語のアルファベットから始め、綴り字の読み方を学びます。その後名詞や冠詞、動詞といった文法の基本事項を学んでいきます。あいさつや自己紹介等、簡単な会話表現の練習も行います。毎週練習問題に取り組み、習熟度を確認することにより、安心してイタリア語の力を伸ばすことができます。

- 第1回 インTRODakShION アルファベットと発音
- 第2回 日常の表現
- 第3回 名詞
- 第4回 不定冠詞
- 第5回 定冠詞
- 第6回 冠詞前置詞
- 第7回 直説法現在essere
- 第8回 直説法現在avere
- 第9回 形容詞①
- 第10回 形容詞②
- 第11回 規則動詞①
- 第12回 規則動詞②
- 第13回 規則動詞③
- 第14回 試験とまとめ

履修上の注意

言語の習得には、触れる回数を増やすことが一番の近道です。そのためにも、欠かさず出席してください。積極的な授業への参加を望みます。イタリア語力を確かなものとするために、復習は必須です。

準備学習（予習・復習等）の内容

予習は特にいりませんが、課題は必ず行うこと。

教科書

『初級イタリア語講座』杉本裕之著 朝日出版社

参考書

『ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典』小学館
その他の参考書については質問してください。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題）50％、期末試験50％

その他

自発的に学習に取り組んでください。

授業の概要・到達目標

イタリア語ⅠAを終えた人向けの初級クラスです。イタリア語のしくみを体系的に理解すると共に、読解力と作文力をさらに高めることを目標とします。言葉の背景となるイタリアの社会や文化についても随時紹介します。

授業内容

動詞の時制を中心に、文法の基本事項を習得すると同時に、さまざまなイタリア語表現を読み解く力を身に付けていきます。毎週練習問題に取り組み、習熟度を確認しますので、安心してイタリア語の力を伸ばすことができます。

- 第1回 直接法現在 不規則動詞(1) 補助動詞
- 第2回 直説法現在 不規則動詞(2) andare, dare, dire...
- 第3回 直説法現在 不規則動詞(3) まとめ
- 第4回 人称代名詞(1) 直接目的格 間接目的格 強勢形 結合形
- 第5回 人称代名詞(2) まとめ
- 第6回 再帰動詞(1) 直接目的格・間接目的格
- 第7回 再帰動詞(2) 相互的用法・代名動詞
- 第8回 再帰動詞(3) まとめ
- 第9回 命令法(1) are, ere, ire 否定命令
- 第10回 命令法(2) まとめ
- 第11回 近過去(1) 過去分詞 助動詞avereの場合
- 第12回 近過去(2) 助動詞essereの場合
- 第13回 近過去(3) まとめ
- 第14回 試験とまとめ

履修上の注意

言語の習得には、触れる回数を増やすことが一番の近道です。そのためにも、欠かさず出席してください。積極的な授業への参加を望みます。イタリア語力を確かなものとするために、復習は必須です。

準備学習（予習・復習等）の内容

予習は特にいりませんが、課題は必ず行うこと。

教科書

『初級イタリア語講座』杉本裕之著 朝日出版社

参考書

『ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典』小学館
その他の参考書については質問してください。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題）50％、期末試験50％

その他

自発的に学習に取り組んでください。

科目ナンバー：(LP)LAN191J

■ 春学期 ■ 1単位

イタリア語ⅠA

担当者

長野 徹



科目ナンバー：(LP)LAN191J

■ 秋学期 ■ 1単位

イタリア語ⅠB

担当者

長野 徹



授業の概要・到達目標

ゼロからイタリア語を学ぶ人のための入門クラス。

基礎的文法事項や基本単語を身に付け、簡単な日常会話や作文ができるようになることを目標とする。

授業内容

イタリア語のアルファベット・発音から始め、名詞・形容詞の語尾変化のパターンや冠詞などをおさえていく。動詞については、もっとも基本的な法・時制である直説法現在の語形変化や用法を学び、基礎的な表現力を養う。

第1回：イントロダクション・アルファベット

第2回：発音と綴り

第3回：名詞

第4回：冠詞

第5回：直説法現在 essere

第6回：直説法現在 avere

第7回：形容詞

第8回：直説法現在 規則動詞(1)

第9回：直説法現在 規則動詞(2)

第10回：直説法現在 規則動詞(3)

第11回：直説法現在 不規則動詞(1)

第12回：直説法現在 不規則動詞(2)

第13回：直説法現在 不規則動詞(3)

第14回：a. 試験 b. まとめ

履修上の注意

予習や辞書の使用は前提としないが、復習を欠かさないこと。

準備学習（予習・復習等）の内容

予習は必要ないが、毎回の授業内容はかならず復習し、しっかり身につけてから次回の授業に臨むこと。練習問題などの課題が出されているときには、かならずやってくること。

教科書

『初級イタリア語講座 Corso elementare d'italiano』、杉本裕之、朝日出版社

参考書

適宜、紹介する。

課題に対するフィードバックの方法

授業の中で解説・コメントするか、もしくはOh-olMeijiのレポート機能等を用いて解説・コメントをアップロードする。

成績評価の方法

平常点（授業への参加度・課題・小テスト）60%、期末試験40%

その他

授業の概要・到達目標

イタリア語ⅠAの履修者か同程度の内容を学習済みの人を対象にした初級クラス。

基礎的文法事項をおおよそ一通りおさえ、日常会話・作文・読解に対応しうる学力を身に付けることを目標とする。

授業内容

入門クラスで学んだ文法事項を土台にしつつ、過去・未来時制、命令法などを学び、さらに高度な表現力を養う。

第1回：イントロダクション・ⅠAの履修内容の復習

第2回：所有形容詞・所有代名詞

第3回：人称代名詞(1)

第4回：人称代名詞(2)

第5回：人称代名詞(3)

第6回：再帰動詞(1)

第7回：再帰動詞(2)

第8回：命令法(1)

第9回：命令法(2)

第10回：直説法近過去(1)

第11回：直説法近過去(2)・直説法半過去(1)

第12回：直説法半過去(2)・大過去・直説法未来(1)

第13回：直説法未来(2)

第14回：a. 試験 b. まとめ

履修上の注意

原則としてイタリア語ⅠAに相当する内容が既習であることを前提とするが、厳密な条件とするものではない（但し、未習者が授業についていくためには、自宅での学習など一定の努力は必要になるだろう）。

予習や辞書の使用は必須ではないが、復習を欠かさないこと。

準備学習（予習・復習等）の内容

予習は必要ないが、毎回の授業内容はかならず復習し、しっかり身につけてから次回の授業に臨むこと。練習問題などの課題が出されているときにはかならずやってくること。

教科書

『初級イタリア語講座 Corso elementare d'italiano』、杉本裕之、朝日出版社

参考書

適宜、紹介する。

課題に対するフィードバックの方法

授業の中で解説・コメントするか、もしくはOh-olMeijiのレポート機能等を用いて解説・コメントをアップロードする。

成績評価の方法

平常点（授業への参加度・課題・小テスト）70%、期末試験30%。

期末試験では、教科書・ノート・配布プリントは持ち込み可とする。

その他

<div>科目ナンバー：(LP)LAN291J</div> <div>■ 春学期 ■ 1単位</div> <div>イタリア語Ⅱ A</div> <div>担当者 長野 徹</div>	<div>科目ナンバー：(LP)LAN291J</div> <div>■ 秋学期 ■ 1単位</div> <div>イタリア語Ⅱ B</div> <div>担当者 長野 徹</div>
<div>授業の概要・到達目標</div> <div>中級文法。受動態、関係詞、ジェルンディオなどの中級レベルの文法事項と応用力を身に付ける</div> <div>授業内容</div> <div>「イタリア語Ⅰ」からの継続履修者を想定し、以下のような内容を予定しているが、履修者の学力に応じて多少変更する場合もある。文法の学習に、簡単な読物の講読などの応用的な内容を加味する。できる限り音声資料も用いる。</div> <div>第1回 イントロダクション・初級文法の復習（近過去・半過去・未来など）</div> <div>第2回 受動態(1)</div> <div>第3回 受動態(2) 比較級・最上級(1)</div> <div>第4回 比較級・最上級(2)</div> <div>第5回 応用（簡単な読物など）</div> <div>第6回 応用（簡単な読物など）</div> <div>第7回 関係詞(1)</div> <div>第8回 関係詞(2)</div> <div>第9回 ジェルンディオ・代名詞的小辞ciとne</div> <div>第10回 応用（簡単な読物など）</div> <div>第11回 応用（簡単な読物など）</div> <div>第12回 遠過去・先立過去</div> <div>第13回 応用（簡単な読物など）</div> <div>第14回 応用（簡単な読物など）</div> <div>履修上の注意</div> <div>「イタリア語Ⅰ」程度の学力を前提とするが、厳密な条件とするものではない。</div> <div>文法の学習では予習や辞書の使用は前提としないが、復習を欠かさないこと。</div> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div>原則として予習は特に必要ないが、毎回の授業内容はかならず復習し、しっかり身につけてから次回の授業に臨むこと。読解などの応用的な内容では、できる範囲内での予習を指示することもある。</div> <div>教科書</div> <div>プリントを配布する。</div> <div>参考書</div> <div>適宜、紹介する。</div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>授業の中で解説・コメントするか、もしくはOh-olMeijiのレポート機能等を用いて解説・コメントをアップロードする。</div> <div>成績評価の方法</div> <div>平常点（授業への参加度・課題・小テスト）100％</div> <div>その他</div> <div>意欲的な取り組みを期待する。</div>	<div>授業の概要・到達目標</div> <div>文法をひとつおりマスターし、応用力を養成する。目的に応じて自力でイタリア語の活用能力を開発できるようにする。</div> <div>授業内容</div> <div>条件法・接続法などの上級レベルの文法を学び、文法をひとつおりマスターする。その後、履修者の学力や興味も考慮しつつ、多様なテキスト（平易な読物、短篇小説・昔話・童話などの文学作品、イタリアの歴史・文化・社会などについて解説した文章、日本の文化をイタリア語で紹介した文章等）を講読し、応用力を身に付ける。できる限り音声資料も用いる。以下の授業計画は1例である。</div> <div>第1回 条件法(1)</div> <div>第2回 条件法(2)</div> <div>第3回 接続法(1)</div> <div>第4回 接続法(2)</div> <div>第5回 イタリアの歴史・文化・社会について書かれた文章</div> <div>第6回 イタリアの歴史・文化・社会について書かれた文章</div> <div>第7回 イタリアの歴史・文化・社会について書かれた文章</div> <div>第8回 イタリアの歴史・文化・社会について書かれた文章</div> <div>第9回 短編小説・昔話などの文学作品</div> <div>第10回 短編小説・昔話などの文学作品</div> <div>第11回 短編小説・昔話などの文学作品</div> <div>第12回 日本の文化をイタリア語で紹介した文章</div> <div>第13回 日本の文化をイタリア語で紹介した文章</div> <div>第14回 日本の文化をイタリア語で紹介した文章</div> <div>履修上の注意</div> <div>「イタリア語ⅡA」で学ぶ中級レベルまでの文法の学習を終えていることが理想だが、文法事項の復習や補足説明をしながら授業を進めていくので、さしあたっては「イタリア語Ⅰ」で学ぶ程度の文法を理解していればよい。</div> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div>文法の学習では予習は必要ないが、復習を欠かさぬこと。講読では、できる範囲内で単語の意味を調べるなどの予習をしてもらいたい。</div> <div>教科書</div> <div>プリントを配布する。</div> <div>参考書</div> <div>適宜、紹介する。</div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div>授業の中で解説・コメントするか、もしくはOh-olMeijiのレポート機能等を用いて解説・コメントをアップロードする。</div> <div>成績評価の方法</div> <div>平常点（授業への参加度・学習意欲、課題）100％</div> <div>その他</div> <div>意欲的な取り組みを期待する。</div>

科目ナンバー：(LP)LAN191J

■ 春学期 ■ 1単位

アラビア語ⅠA

担当者

木下 宗篤



科目ナンバー：(LP)LAN191J

■ 秋学期 ■ 1単位

アラビア語ⅠB

担当者

木下 宗篤



授業の概要・到達目標

「授業の概要」

アラビア語の基礎。具体的には、アラビア語の発音とアラビア文字の習得。および挨拶表現などの基本的表現。

「到達目標」

1. 基本的な発音ができるように。
2. アラビア文字の習得（書くのを中心に）
3. 簡単なあいさつができるように。
4. 自己紹介ができるように。

文字と簡単な表現を学びます。ⅠAの授業の第一目標は、アラビア文字を書けるようにすることです。見かけと違い、書くのが易しい文字です。簡単なあいさつや自己紹介もアラビア語でできるようになります。

授業内容

- 1 a：イントロダクション b：アラビア語についての概説
- 2 文字と発音を毎回数個ずつとりあげて、練習。同時に挨拶言葉もすこしずつとりあげていく。
- 3 a：文字と発音つづき（容易な発音1） b：挨拶（こんにちはに相当する表現）
- 4 a：文字と発音つづき（容易な発音2） b：挨拶、（さようなら、おはよう）
- 5 a：文字と発音つづき（英語にもある発音） b：挨拶（お元気ですか？）
- 6 a：文字と発音つづき（アラビア語特有の発音1） b：便利な表現（自己紹介）
- 7 a：文字と発音つづき（アラビア語特有の発音12） b：便利な表現（出身を言う）
- 8 教科書第1課「ようこそ」およびアルファベットの書き取りテスト
- 9 教科書第2課「あなたは東京出身ですか」および文字の付加的な記号
- 10 教科書第3課「お元気ですか」
- 11 教科書第4課「彼女の名前はファティマです」
- 12 教科書第5課「おはようございます」
- 13 教科書第6課「これはエジプトのパンですか」
- 14 a：まとめ b：期末試験

履修上の注意

新しい文字を使う言語ですので、習得のためには、授業の毎回出席、復習は必須です。

準備学習（予習・復習等）の内容

前半（文字の学習）は、毎回の内容を、配布プリントを参照しなくても書くことができるように復習。

後半（教科書）での学習では、学習した事項について、教科書付属の音声CDを使用して復習し、また、カタカナを見ないで、アラビア文字を読めるように練習すること。

教科書

『ニューエクスプレスプラス アラビア語』竹田敏之（白水社）
その他、文字練習用などのプリントを授業時に配布予定。

参考書

使用しない。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

書き取りテスト（10%）と定期試験（90%）の成績で評価する。
授業を5回以上欠席した場合は、期末試験の受験資格なし。

その他

授業の概要・到達目標

「授業の概要」

動詞や形容詞を使った、いろいろな表現
動詞の活用

ⅠAで学んだ簡単な言い回しを発展させて、単純な文や言い回しを使って、身の回りの基本的な事柄を表現する練習をします。また、アラビア文字の読み書きの練習も進めます。

「到達目標」

教科書の内容をアラビア文字だけで読み、書きができ、新出単語の半数以上を使えるようにすること。

授業内容

- 1 第7課「アラビア語を学んだことがありますか」文法事項中心
- 2 第7課「アラビア語を学んだことがありますか」（つづき）テキスト中心
- 3 第8課「あなたに兄弟はいますか」文法事項中心
- 4 第8課「あなたに兄弟はいますか」（つづき）テキスト中心
- 5 第9課「私たちは今ピラミッドの前にいます」文法事項中心
- 6 a 第9課「私たちは今ピラミッドの前にいます」（つづき） b 中間試験
- 7 第10課「ラクダに乗ったことがありますか」文法事項中心
- 8 第10課「ラクダに乗ったことがありますか」（つづき）テキスト中心
- 9 第11課「日本には数多くの大学がありますか」文法事項中心
- 10 第11課「日本には数多くの大学がありますか」（つづき）テキスト中心
- 11 第12課「コシャリを食べたことはありません」
- 12 第13課「サラーム書店に行きたいです」文法事項中心
- 13 第13課「サラーム書店に行きたいです」（つづき）テキスト中心
- 14 a まとめ b 期末試験

履修上の注意

アラビア語ⅠAの内容を修得済みとの前提で授業を進めます。（アラビア文字が書ける、簡単な言い回しを知っている人向け）

準備学習（予習・復習等）の内容

毎回、授業内容、教科書の該当テキストの復習は必ず行うこと。

特に、教科書付属のCDを何度も聴き、カタカナに頼らず、アラビア文字だけの文を音読すること。可能であれば、十回以上、テキストを音読することが望ましい。

教科書

『ニューエクスプレスプラス アラビア語』竹田敏之（白水社）

参考書

使用しません

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

中間試験（30%）と期末試験（70%）の成績で、評価します。
授業を5回以上欠席した場合は、期末試験の受験資格なし。

その他

<div>科目ナンバー：(LP)LAN291J</div> <div>■ 春学期 ■ 1単位</div> <div>アラビア語Ⅱ A</div> <div>担当者 木下 宗篤</div>	<div>科目ナンバー：(LP)LAN291J</div> <div>■ 秋学期 ■ 1単位</div> <div>アラビア語Ⅱ B</div> <div>担当者 木下 宗篤</div>
<div>授業の概要・到達目標</div> <div>「授業の概要」</div> <div>I Bに引き続き、基礎的な事項を学びます。</div> <div>動詞の表現が中心になります。</div> <div>I A、 I Bの学習事項も並行して復習して、基礎固めをします。</div> <div>「到達目標」</div> <div>現在、過去に加え、「～できる」,「～したい」などの表現を使いこなすのが目標。</div>	<div>授業の概要・到達目標</div> <div>「授業の概要」</div> <div>『アラビア語表現とことんトレーニング』を通じて、文の読み書きを練習する。Ⅱ Aでは取り上げきれなかった、基本文法の続きも学習。</div> <div>「到達目標」</div> <div>この授業終了後もアラビア語を独習できる力を身につける。具体的には、アラビア文字を普通に読む能力、辞書を引く能力を養う。</div>
<div>授業内容</div> <div>昨年度のアラビア語 I Bの続きとなります。</div> <div>a は引き続き『ニューエクスプレス アラビア語』の教科書で学習し、 b は新規の教科書『アラビア語表現とことんトレーニング』で基礎事項の演習を行います。</div> <div>1 a 第 8 課までの学習事項の確認</div> <div>2 a 第12課第までの学習事項の確認 b 第 1, 2, 3 課</div> <div>3 a 第13課 接続形 b 第 4, 5, 6 課</div> <div>4 a 第13課「サラーム書店に行きたいです」テキスト中心 b 第 7, 8, 9 課</div> <div>5 a 第14課「どちらがより近いですか」文法中心 b 第10, 11課</div> <div>6 a 第14課「どちらがより近いですか」テキスト中心 b 第12, 13課</div> <div>7 a 第15課「電話をお借りできますか」文法中心 b 第14課</div> <div>8 a 第15課「電話をお借りできますか」テキスト中心 b 中間試験</div> <div>9 a 第16課「もしもし、知美ですけど」 b 第15課</div> <div>10 a 第17課「タフフリール広場に行きたいのですが」 b 第16課</div> <div>11 a 第18課「私は青色が好きです」 b 第17課</div> <div>12 a 第19課「値引きしてもらえますか」 b 第18課</div> <div>13 a 第20課「エジプトで何日過ごしましたか」</div> <div>b 第20課「エジプトで何日過ごしましたか」(つづき)</div> <div>14 a まとめ b 期末試験</div>	<div>授業内容</div> <div>アラビア語Ⅱ Aの続きとして、演習作業として、引き続き「アラビア語表現とことんトレーニング」を使用。</div> <div>1 a 第18課 b 第19課</div> <div>2 a 第20課 b 第21課</div> <div>3 a 第22課 b 第23課</div> <div>4 a 第24課 b 第25課</div> <div>5 a 第26課 b 第27課</div> <div>6 a 第28課 b 第29課</div> <div>7 a 第30課 b 第31課 中間試験</div> <div>8 a 第32課 b 第33課</div> <div>9 a 第34課 b 第35課</div> <div>10 a 第36課 b 第37課</div> <div>11 a 第38課 b 第39課</div> <div>12 a 第40課 b 第41課第42課</div> <div>13 a 第43課 b 第44課第45課</div> <div>14 a 第46課 b 期末試験</div>
<div>履修上の注意</div> <div>アラビア語 I Bを履修したことを前提に授業を進めます。つまり、アラビア文字の基本的な読み書きを知っていること。動詞の現在形と過去形を使えること。</div>	<div>履修上の注意</div> <div>アラビア語Ⅱ Aを履修した(母音付きの簡単なアラビア語の文章が読解できる)ことを前提に授業を進めます。</div>
<div>準備学習(予習・復習等)の内容</div> <div>毎回、授業内容、教科書の該当テキストの復習は必ず行うこと。</div> <div>特に、教科書付属のCDを何度も聴き、アラビア文字だけの文を音読すること。</div> <div>『アラビア語表現とことんトレーニング』は、該当箇所を、事前に練習問題を解いてくこと。</div>	<div>準備学習(予習・復習等)の内容</div> <div>『アラビア語表現とことんトレーニング』の指定個所の練習問題を解いてくこと。</div>
<div>教科書</div> <div>『ニューエクスプレスプラス アラビア語』竹田敏之(白水社)(去年からの継続使用)</div> <div>『アラビア語表現とことんトレーニング』竹田敏之(白水社)(新規に必要)</div>	<div>教科書</div> <div>『アラビア語表現とことんトレーニング』竹田敏之(白水社)</div>
<div>参考書</div> <div>使用しません。</div> <div>ただし、</div> <div>単語帳が紙の本の形で欲しい学習者は：</div> <div>『例文で学ぶ アラビア語単語集』鷺見朗子(大修館書店)</div> <div>辞書が紙の本の形で欲しい学習者は：</div> <div>『パスポート 初級アラビア語辞典』本田 孝一(白水社)</div> <div>がお勧め。</div>	<div>参考書</div> <div>使用しません</div>
<div>課題に対するフィードバックの方法</div>	<div>課題に対するフィードバックの方法</div>
<div>成績評価の方法</div> <div>授業への参加度(50パーセント)と定期試験の点数(50パーセント)で評価します。</div> <div>授業を五回以上欠席した場合は、期末試験の受験資格なし。</div>	<div>成績評価の方法</div> <div>授業への参加度(50パーセント)と定期試験の点数(50パーセント)で評価します。</div> <div>授業を五回以上欠席した場合は、期末試験の受験資格なし。</div>
<div>その他</div>	<div>その他</div>

科目ナンバー：(LP)LAN171J

■ 春学期 ■ 1単位

2019年度以降入学者

韓国語ⅠA

2018年度以前入学者

朝鮮語ⅠA

担当者

伊藤 英人



授業の概要・到達目標

朝鮮語の基礎を学び、簡単な作文ができるようになるところまでを到達目標とします。

授業内容

- 第1回 朝鮮語とはどんなことばか。文字の仕組み
- 第2回 文字と発音
- 第3回 文字と発音
- 第4回 文字と発音
- 第5回 私は山田結衣です。
- 第6回 韓国人ですか。
- 第7回 どこにありますか。
- 第8回 学校から遠くありません
- 第9回 何がおいしいですか。
- 第10回 何番のバスに乗りますか
- 第11回 何時に会いましょうか
- 第12回 ワカメスープも食べられませんでした
- 第13回 まとめと復習
- 第14回 理解度確認

履修上の注意

積極的な授業への参加（練習問題の回答，発言）を評価します。

準備学習（予習・復習等）の内容

復習を中心に学習して下さい。小テストを行います。

教科書

『マル韓国語』韓必南・全恵子著
¥2200＋税
朝日出版社 2020年1月
ISBN978-4-255-55670-3

参考書

なし。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業への参加，小テストで40%。期末試験60%。

その他

なし。

科目ナンバー：(LP)LAN171J

■ 秋学期 ■ 1単位

2019年度以降入学者

韓国語ⅠB

2018年度以前入学者

朝鮮語ⅠB

担当者

伊藤 英人



授業の概要・到達目標

春学期に続いて朝鮮語（韓国語）の基礎を学び，簡単な作文ができるようになるところまでを到達目標とします。教科書終了後はプリント(pdf)で未習事項を学びます。

授業内容

- 第1回 両親が来ました。
- 第2回 旅行に行きたいです。
- 第3回 連体形
- 第4回 連体形
- 第5回 変則用言
- 第6回 変則用言
- 第7回 様々な文法形式
- 第8回 様々な文法形式
- 第9回 様々な文法形式
- 第10回 実践練習
- 第11回 実践練習
- 第12回 実践練習
- 第13回 まとめと復習
- 第14回 理解度確認

履修上の注意

積極的な授業への参加（練習問題の回答，発言）を評価します。

準備学習（予習・復習等）の内容

復習を中心に学習して下さい。小テストを行います。

教科書

『マル韓国語』韓必南・全恵子著
朝日出版社 ¥2200＋税
ISBN978-4-255-55670-3

参考書

後半はプリント教材を使用します。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業への参加，小テストで40%。期末試験60%。

その他

なし。

科目ナンバー：(LP)LAN171J

■ 春学期 ■ 1単位

2019年度以降入学者

2018年度以前入学者

韓国語ⅠA

朝鮮語ⅠA

担当者 塩田 今日子



科目ナンバー：(LP)LAN171J

■ 秋学期 ■ 1単位

2019年度以降入学者

2018年度以前入学者

韓国語ⅠB

朝鮮語ⅠB

担当者 塩田 今日子



授業の概要・到達目標

初めて韓国語を学ぶ学生を対象にした授業である。

ドラマのシナリオからとった会話表現を利用してハングル（朝鮮語の文字）の基本的な読み方，基本的な文法，日常的な会話などを学ぶ。

到達目標は，ハングルの基本的な読み方がわかること，簡単な挨拶ができること，数を数えることができることである。

授業内容

- 第1回 イン트로ダクション 朝鮮語とは
第2回 第1課 文字と発音(1)ハングルの成り立ち 単母音 二重母音(1)子音(1)
第3回 第2課 文字と発音(2)子音(2)平音(3)激音
第4回 (4)濃音 子音のまとめ
第5回 第3課 文字と発音(3)子音(5)終声 数詞(1)漢数詞
第6回 二重母音(2)いろいろな挨拶 母音と子音のまとめ
第7回 第4課 名前は何ですか
第8回 第5課 どなたですか
第9回 第6課 違います
第10回 第7課こそあど
第11回 数詞(2)固有語 疑問詞のまとめ
第12回 第9課 ありますか
第13回 第10課 いいですか
第14回 a：試験 b：正答解説

履修上の注意

初めて学ぶ外国語は休むとついていけないので注意すること。

準備学習（予習・復習等）の内容

予習：あらかじめ次に学ぶ課のCDを聞いておく。(60分)

復習：習った例文を覚え，ハングルで書けるようにする。(60分)

教科書

『場面で学ぶ韓国語』 朝日出版社

参考書

授業時に適宜指示する。

課題に対するフィードバックの方法

Oh-o! Meijiを使って添削を行う。

成績評価の方法

1 課終わるごとに小テストを行う。

平常点50%（授業への貢献度及び小テスト），期末試験50%で評価する。

その他

授業の概要・到達目標

韓国語ⅠAを習得した（ハングルの基本的な読み方がわかる）学生を対象にした初級の授業である。

ドラマのシナリオからとった会話表現を利用して基本的な文法，日常的な会話などを学ぶ。

到達目標は，簡単な会話ができること，易しい短文が読めることである。

授業内容

- 第1回 ハングルの読み方のまとめ
第2回 第11課 いきます
第3回 第12課 召し上がってください
第4回 第13課 変わりません
第5回 動詞のまとめ
第6回 第14課 趣味は何？
第7回 第15課 映画よかったですか
第8回 過去形のまとめ
第9回 第16課 したい
第10回 第17課 できない
第11回 第18課 過去尊敬形
第12回 第19課 できる
第13回 第20課 すれば，してもよい
第14回 a：試験 b：正答解説

履修上の注意

韓国語ⅠAを履修しておくことが望ましい

準備学習（予習・復習等）の内容

予習：あらかじめ次に学ぶ課のCDを聞いておく。(60分)

復習：習った例文を覚え，ハングルで書けるようにする。(60分)

教科書

『場面で学ぶ韓国語』 朝日出版社

参考書

授業時に適宜指示する。

課題に対するフィードバックの方法

Oh-o! Meijiを使って添削を行う。

成績評価の方法

1 課終わるごとに小テストを行う。

平常点50%（授業への貢献度及び小テスト），期末試験50%で評価する。

その他

科目ナンバー：(LP)LAN171J

■ 春学期 ■ 1単位

2019年度以降入学者

2018年度以前入学者

韓国語ⅠA

朝鮮語ⅠA

担当者 権 善喜



科目ナンバー：(LP)LAN171J

■ 秋学期 ■ 1単位

2019年度以降入学者

2018年度以前入学者

韓国語ⅠB

朝鮮語ⅠB

担当者 権 善喜



授業の概要・到達目標

この授業は、韓国語をはじめて学ぶ学生を対象にした授業です。文字や発音を中心に、基本的な文法と会話の基礎といった韓国語の基礎を学びます。これにより、韓国語の文字や発音を習得し、簡単な作文、訳、簡単な会話ができるようになることをめざします。

授業内容

第1回：イントロダクション
第2回：文字と発音：母音字
第3回：文字と発音：子音①
第4回：文字と発音：子音②
第5回：二重母音①
第6回：二重母音②
第7回：終声①
第8回：終声②
第9回：発音の規則①
第10回：発音の規則②
第11回：挨拶
第12回：自己紹介
第13回：肯定と否定
第14回：まとめ

履修上の注意

授業に積極的に参加してください。

準備学習（予習・復習等）の内容

授業内容について十分に復習してください。

教科書

特に指定しません。教員が資料を用意します。

参考書

必要に応じて随時紹介します。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

課題（50%）と授業への参加度（50%）を基本に評価します。

その他

状況によって内容を変更することがあります。

授業の概要・到達目標

この授業では、韓国語ⅠAにつづいて文法の基礎と基本文型、会話を学んでいきます。これにより、韓国語で、簡単な作文、訳、簡単な日常会話ができるようになることをめざします。

授業内容

第1回：春学期の復習
第2回：質問文
第3回：漢数詞と固有数詞①
第4回：漢数詞と固有数詞②
第5回：時間の表現
第6回：場所の説明
第7回：可能文・不可能文
第8回：希望文
第9回：勧誘とお願い
第10回：理由
第11回：確認
第12回：約束
第13回：手紙・メール
第14回：まとめ

履修上の注意

授業に積極的に参加してください。

準備学習（予習・復習等）の内容

授業内容について十分に復習してください。

教科書

特に指定しません。教員が資料を用意します。

参考書

必要に応じて随時紹介します。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

課題（50%）と授業への参加度（50%）を基本に評価します。

その他

状況によって内容を変更することがあります。

<div> 科目ナンバー：(LP)LAN271J <div> <div>■</div> <div>春学期</div> </div> <div> <div>■</div> <div>1単位</div> </div> <div> 2019年度以降入学者 <div>韓国語Ⅱ A</div> </div> <div> 2018年度以前入学者 <div>朝鮮語Ⅱ A</div> </div> <div> <div>担当者</div> <div>権</div> <div>善喜</div> </div> </div>	<div> 科目ナンバー：(LP)LAN271J <div> <div>■</div> <div>秋学期</div> </div> <div> <div>■</div> <div>1単位</div> </div> <div> 2019年度以降入学者 <div>韓国語Ⅱ B</div> </div> <div> 2018年度以前入学者 <div>朝鮮語Ⅱ B</div> </div> <div> <div>担当者</div> <div>権</div> <div>善喜</div> </div> </div>
<div> <div>授業の概要・到達目標</div> <div> この授業では，基礎文法を確認しながら，読解や日常会話に必要な文法と語彙を学んでいきます。これにより，文章の訳や簡単な日常会話ができるようになることをめざします。 </div> <div> <div>授業内容</div> <div> 第1回：イントロダクション 第2回：終止形 第3回：道案内の表現 第4回：理由・原因の説明 第5回：敬語と，友達との会話 第6回：直接話法と間接話法① 第7回：直接話法と間接話法② 第8回：過去形 第9回：推測と感想 第10回：意図・意志 第11回：予想・期待 第12回：使役の表現 第13回：条件 第14回：まとめ </div> </div> <div> <div>履修上の注意</div> <div> 授業に積極的に参加してください。 </div> </div> <div> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div> 授業内容について十分に復習してください。 </div> </div> <div> <div>教科書</div> <div> 特に指定しません。教員が資料を用意します。 </div> </div> <div> <div>参考書</div> <div> 必要に応じて随時紹介します。 </div> </div> <div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div></div> </div> <div> <div>成績評価の方法</div> <div> 課題（50%）と授業への参加度（50%）を基本に評価します。 </div> </div> <div> <div>その他</div> <div> 状況によって内容を変更することがあります。 </div> </div> </div>	<div> <div>授業の概要・到達目標</div> <div> この授業では，基礎文法を確認しながら，さまざまなテーマの文章を読み，それについて学生が中心となって話し合っていきます。これにより，文章の読解と会話を通じた情報のやりとりができるようになることをめざします。 </div> <div> <div>授業内容</div> <div> 第1回：イントロダクション 第2回：旅行 第3回：食べ物と料理 第4回：ことわざ① 第5回：ことわざ② 第6回：生活 第7回：一人暮らし 第8回：買い物 第9回：仕事と職業 第10回：教育 第11回：恋愛と結婚 第12回：感情 第13回：血液型と性格 第14回：まとめ </div> </div> <div> <div>履修上の注意</div> <div> 授業に積極的に参加してください。 </div> </div> <div> <div>準備学習（予習・復習等）の内容</div> <div> 授業内容について十分に復習してください。 </div> </div> <div> <div>教科書</div> <div> 特に指定しません。教員が資料を用意します。 </div> </div> <div> <div>参考書</div> <div> 必要に応じて随時紹介します。 </div> </div> <div> <div>課題に対するフィードバックの方法</div> <div></div> </div> <div> <div>成績評価の方法</div> <div> 課題（50%）と授業への参加度（50%）を基本に評価します。 </div> </div> <div> <div>その他</div> <div> 状況によって内容を変更することがあります。 </div> </div> </div>

科目ナンバー：(LP)LAN191J		
■ 春学期	■ 1単位	
2019年度以降入学者	古典ギリシア語ⅠA	
2018年度以前入学者	ギリシア語A	
担当者	古山	夕城

授業の概要・到達目標

古典ギリシア語の入門として、文字・発音・初歩文法を学習し、秋学期の初級文法につながる基礎知識の習得を目標とする。また、語学の背後にあるギリシアの古代文化と古代史に関する解説も行っていく。

授業内容

教科書の構成に沿う形で各課の文法事項を説明する。原則として、1回の授業で2課分を消化し、説明後にギリシア文の和訳に取り組んでもらい、文法構造の理解のため全員で正答を考えていく（解答はテキストには記されていない）。

各回の講義予定は、おおよそ次の通り。

- 1 イントロダクション（テキストの構成・ギリシアの文化・歴史）
- 2 学習の前提（文字・発音・音韻・氣息）・文法の基礎（音節・アクセント・句読記号）
- 3 動詞変化1（現在直説法能動相）・名詞変化1（第一変化：-A）
- 4 名詞変化2（第一変化：-H）・動詞変化2（未来直説法能動相）
- 5 名詞変化3（第一変化：-a）・名詞変化4（第一変化：-AS/HS）
- 6 動詞変化3（未完了過去直説法能動相）・名詞変化5（第二変化：-O）
- 7 形容詞変化1（第一/第二母音幹）・前置詞（格支配）
- 8 動詞変化4（アオリスト直説法能動相）・動詞変化5（現在/過去完了直説法能動相）
- 9 代名詞1（指示/強意代名詞）・動詞変化6（直説法能動相本時称）
- 10 動詞変化7（直説法能動相副時称）・動詞変化8（eimi/phemiの現在直説法）
- 11 代名詞2（疑問/不定代名詞）・動詞変化9（現在・未来・未完了過去直説法中動相）
- 12 代名詞3（人称代名詞）・動詞変化9（アオリスト・現在/過去/未来完了直説法中動相）
- 13 代名詞4（再帰/相互/所有代名詞）・動詞変化10（第二アオリスト能動相/中動相）
- 14 動詞変化10（直説法受動相・動詞の主要部分）・秋学期の初級文法へ向けて

履修上の注意

- ・講義内容の理解のため、復習と予習を欠かさないことが重要。とくに各課の練習問題（ギリシア文の和訳）を自分で取り組んでおくこと。
- ・初習の語学であるから、授業を休むとその後の講義内容が理解不能でついていけなくなる可能性が非常に高い。やむを得ず欠席した場合は、その授業で練習問題を解答して提出すること。

準備学習（予習・復習等）の内容

準備学習として、テキストのギリシア文を音読しておくこと（授業以内でも音読してもらう）。また、授業でのギリシア文和訳に際しては、用意した翻訳文を読み上げないで、その場で単語を一つひとつ拾い上げながら逐語訳すること。

教科書

田中美知太郎・松平千秋『ギリシア語入門（新装版）』岩波書店、2012年

参考書

とくに使用しない。ギリシア語辞典の購入の必要もない。

課題に対するフィードバックの方法

欠席回の練習問題をレポート欄にアップロードした場合は、添削して返還する。

成績評価の方法

授業への取り組み姿勢（50％）と練習問題から判断される習熟度（50％）により総合的に評価する。
期末の試験は行わない予定。

その他

このシラバスは前年12月段階で作成したものであり、2023年度の授業開始時に、その一部または大部分が変更される場合もあると承知しておくこと。変更の詳細は授業開始直前にシラバスの補足で、あるいは授業開始時に口頭で説明する。
また、実際の授業において履修生の人数や理解度によって進度が変わることもありうる。
本講義は、教室での対面授業を前提にするため、オンライン併用のハイブリッドやオンデマンドの授業配信は行わない。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大により、大学全体としてオンライン授業の必要性が生じた場合は、それに応じた授業形式を取ることがある。

科目ナンバー：(LP)LAN191J		
■ 秋学期	■ 1単位	
2019年度以降入学者	古典ギリシア語ⅠB	
2018年度以前入学者	ギリシア語B	
担当者	古山	夕城

授業の概要・到達目標

春学期の古典ギリシア語ⅠAの内容の習得を前提として、古典ギリシア語の初級文法を学習する。とくに名詞・動詞の不規則な変化と種々の条件文および関係節の修飾など、複文での表現形式の理解と修練を目標とする。

授業内容

春学期と同様、教科書の構成に沿う形で各課の文法事項を説明する。原則として1回の授業で2課分を消化し、説明後にギリシア文の和訳に取り組んでもらい、文法構造の理解のため全員で正答を考えていく（解答はテキストには記されていない）。

履修上の注意

各回の講義予定は、おおよそ次の通り。

- 1 初級文法のイントロダクション（テキスト後半の構成・古典ギリシア語の複雑な表現）
- 2 春学期の入門学習の確認（名詞と動詞の規則的な変化・代名詞の用法）
- 3 名詞変化6（第三変化：唇音幹・喉音幹）・動詞変化11（能相欠如・約音動詞-ao直説法）
- 4 名詞変化7（第三変化：歯音幹）・動詞変化12（約音動詞-eo/oo直説法）
- 5 動詞変化12（黙音幹の完了諸形・直説法中受動相）・形容詞変化2（第三変化1）
- 6 動詞変化13（流音幹のアオリスト・現在/過去直説法能動/中動相）・名詞変化8（第三変化：流音幹）
- 7 動詞変化14（接続法能動相）・勸奨・思案の表現
- 8 動詞変化15（接続法中/受動相）・目的・恐怖/危惧の副文章表現
- 9 動詞変化16（母音交替：第二形の語根）・形容詞変化3（二重語幹）
- 10 条件文の概要（種々の仮定表現）・名詞変化9と形容詞変化4（母音幹の約音）
- 11 動詞変化17（約音の接続法）・予想的未来の表現
- 12 動詞変化18（不定法1：形と用法・非人称・目的）・動詞変化19（不定法2：第二形・結果・独立表現）
- 13 名詞変化10（第三変化：s語幹）・代名詞5（関係代名詞・同化と逆の同化）
- 14 秋学期まとめ：古典ギリシア語ⅡAの中級文法へ向けて

準備学習（予習・復習等）の内容

- ・古典ギリシア語ⅠAの単位を取得していることが絶対条件。
- ・講義内容の理解のため、復習と予習を欠かさないことが重要。とくに各課の練習問題（ギリシア文の和訳）を自分で取り組んでおくこと。
- ・初習の語学であるから、授業を休むとその後の講義内容が理解不能でついていけなくなる可能性が非常に高い。やむを得ず欠席した場合は、その授業で練習問題を解答して提出すること。
- ・準備学習として、テキストのギリシア文を音読しておくこと（授業以内でも音読してもらう）。また、授業でのギリシア文和訳に際しては、用意した翻訳文を読み上げないで、その場で単語を一つひとつ拾い上げながら逐語訳すること。

教科書

田中美知太郎・松平千秋『ギリシア語入門（新装版）』岩波書店、2012年

参考書

とくに使用しない。ギリシア語辞典の購入の必要もない。

課題に対するフィードバックの方法

欠席回の練習問題をレポート欄にアップロードした場合は、添削して返還する。

成績評価の方法

授業への取り組み姿勢（50％）と練習問題から判断される習熟度（50％）により総合的に評価する。
期末の試験は行わない予定。

その他

このシラバスは前年12月段階で作成したものであり、授業開始時に、その一部または大部分が変更されることもあると承知しておくこと。変更の詳細は秋学期の授業開始直前にシラバスの補足で、あるいは授業開始時に口頭で説明する。
また、実際の授業において履修生の人数や理解度によって進度が変わることもありうる。
本講義は、教室での対面授業を前提にするため、オンライン併用のハイブリッドやオンデマンドの授業配信は行わない。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大により、大学全体としてオンライン授業の必要性が生じた場合は、それに応じた授業形式を取ることがある。

科目ナンバー：(LP)LAN191J	
■ 春学期	■ 1単位
2019年度以降入学者	ラテン語ⅠA
2018年度以前入学者	ラテン語A
担当者	小島 久和

授業の概要・到達目標

古典ラテン語の初級文法を学びます。

古典ラテン語は名詞や形容詞の格変化，そして動詞の活用の「複雑さ」によって，少しむずかしい言語のように思われるかもしれませんが，格変化や活用の規則性に気づくと，「複雑さ」が解消していった，実に見事に構築された文法規則をそなえた言語であることがわかります。

また，古典ラテン語は「死語」と思われているかもしれませんが，ネット上にはラテン語による新聞が掲載されています。ラテン語は今でも日常的に使われている言語なのです。

授業内容

14回分の授業内容は以下の通りです。

(第1回) 古典ラテン語のしくみについて解説

(第2回) 直説法現在 第1変格名詞

(第3回) 直説法未来完了 第2変格名詞

(第4回) 直説法未来 第2変格名詞

(第5回) sum動詞の派生形 形容詞

(第6回) 直説法完了 第2変格名詞

(第7回) 直説法過去完了

(第8回) 直説法未来完了 特殊な形の名詞

(第9回) 第3変格名詞

(第10回) 第3変格名詞 直説法現在受動態

(第11回) 直説法未来完了受動態 直説法未来受動態

(第12回) 形容詞の比較級・最上級

(第13回) 直説法完了受動態 直説法過去完了受動態 直説法未来完了受動態

(第14回) 命令法現在 代名詞

履修上の注意

各回の授業内容は盛りだくさんなので，最初は大変と感じるかもしれませんが。しかし変格や活用の規則性を覚えると，暗記が楽になりますから，あきらめないで出席してください。

教科書には単語集が付いていますが，語義が十分ではありません。そこで，辞書としては水谷智洋編『Lexicon Latino-Japonicum（羅和辞典改訂版）』（研究社）を参照してください。また，和泉図書館に羅英・羅仏・羅独などが開架されていますので，十分に活用してください。

準備学習（予習・復習等）の内容

各回に学習した文法項目の復習を必ずしてください。これを怠ると，授業が分からなくなります。また，教科書には多くの練習問題が用意されていますので，文法項目を確認しながら丁寧に練習問題に取り組んでください。

教科書

『標準ラテン文法』中山恒夫著（白水社）

参考書

『ラテン広文典』，泉井久之助著（白水社）

『新ラテン文法』，松平千秋，国原吉之助著（東洋出版）

『古典ラテン語文典』，中山恒夫著（白水社）

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

授業参加への積極性と練習問題の解答（単語調べの丁寧さ，訳の正確さ）（50％），テスト（50％）

その他

文学部の「ラテン語ⅠA」との合同クラスになります。

科目ナンバー：(LP)LAN191J	
■ 秋学期	■ 1単位
2019年度以降入学者	ラテン語ⅠB
2018年度以前入学者	ラテン語B
担当者	小島 久和

授業の概要・到達目標

ラテン語ⅠAで名詞や形容詞の格変化，そして多くの動詞の活用を学びました。これで文法のルールがだいぶ理解できたことでしょう。

ラテン語ⅠBでは，実際に文章を読む上で欠かせない関係代名詞や分詞，それに接続法などを学びます。

古典ラテン語の初級文法をマスターして，古典ラテン語の世界に踏み込みましょう。

授業内容

14回分の授業内容を列挙します。ただし，授業の進捗状況に応じて変化することがあります。

第1回 指示代名詞 指示形容詞

第2回 人称代名詞 所有代名詞 所有形容詞

第3回 関係代名詞

第4回 疑問代名詞 疑問形容詞

第5回 数詞 不定法

第6回 デポネンス動詞

第7回 分詞

第8回 接続法現在 接続法未来完了

第9回 接続法完了 接続法過去完了

第10回 Gerundium Gerundivum Supinum

第11回 不規則動詞

第12回 不完全動詞

第13回 非人称動詞 分詞構文

第14回 間接疑問文 従属文

履修上の注意

ラテン語ⅠAの修了者のみ履修してください。

辞書は『Lexicon Latino-Japonicum（羅和辞典 改訂版）』水谷智洋編（研究社）を参照してください。また，和泉図書館に羅英・羅仏・羅独などが開架されていますので，十分に活用してください。

準備学習（予習・復習等）の内容

各回の文法内容を記憶に定着させるために，復習に十分な時間をかけてください。

練習問題の難度も上がってきますから，文の構造に注意しつつ，単語の意味を丁寧に調べてください。

教科書

『標準ラテン文法』中山恒夫著（白水社）

参考書

『ラテン広文典』泉井久之助著（白水社）

『新ラテン文法』松平千秋，国原吉之助著（東洋出版）

『古典ラテン語文典』中山恒夫著（白水社）

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

平常点（授業参加への積極性，練習問題の解答作成過程の丁寧な単語調べと訳の正確さ）（70％），テスト（30％）

その他

文学部の「ラテン語ⅠB」との合同クラスになります。

授業の概要・到達目標

This course is aimed at beginners and false beginners many of whom will be taking an English class taught by a native speaker for the first time. One important objective of the course is to enable students to segment the speech stream into meaningful units so that they can utilize previously acquired recognition vocabulary, knowledge of English word order and grammatical units. Another important objective of the course is to expose students to and give them practice in using, vocabulary, structures, and functions needed for communicating about daily affairs with sufficient speed and spontaneity to maintain a reasonable conversation.

授業内容

The course will utilize a textbook, DVD, and in some cases video and audio tapes. Students will use the materials to develop their listening comprehension skills. They will also work in pairs and small groups to develop their speaking skills. The textbook has ten lessons, and at least one class will be required to cover each textbook lesson.

履修上の注意

This course is open to students who are taking spoken English for the first time or who have not yet reached a level of proficiency sufficient for entry to English Intensive Course II. It is expected that most students in the course will have completed six years of English at the secondary level and will be taking or have taken required English classes in their designated faculties. Each class is limited to a maximum of 25 students. The course is designed for practice and participation. Students are expected to attend all classes, prepare homework and other assignments, and participate positively in class activities.

準備学習（予習・復習等）の内容

Review the points covered in class in the handout and ask questions in class about topics that are unclear. Study the handout and reading materials in preparation for next class.

教科書

To be announced.

参考書

Reference Materials: English-Japanese, Japanese-English dictionary (electric is okay!)

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・ 授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、夏期集中講座については、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

Selection Examination

A listening comprehension examination will be administered to select students for the program and assign levels.

授業の概要・到達目標

This course is aimed at students who can understand and use spoken English well enough to conduct such daily life activities as asking for and giving directions or shopping, but who lack sufficient vocabulary and control of complex sentence structure and grammatical elements to discuss social, political and academic matters. Important objectives of this course are expanding student control of active vocabulary, increasing the range of communicative functions available to students, gaining facility in using complex sentences for speaking and writing, and acquiring the ability to talk about school life, social life, social and political issues, literature, experiences, and future desires and goals.

授業内容

The course will utilize a textbook, DVD, and in some cases video and audio tapes. Students will use the materials to develop their listening comprehension skills. They will also work in pairs and small groups to develop their speaking skills. They will also be asked to write short compositions or letters from time to time. The textbook has 10 lessons, and at least one class will be required to cover each textbook lesson.

履修上の注意

This course is open to students who have taken English Intensive Course I or its equivalent or who have an English proficiency level equivalent to STEP Grade 3 or TOEFL 490. It is expected that most students in the course will be taking or have taken required English classes in their designated faculties. Each class is limited to a maximum of 25 students. The course is designed as a practice and participation course. Students are expected to attend all classes, prepare homework and other assignments, and participate positively in class activities.

準備学習（予習・復習等）の内容

Review the points covered in class in the handout and ask questions in class about topics that are unclear. Study the handout and reading materials in preparation for next class.

教科書

To be announced

参考書

Reference Materials: English-Japanese, Japanese-English dictionary (electric is okay!)

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・ 授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、夏期集中講座については、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

Selection Examination

A listening comprehension examination will be administered to determine level.

授業の概要・到達目標

English Intensive Course III is an advanced course that uses activities such as public speaking, debate, discussion, drama, producing a magazine or a photography show to help students learn English. In this class students are expected to clarify and organize their ideas about various subjects and then express them effectively by making speeches, debating, discussing, and acting in English. Students will learn to make speeches to inform, to persuade, to entertain, or to inspire. Students will debate or discuss important social issues, perform in a play, write and edit a magazine, or take photographs and present their results.

授業内容

After receiving an orientation from the instructors to assess their level, students will then be divided into groups according to the activity they select. Students will be given instructions on how to carry out their activities and a schedule will be fixed. Finally, students will exhibit the results of their work to the staff and their fellow students.

履修上の注意

This course is open to students who have taken English Intensive Course II or its equivalent or who have an English proficiency level equivalent to STEP Grade 2 or TOEFL 500. It is expected that most students in the course will be taking or will have taken required English classes in their own faculties. Each class is limited to a maximum of 15 students. The course is designed to be a practical course and participation is vital. Students are expected to attend all classes, prepare homework and other assignments, and participate positively in class activities.

準備学習（予習・復習等）の内容

Review the points covered in class in the handout and ask questions in class about topics that are unclear. Study the handout and reading materials in preparation for next class.

教科書

Textbook: To be announced

参考書

Reference Materials: English-Japanese, Japanese-English dictionary (electric is okay!)

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・ 授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、夏期集中講座については、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

Selection Examination

A listening comprehension test will be administered to each class.

授業の概要・到達目標

例年9月上旬に行われている、ネイティブ・スピーカーによる初歩的なドイツ語会話を練習する集中講座。ドイツ語で「話す・聞く・書く・読む」という総合的な授業で、言語だけではなく、ドイツ語圏の文化や日常生活にも触れることができる。少人数クラスなので、担当教員とも話しやすい。アットホームな雰囲気のなかで、外国語を話す時の恥ずかしさを捨て、発言できるようにしたい。到達目標は挨拶や自己紹介、簡単な質問がドイツ語でできるようになることとする。

授業内容

ドイツ語会話 I は、この4月からドイツ語を学び始めた学生を対象に、数人の教員が指導している。会話を中心にした共通の教科書によって進むが、学生のニーズと希望に応じて、音楽を聴いたり歌ったり、映画を見たりもする。

履修上の注意

学部を問わず誰でも履修はできるが、単位認定は学部によって異なるので、所属学部にお問い合わせのこと。

準備学習（予習・復習等）の内容

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

教科書

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

参考書

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

応募者は6月にクラス分け試験を受けるが、レベルが合っていないと感じたら、クラス変更を申し出ること。

授業の概要・到達目標

例年9月上旬に行われている、ネイティブ・スピーカーによるドイツ語で自分の意見や考えを伝える練習をする集中講座。ドイツ語で「話す・聞く・書く・読む」という総合的な授業で、言語だけではなく、ドイツ語圏の文化や日常生活にも触れることはできる。少人数クラスなので、担当教員とも話しやすい。アットホームな雰囲気のなかで、外国語を話す時の恥ずかしさを捨て、発言できるようにしたい。到達目標は自分の意見をより詳しくドイツ語で伝えられるようになることとする。

授業内容

ドイツ語会話Ⅱは、ドイツ語の基本をマスターした学生を対象に、数人の教員が指導している。会話を中心にした共通の教科書によって進むが、学生のニーズと希望に応じて、音楽を聴いたり歌ったり、映画を見たりもする。

履修上の注意

学部を問わず誰でも履修はできるが、単位認定は学部によって異なるので、所属学部に問い合わせること。

準備学習（予習・復習等）の内容

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

教科書

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

参考書

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

応募者は6月にクラス分け試験を受けるが、レベルが合っていないと感じたら、クラス変更を申し出ること。

授業の概要・到達目標

例年9月上旬に行われている、ネイティブ・スピーカーによるドイツ語会話を楽しむための練習をする集中講座。ドイツ語で「話す・聞く・書く・読む」という総合的な授業で、言語だけではなく、ドイツ語圏の文化や日常生活にも触れることができる。少人数クラスなので、担当教員とも話しやすい。アットホームな雰囲気のなかで、外国語を話す時の恥ずかしさを捨て、発言できるようにしたい。到達目標は何かのテーマについて自分の意見をある程度自由に発言し、議論できるようになることとする。

授業内容

ドイツ語会話Ⅲは、ドイツ語の会話を経験した学生を対象に、数人の教員が指導している。会話を中心にした共通の教科書によって進むが、学生のニーズと希望に応じて、音楽を聴いたり歌ったり、映画を見たりもする。

履修上の注意

学部を問わず誰でも履修はできるが、単位認定は学部によって異なるので、所属学部にお問い合わせください。

準備学習（予習・復習等）の内容

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

教科書

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

参考書

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

応募者は6月にクラス分け試験を受けるが、レベルが合っていないと感じたら、クラス変更を申し出ること。

授業の概要・到達目標

目的：基礎的な日常会話を身につけるための講座です。また会話に必要な文法もしっかり学びます。大学の正規の授業と異なり少人数でリラックスした雰囲気の中で、経験豊かな、フランス語圏出身のネイティブ・スピーカーの先生による授業が行われます。フランス語は初めてという学生でも、緊張することなく、楽しみながら、会話力を獲得することが出来るはずです。

概要：夏季休業中（例年は8月末から9月上旬）に行われます。詳細は5月下旬より掲示等でお知らせします。

授業内容

午前：文法の基礎を確認しながら、初歩的な会話の練習を行います。

午後：午前の復習をより現実に近いシチュエーションに置き換えるなど、日常用いられる生きた表現を使いこなせるように練習します。

履修上の注意

応募の方法、日程、時間割、クラス分けの方法などは5月下旬に掲示及び募集要項にて周知しますので、参加希望者は掲示をよく注意して見ること。

準備学習（予習・復習等）の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

教科書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

参考書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

大学内で行われる為、資格を有した講師が丁寧に指導します。卒業後は受講資格はありませんので、学生の内に、視野を広げ、生きた会話に挑戦することのできるこの機会を最大限に利用して下さい。

授業の概要・到達目標

目的：フランス語の会話の基礎を身につけた学生が、それをベースに一步進んだ表現を学ぶ講座です。少人数の授業で、経験豊かなフランス語圏出身のネイティブ・スピーカーの先生が丁寧な指導を行います。

概要：夏季休業中（例年は8月末から9月上旬）に行われます。詳細は5月下旬より掲示等でお知らせします。

授業内容

午前：初級文法の復習をしながら、会話表現の口頭練習を徹底的に行います。

午後：午前中に学習した内容をベースに表現の幅を広げ、応用練習を行います。

履修上の注意

応募の方法、日程、時間割、クラス分けの方法などは5月下旬に掲示及び募集要項にて周知しますので、参加希望者は掲示をよく注意して見ること。

準備学習（予習・復習等）の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

教科書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

参考書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

大学内で行われる為、資格を有した講師が丁寧に指導します。卒業後は受講資格はありませんので、学生の内に、視野を広げ、生きた会話に挑戦することのできるこの機会を最大限に利用して下さい。

授業の概要・到達目標

目的：フランス語の中級レベルの学習者を対象とした講座です。自分の意見を述べ、相手を説得するのに十分な口頭表現力を獲得することを目指します。また現代フランスの社会問題、文化的事項にも触れ、視野を広げます。経験豊かなフランス語圏出身のネイティブ・スピーカーの先生の指導と、少人数のクラスでフランスで生活できるレベルの会話力をつける環境に身を置くことが可能です。

概要：夏季休業中（例年は8月末から9月上旬）に行われます。詳細は5月下旬より掲示等でお知らせします。

授業内容

午前：中級文法を復習しながら、会話表現の練習を徹底的に行います。

午後：習得表現を用いて、時事問題等についてフランス語での討論を行います。

履修上の注意

応募の方法、日程、時間割、クラス分けの方法などは5月下旬に掲示及び募集要項にて周知しますので、参加希望者は掲示をよく注意して見ること。

準備学習（予習・復習等）の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

教科書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

参考書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

大学内で行われる為、資格を有した講師が丁寧に指導します。卒業後は受講資格はありませんので、学生の内に、視野を広げ、生きた会話に挑戦することのできるこの機会を最大限に利用して下さい。

授業の概要・到達目標

中国語会話の初級集中講座です。入門～初級レベルの学習者および1年以上の学習経験があり、中国語コミュニケーションの実力強化をめざす学習者を対象にします。基本的会話表現を聞き取れ、正確な発音で話すことができるように、徹底的なトレーニングを行います。

授業内容

経験豊富なネイティブ・スピーカーの教員が、生きたナマの規範的中国語を聞かせ、正しく模倣できるまで、反復練習を行います。少人数クラスで、教員と受講生が休みなく中国語のキャッチボールができるような、理想的な会話の授業が展開されます。

履修上の注意

約2週間にわたり、ハードな、しかし充実した授業が行われるので、学習意欲に溢れ、努力を惜しまない学生の受講が望まれます。

単位の認定は学部により状況が異なるので、各学部事務室で確認してください。

準備学習（予習・復習等）の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

教科書

未定。クラス分けプレースメント・テスト実施後に発表されます。

参考書

指定参考書はありません。教員の紹介にしたがってください。

他に、学習用のハンディーな辞典が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

受講申し込み者に対して選考試験があります。しかし、この試験は三つのクラスのうち、どのクラスに入ってもらうのが適切かを測定するプレースメント・テストです。受講の可否を決めるものではありません。

授業の概要・到達目標

中国語会話の中級集中講座です。中級レベルの学習者（およそ1年以上の学習経験者）で、中国語コミュニケーションの実力強化をめざす受講生を対象にします。中級レベルの会話表現を聞き取れ、正確な発音で話することができるように、徹底的なトレーニングを行います。

授業内容

経験豊富なネイティブ・スピーカーの教員が、生きたナマの規範的中国語を聞かせ、正しく模倣できるまで、反復練習を行います。少人数クラスで、教員と受講生が休みなく中国語のキャッチボールができるような、理想的な会話の授業が展開されます。

履修上の注意

約2週間にわたり、ハードな、しかし充実した授業が行われるので、学習意欲に溢れ、努力を惜しまない学生の受講が望まれます。

単位の認定は学部により状況が異なるので、各学部事務室で確認してください。

準備学習（予習・復習等）の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

教科書

未定。クラス分けプレースメント・テスト実施後に発表されます。

参考書

指定参考書はありません。教員の紹介にしたがってください。

他に、学習用のハンディーな辞典が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

受講申し込み者に対して選考試験があります。しかし、この試験は三つのクラスのうち、どのクラスに入ってもらうのが適切かを測定するプレースメント・テストです。受講の可否を決めるものではありません。

授業の概要・到達目標

中国語会話の上級集中講座です。上級レベルの学習者（およそ2年以上の学習経験者）で、中国語コミュニケーションの実力強化をめざす受講生を対象にします。上級レベル会話表現を聞き取れ、正確な発音で話すことができるように、徹底的なトレーニングを行います。

授業内容

経験豊富なネイティブ・スピーカーの教員が、生きたナマの規範的中国語を聞かせ、正しく模倣できるまで、反復練習を行います。少人数クラスで、教員と受講生が休みなく中国語のキャッチボールができるような、理想的な会話の授業が展開されます。

履修上の注意

約2週間にわたり、ハードな、しかし充実した授業が行われるので、学習意欲に溢れ、努力を惜しまない学生の受講が望まれます。

単位の認定は学部により状況が異なるので、各学部事務室で確認してください。

準備学習（予習・復習等）の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

教科書

未定。クラス分けプレースメント・テスト実施後に発表されます。

参考書

指定参考書はありません。教員の紹介にしたがってください。

他に、学習用のハンディーな辞典が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

受講申し込み者に対して選考試験があります。しかし、この試験は三つのクラスのうち、どのクラスに入ってもらうのが適切かを測定するプレースメント・テストです。受講の可否を決めるものではありません。

授業の概要・到達目標

毎年の夏季休業期間中（8～9月）に行われる初級レベルの韓国語会話の集中講座クラスです。少人数で、ネイティブスピーカーの先生との直接会話を中心に行われます。ハングル文字の読みと書きができる学生が対象であり、基礎会話を学ぶ上で、まずは相手の声を聴き、頭で考えずに口で自分の「声を出す」ようになることが、授業の目標です。

授業内容

実際の対話状況を演出し、それに見合う会話の練習を授業をととして継続的に行います。

その過程で学生個人の発音の校正を行います。

基礎会話に必要な基礎文法と基礎文型の復習を行いながら授業を進めます。

履修上の注意

履修単位の取り扱いについて所属学部を確認してから登録してください。

所属学部韓国語授業が設置されていないために、韓国語初級授業を1学期（半年）以上、履修していない人は、学部間共通韓国語の授業を事前に受講しておいてください。

準備学習（予習・復習等）の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

教科書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

参考書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

今後の募集およびクラス分け試験の日程などについては、事務からのお知らせに注目してください。

授業の概要・到達目標

毎年の夏季休業期間中（8～9月）に行われる中級レベルの韓国語会話の集中講座クラスです。少人数で、ネイティブスピーカーの先生との直接会話を中心に授業が行われます。韓国語初級レベルを修了した学生が対象であり、すでに初級レベルで学んだ会話のパターンを実際の会話の中で素早く、適切に用いることができるようにするのが、授業の目標です。

授業内容

多様な場面を想定し、そうした環境に最大限多くの回数でぶつかるようにして会話を繰り返します。その過程で、学生個人の韓国語会話のレベルを正確に把握し、効果的に学習します。中級会話にふさわしい発音の改善、単語の正確度を中心に指導します。中級レベル会話のための新しい語彙と熟語を学びます。

履修上の注意

履修単位の取り扱いについて所属学部を確認してから登録してください。

所属学部韓国語授業が設置されていないために、韓国語初級・中級授業を履修していない人は、学部間共通韓国語の授業を事前に受講しておいてください。

準備学習（予習・復習等）の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

教科書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

参考書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

今後の募集およびクラス分け試験の日程などについては、事務からのお知らせに注目してください。

授業の概要・到達目標

毎年の夏季休業期間中（8～9月）に行われる上級レベルの韓国語会話の集中講座クラスです。少人数で、ネイティブスピーカーの先生との直接会話を中心に授業が行われます。韓国語中級レベルを修了した学生が対象であり、上級会話を学ぶ上で、特定の会話パターンに依存せず、自ら韓国語を活用して話す能力を強化するのが授業の目標です。

授業内容

同じ事象に対して多様な表現を用いる会話方法、多数の表現の中から最適な表現を選択する会話方法を身につけ、会話の洗練さを向上します。

その過程で、直接韓国語による思考の訓練、会話の流暢さ、ネイティブ感、文型使用の正確さ、学生個人の発音の校正など、会話力アップをはかります。

履修上の注意

履修単位の取り扱いについて所属学部を確認してから登録してください。

所属学部韓国語授業が設置されていないために、韓国語初級・中級授業を履修していない人は、学部間共通韓国語の授業を事前に受講しておいてください。

準備学習（予習・復習等）の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

教科書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

参考書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

課題に対するフィードバックの方法

成績評価の方法

- ・ 授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

その他

今後の募集およびクラス分け試験の日程などについては、事務からのお知らせに注目してください。